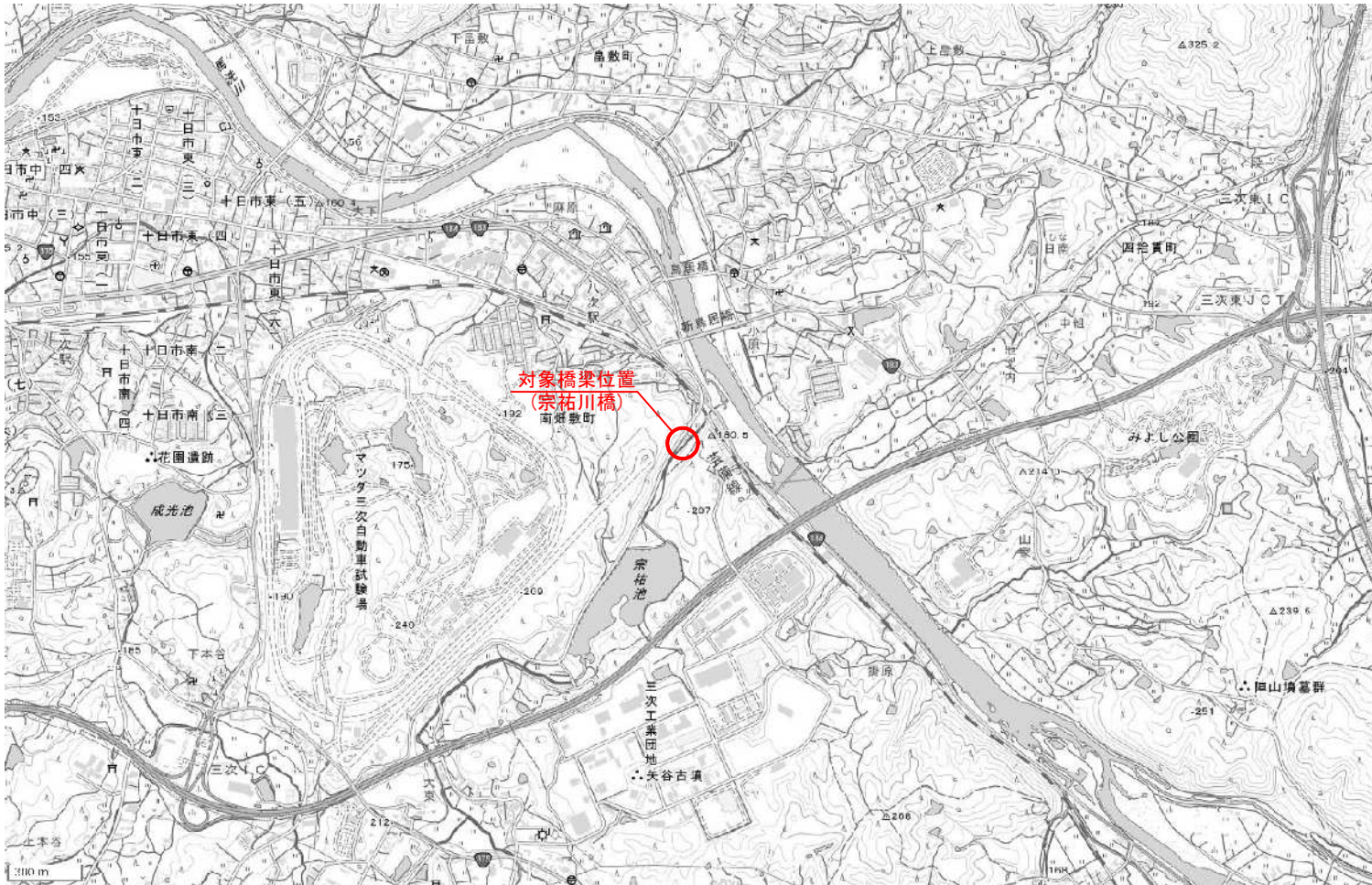


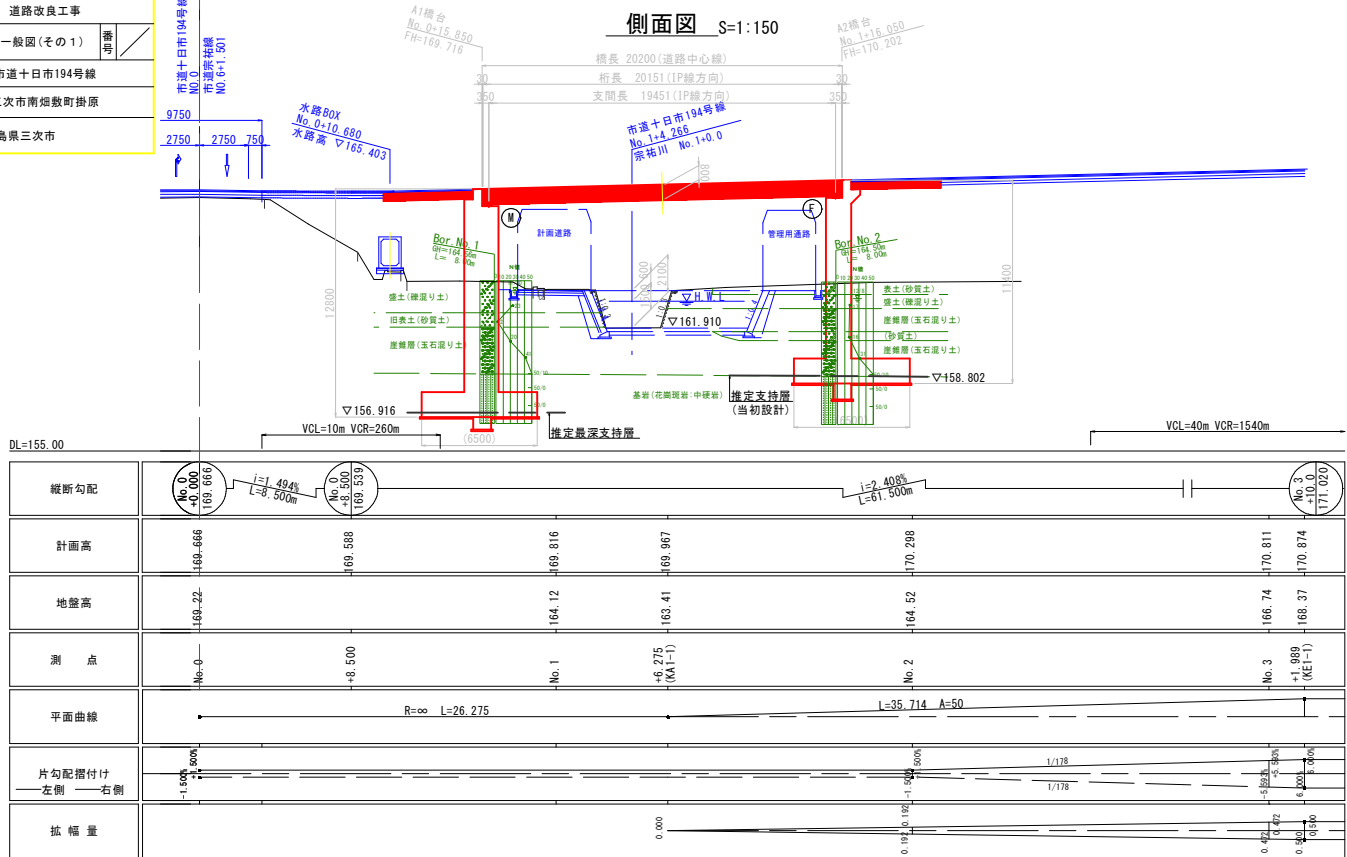
図面番号	1/60	縮尺	S=1:10,000
工 種	道路改良工事		
種 別	位 置 図	番 号	／
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南郷数町掛原		
広島県三次市			

位 置 図 S=1:10,000



図面番号	2/35	縮尺	S=1:150
工 種	道路改良工事		
種 別	宗祐川橋一般図(その1)	番号	
路線名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

宗祐川橋一般図(その1) S=1:150



<設計条件表>

基本事項	路線名	市道十日市194号線
	橋名	(仮称)宗祐川橋
	架橋位置	広島県三次市南畑敷町
	適用示方書	道路橋示方書・同解説(平成29年11月)
	道路規格	第3種第4級
	設計速度	V=40km/h
	橋長	20.200m(道路中心線上)
	桁長	20.151m(IP線上)
	支間長	19.451m(IP線上)
	全幅員	W=10.25m(標準部)
	幅員	W=9.25m(標準部)
	平面線形	R=∞~A=50
	縦断勾配	i=2.408%
	断面勾配	車道1.5%(片勾配)、歩道2.0%(片勾配)
	材料	θ=79°、39°、38°(IP線との交角)
	傾斜	車道t=100mm、歩道t=30mm
	大型車交通量	500台未満/日・方向
橋梁基本条件	上部工	PC鋼筋プレテンション方式中空床版橋
	下部工	流し式橋台
	基礎工	橋台 直接基礎
	橋台基礎	橋台 直接基礎
	橋台対策区分	橋台対策区分
	近接設計上の橋の重要度	A: 橋台対策区分
	地盤区分	B2(広域) (cz=0.85, ci=1.0, cII=0.85)
	設計水平面度	橋軸方向 kh=0.17(Lv1), kh1=1.40(Lv2 type1), kh2=1.70(Lv2 type2)
	設計断面の準拠	橋軸直角方向 kh=0.17(Lv1), kh1=1.40(Lv2 type1), kh2=1.70(Lv2 type2)
	地震時に塑性化させる部位	該部材無
	支保条件	橋軸方向 A1: 可動, A2: 固定
	橋軸直角方向	A1: 固定, A2: 固定
	落橋防止システム	橋軸方向: 橋梁・橋脚防止構造: 省略、橋梁位拘束構造: 省略
	伸縮設計線距離	橋軸方向: 25mm, 橋軸直角方向: 0mm
	設置・折渡間量	30mm
	交通物件(管理者)	一般河川 宗祐川(広島県)、市道(三次市)、河川管理用通路(広島県)
荷重条件	設計活荷重	B活荷重
	橋脚活荷重	設置計画無
	特殊荷重	通過荷重 w=1.45kN/m
地形・地質条件	地盤種類	1種地盤
	支持層	軟岩(CL級)
	液状化・圧密層の有無	液状化(無)、圧密層(無)
材料条件	主桁・橋脚	鋼材 コンクリート: 主桁 σ ck=50N/mm ² 、橋脚 σ ck=30N/mm ²
	上部工	鋼材 主桁: SWPR78L TS15.2mm、橋脚: SWPR19L TS21.8mm
	橋脚床版	σ ck=30N/mm ²
	橋脚	σ ck=24N/mm ²
	鉄筋	SD345
	コンクリート	σ ck=24N/mm ²
	鉄筋	SD345
	下部工・基礎工	裏込め土 A1
		A2
	裏込め土	A1 γ=20kN/m ³ 、φ=35°、c=0kN/m ²
		A2 γ=19kN/m ³ 、φ=30°、c=0kN/m ²
施工条件	架設工法	上部工: トラッククレーン架設、下部工: オープン掘削
その他の条件		特になし
当面の措置の取扱い		
「橋、高架の道路等の設計に係る当面の措置について(H29.12.27付国道第165号)」は対象外		

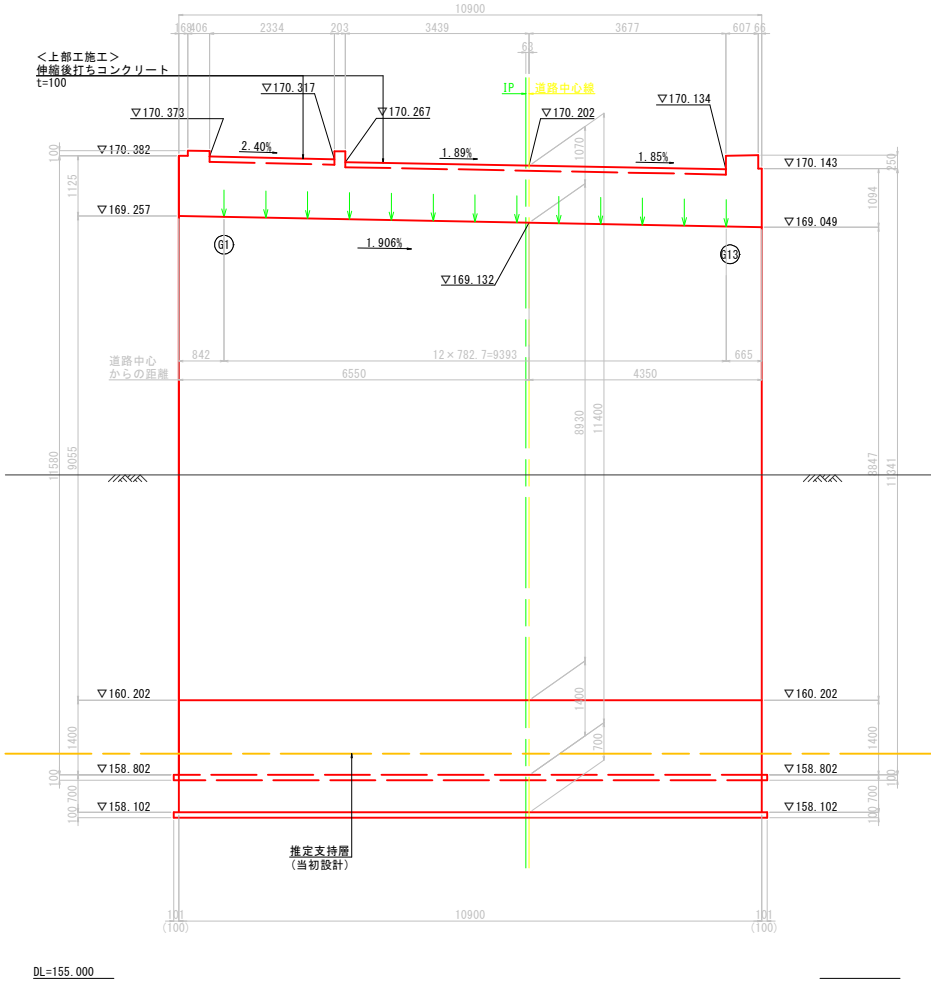
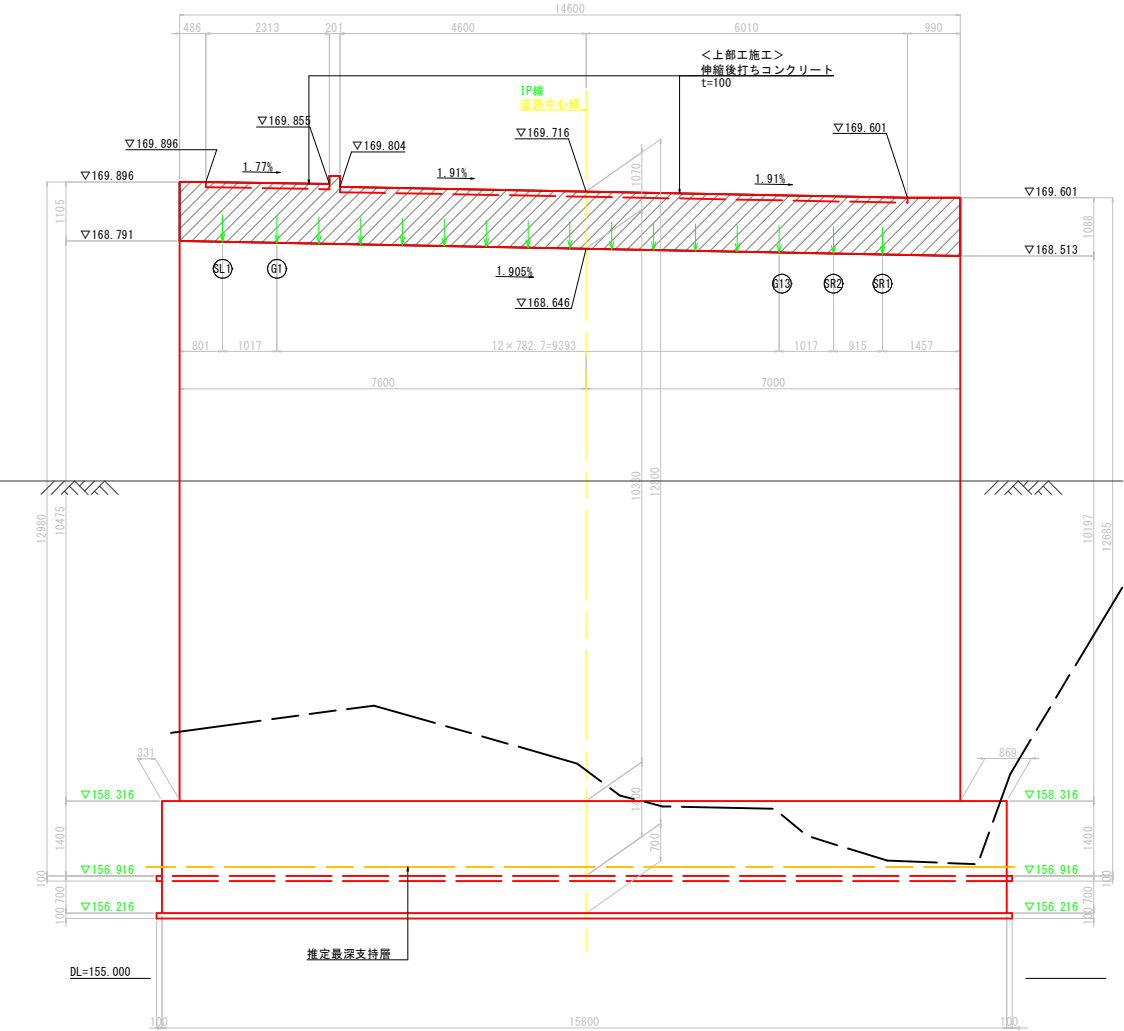
図面番号	3 60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	宗祐川橋一般図(その2)	番号	1 1
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

宗祐川橋一般図(その2) S=1:50

A1橋台
(正面図)

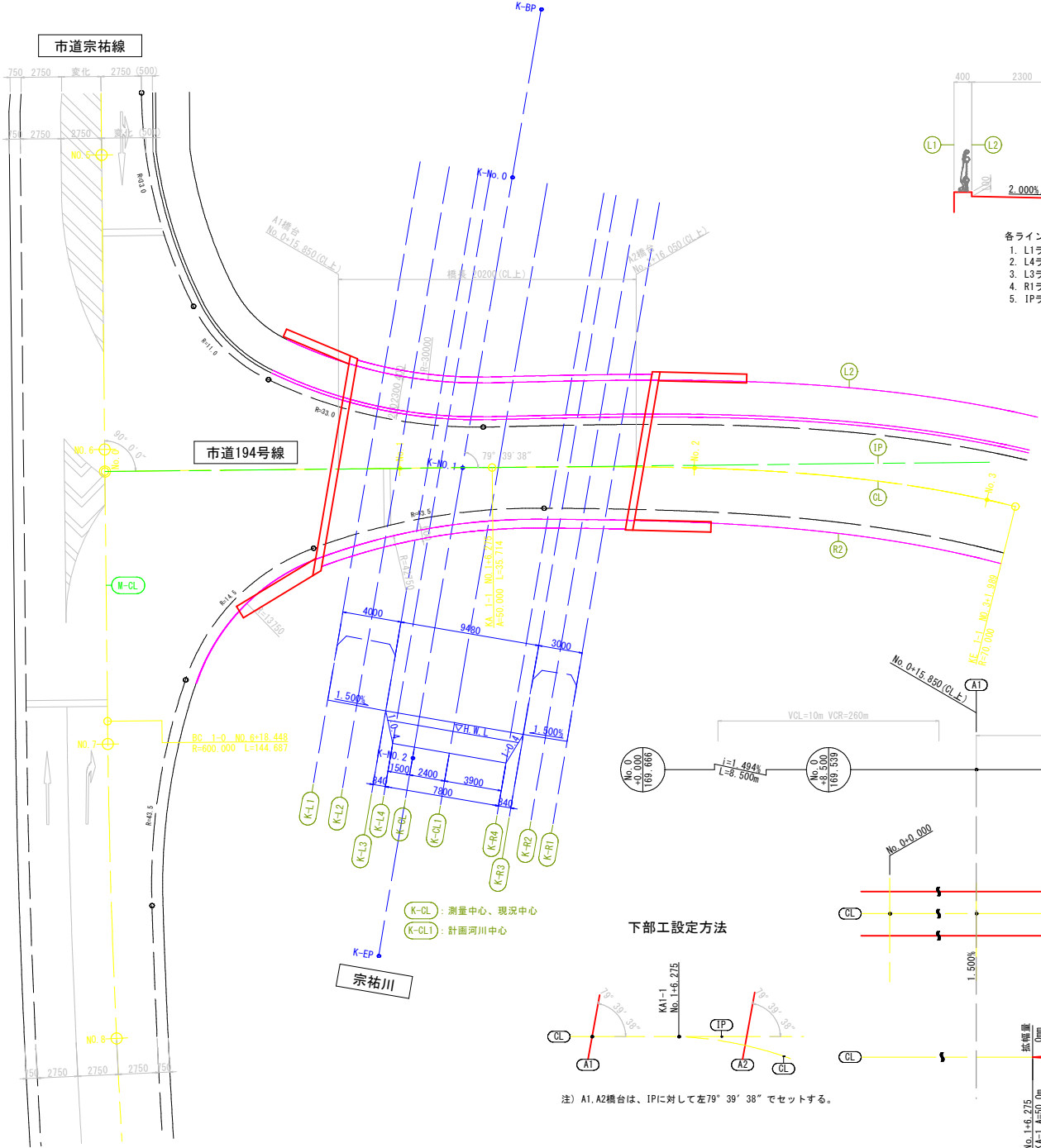
A2橋台
(正面図)

上部工2次施工範囲

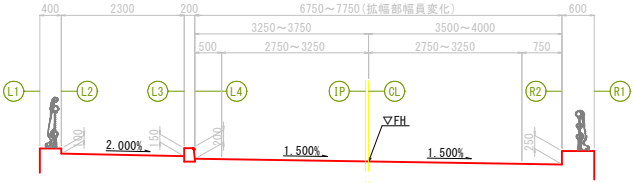


図面番号	4 60	縮尺	S=1:150
工 種	道路改良工事		
種 別	線形要素図(その1)	番号	1/
路線 河川	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑数町掛原		
広島県三次市			

線形要素図(その1) S=1:150



上部工断面図 S=1:50
(BP~KE1-1)



- 各ライン設定
1. L1ラインは、L2ラインより法線方向にW=400mmオフセットしたラインとする。
 2. L4ラインは、L2ラインより法線方向にW=2500mmオフセットしたラインとする。
 3. L3ラインは、L4ラインより法線方向にW=200mmオフセットしたラインとする。
 4. R1ラインは、R2ラインより法線方向にW=600mmオフセットしたラインとする。
 5. IPラインは、No. 0とKA1-1の座標を結ぶラインとする。

主要点座標

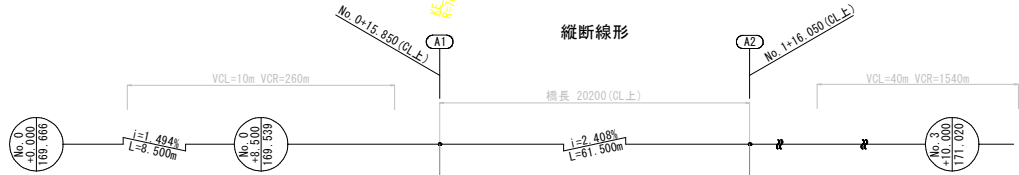
【市道十日市194号線】				
	測 点	X座標	Y座標	要 素
BP	No. 0+0.000	-132096.1488	65502.3402	R=∞
KA1-1	No. 1+6.275	-133110.3616	65524.4396	A=50.0m
KE1-1	No. 3+1.989	-133132.0972	65552.6481	R=70.0m

【市道宗祐線】				
	測 点	X座標	Y座標	要 素
BP	No. 0+0.000	-132993.958	65568.062	
BC1-0	No. 6+18.449	-133110.404	65493.172	R=600.0m
EC1-0	No. 14+3.137	-133240.312	65430.266	
EP	No. 15+0.000	-133256.264	65424.796	

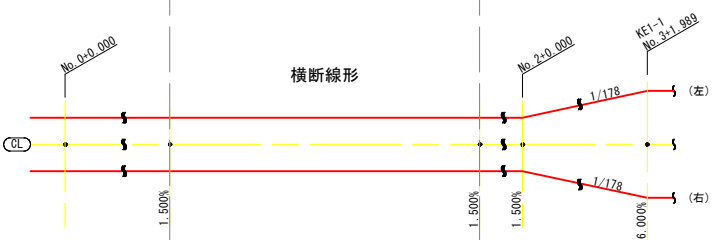
【宗祐川】				
	測 点	X座標	Y座標	要 素
BP	No. 0-11.583	-133086.208	65544.324	R=∞
K-BP	No. 2+13.635	-133133.839	65499.774	

線形要素

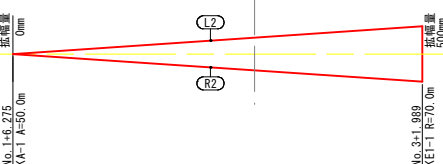
縦断線形



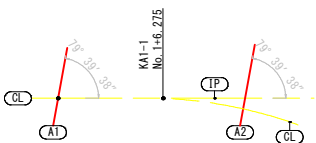
横断線形



視距拡幅量



下部工設定方法

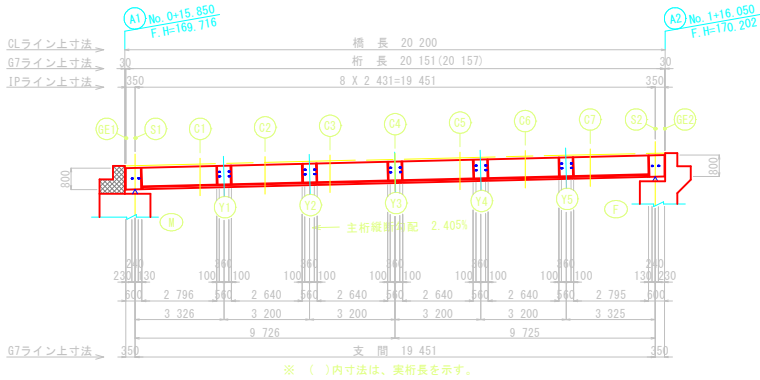


注) A1, A2橋台は、IPに対して左79° 39' 38" でセットする。

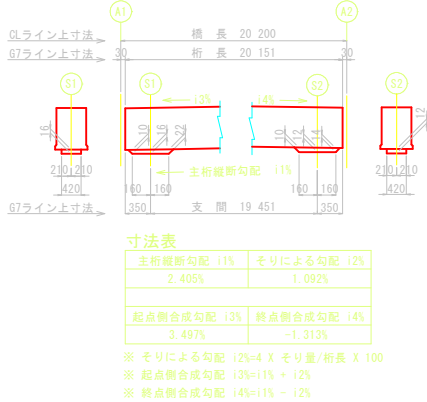
図面番号	6 60	縮尺	S=1:100
工 種	道路改良工事		
種 別	上部工構造一般図(その1)	番号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑数町掛原		
広島県三次市			

上部工構造一般図(その1) S=1:100

側面図



レアー詳細図



設計条件

橋 種	プレストレストコンクリート道路橋	
形 式	プレテンション方式単純中空床版橋	
橋 長	20.200m (CL上)	
桁 長	20.151m (G7上)	
支 間	19.451m (G7上)	
有効幅員	2.514m (歩道) + 10.591m (車道) (GE1上) 2.537m (歩道) + 7.115m (車道) (GE2上)	
荷 重	B 活 荷 重・群 集 荷 重	
斜 角	(A1) 左79° 39' 38" (A2) 左79° 39' 38"	
衝撃係数	i = 1.0 / (2.5 + L) : L 荷 重 i = 2.0 / (5.0 + L) : T 荷 重	

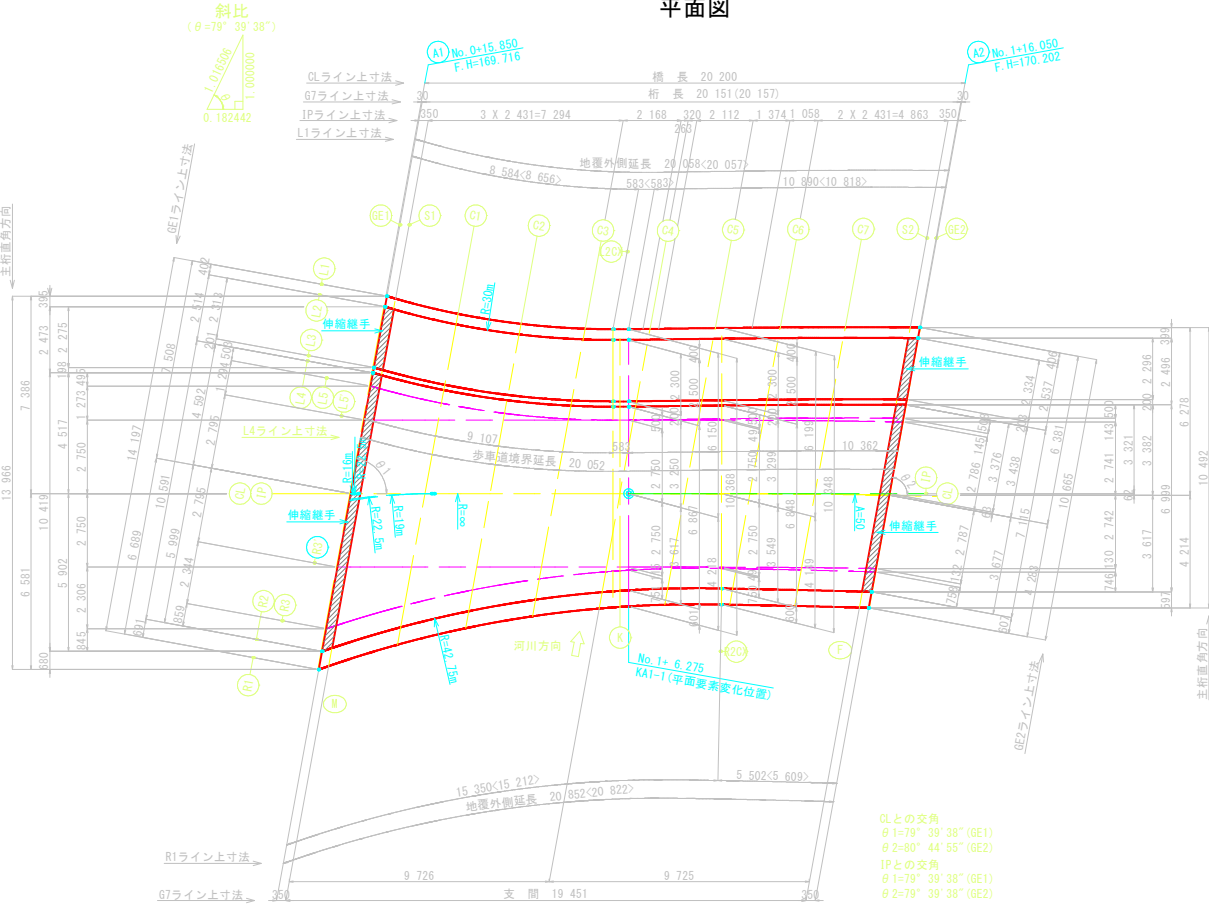
※ 斜角については、IPに対しての交角とする。

材料強度及び制限値

	設 計 基 準 強 度	主 桁		場所打ち
		50	30	
コ	プレストレス導入時圧縮強度		35	25
	曲げ圧縮応力度 制限値	プレストレス導入直後	24.00	16.86
		前 提 条 件	16.00	11.00
		耐 荷 性 能	24.00	16.50
ク	曲げ引張応力度 制限値	プレストレス導入直後	-1.89	-1.51
		前 提 条 件	0.00	0.00
		耐 荷 性 能	-3.10	-2.20
		耐 久 性 能	-1.80	-1.20
リ	コンクリートが負担できる 平均せん断応力度		基本値 0.44	0.37
	耐 荷 性 能	最大値	6.00	4.00
		せん断orねじり	1.20	0.80
		せん断orねじり	1.50	1.10
I	斜引張応力度 制限値	せん断orねじり	2.60	1.70
		せん断orねじり	3.10	2.20
		せん断orねじり	2.30	1.70
		せん断orねじり	2.80	2.20
P	呼 称 径		SWPR7BL 1S15.2	SWPR19L 1S21.8
C	引 張 強 度		1 880	1 830
	降 伏 点 応 力 度		1 600	1 600
	初 引 張 応 力 度		1 350	1 250
鋼	引張応力度 制限値	プレストレッシング中	1 440	1 422
		プレストレッシング直後	1 316	1 281
		有効時(耐荷性能)	1 222	1 189
		有効時(耐久性能)	1 128	1 098
材	規 格		S D 3 4 5	
	引張応力度 制限値	一 般 (引鉄鉄筋)	2 1 0	
		耐 久 性 (防 食)	1 0 0	
		一 般 耐 久 性 (疲 勞)	1 8 0	
	床 版 部 耐 久 性 (疲 勞)		1 2 0	

※ プレストレス導入時の圧縮強度は設計上の仮定値とする。

平面図



大座標値(地覆-L側)

	大 座 標 値	
	X 座 標	Y 座 標
L1・GE1	-133099.2553	65520.8251
L2・GE1	-133099.5491	65520.5503
L1・L2CX	-133104.8736	65527.2758
L2・L2CX	-133105.2100	65527.0594
L1・KA1-1	-133105.1890	65527.7663
L2・KA1-1	-133105.5254	65527.5499
L1・GE2	-133111.0239	65536.9612
L2・GE2	-133111.3204	65536.6839

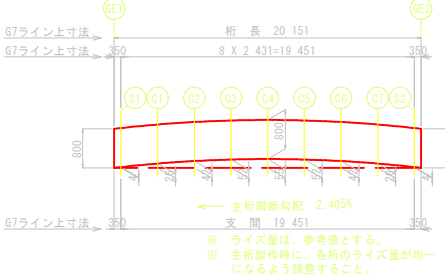
大座標値(歩車道境界)

	大 座 標 値	
	X 座 標	Y 座 標
L3・GE1	-133101.2381	65518.9706
L4・GE1	-133101.3849	65518.8333
L3・L2CX	-133107.1445	65525.8153
L4・L2CX	-133107.3127	65525.7071
L3・KA1-1	-133107.4599	65526.3058
L4・KA1-1	-133107.6281	65526.1976
L3・GE2	-133113.0252	65535.0894
L4・GE2	-133113.1734	65534.9507

大座標値(地覆-R側)

	大 座 標 値	
	X 座 標	Y 座 標
R2・GE1	-133109.1197	65511.5988
R1・GE1	-133109.6241	65511.1269
R2・R2CX	-133115.2294	65525.4427
R2・GE2	-133118.3696	65530.0907
R1・GE2	-133118.8127	65529.6762

ライズ量図

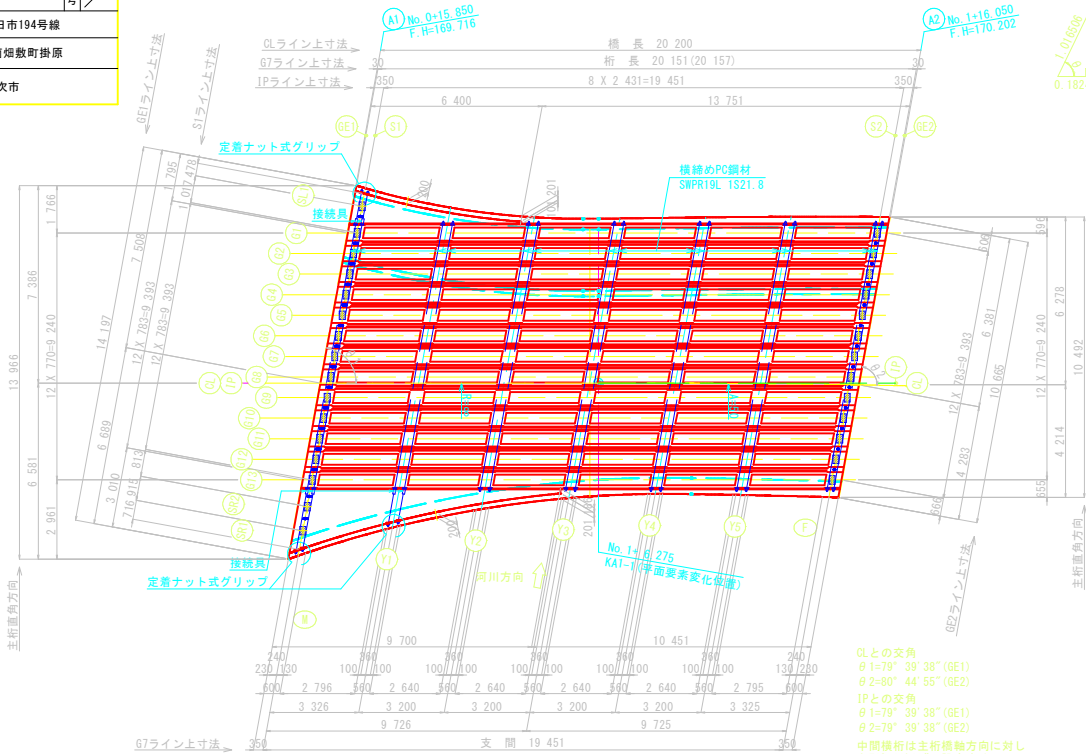


注) 寸法については、線形計算書を用いて算出している為、線形の寸法と各区分を合計した寸法では、1mm程度の誤差(四捨五入による)が生じる場合がある。
注) 座標、高さ、角度及び諸数値においては参考値とする。
施工時は、測量を行い照査することとする。

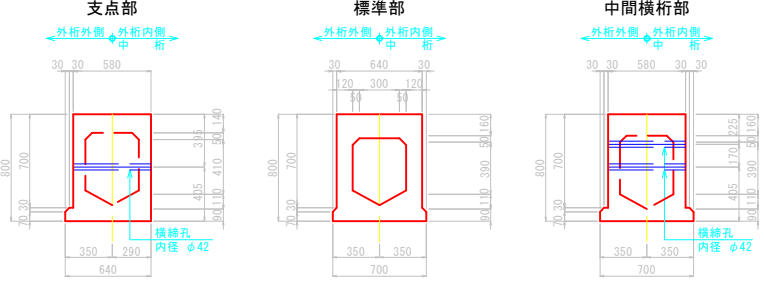
図面番号	7/60	縮尺	S=1:100
工種	道路改良工事		
種別	上部工構造一般図(その2)	番号	1/1
路線名	市道十日市194号線		
河川名	三次市南越敷町掛原		
工事箇所	広島県三次市		

上部工構造一般図(その2) S=1:100

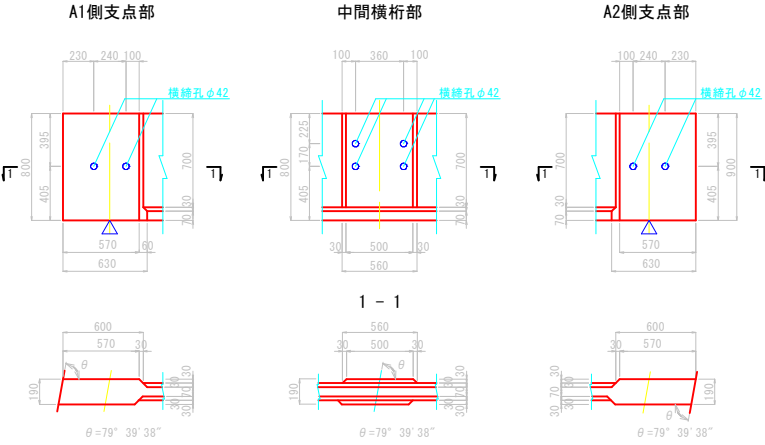
平面図



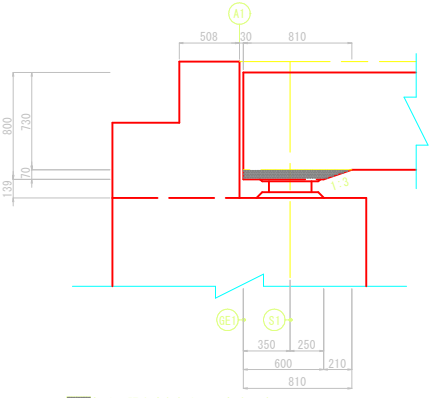
主桁詳細図 S=1:20



横桁詳細図 S=1:20

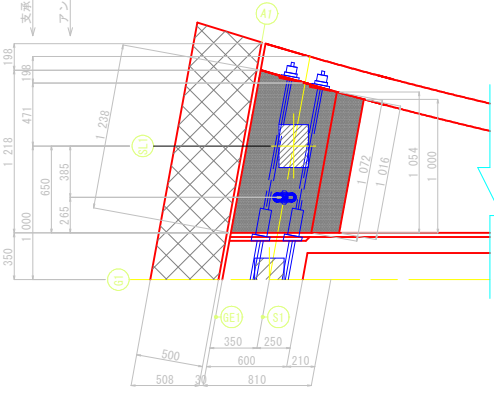


側面図

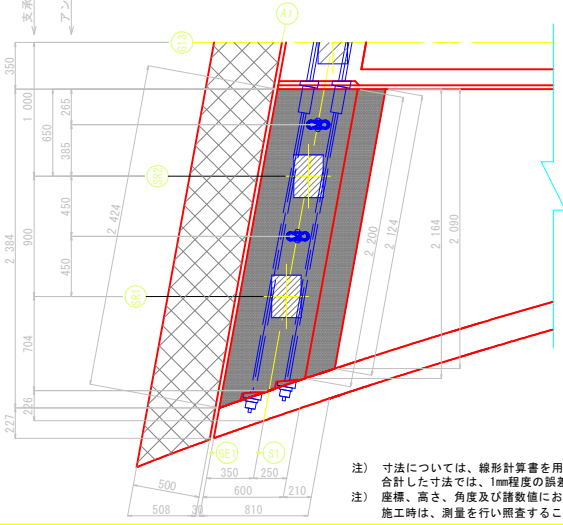


張出床版打ち下し詳細図 S=1:20

平面図



平面図

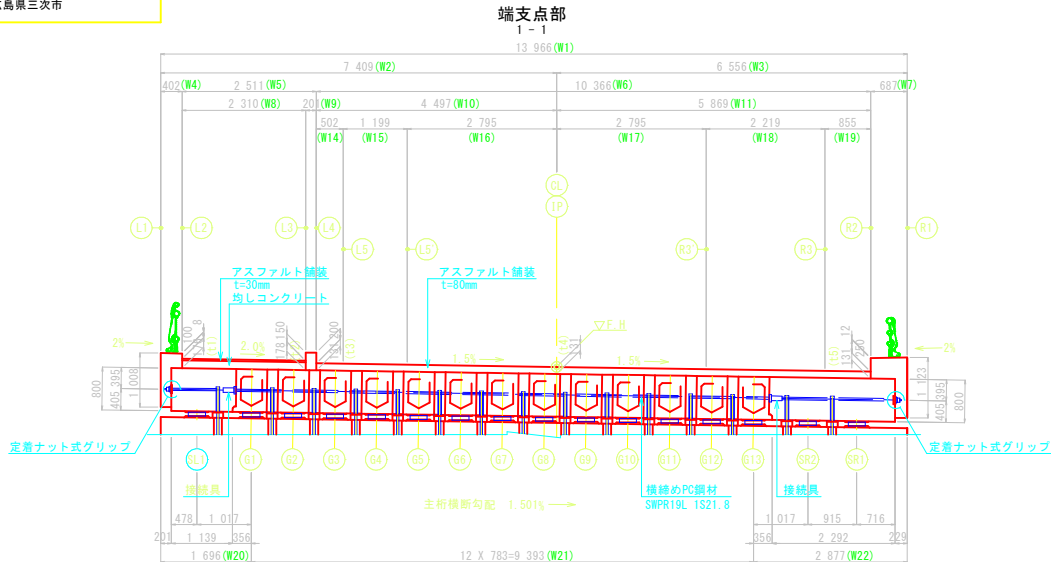


注) 寸法については、梯形計算書を用いて算出している為、梯形の寸法と各区間を合計した寸法では、1mm程度の誤差(四捨五入による)が生じる場合がある。
注) 座標、高さ、角度及び諸数値においては参考値とする。
施工時は、測量を行い照査することとする。

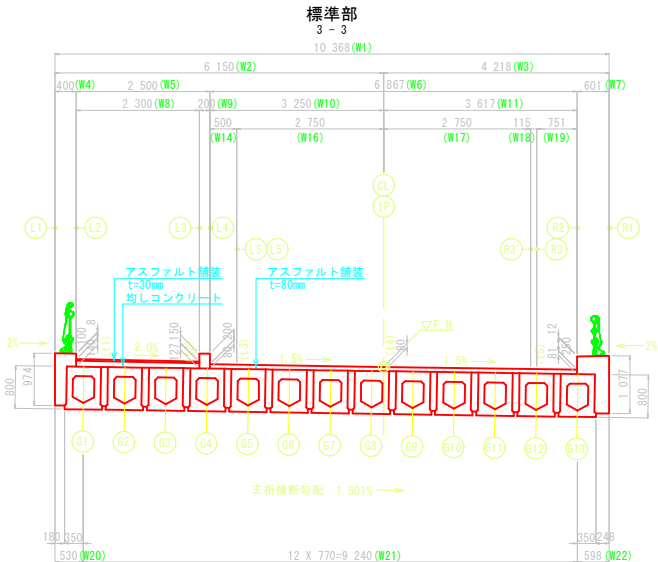
図面番号	8 / 60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	上部工構造一般図(その3)	番号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

上部工構造一般図(その3) S=1:50

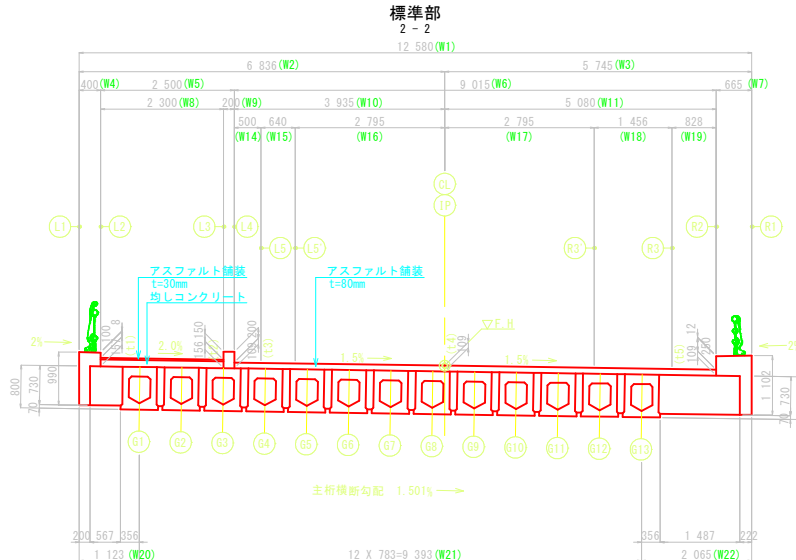
断面図



※ 表示寸法は、S1ライン上の値を示す。
※ 橋面横断勾配(車道部)は、CLに対して法線方向の値を示す。
※ 橋面横断勾配(歩道部)は、L3に対して法線方向の値を示す。
※ 主桁横断勾配は、主桁直角方向の値を示す。

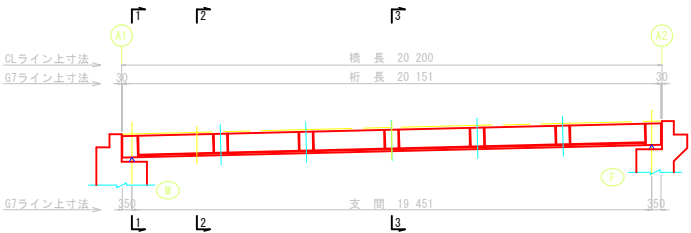


※ 表示寸法は、KA1-Iライン上の値を示す。
※ 橋面横断勾配(車道部)は、CLに対して法線方向の値を示す。
※ 橋面横断勾配(歩道部)は、L3に対して法線方向の値を示す。
※ 主桁横断勾配は、主桁直角方向の値を示す。



※ 表示寸法は、O1ライン上の値を示す。
※ 橋面横断勾配(車道部)は、CLに対して法線方向の値を示す。
※ 橋面横断勾配(歩道部)は、L3に対して法線方向の値を示す。
※ 主桁横断勾配は、主桁直角方向の値を示す。

位置図



注) 寸法については、線形計算書を用いて算出している為、線形の寸法と各区分を合計した寸法では、1mm程度の誤差(四捨五入による)が生じる場合がある。
注) 座標、高さ、角度及び諸数値においては参考値とする。
施工時は、測量を行い照査することとする。

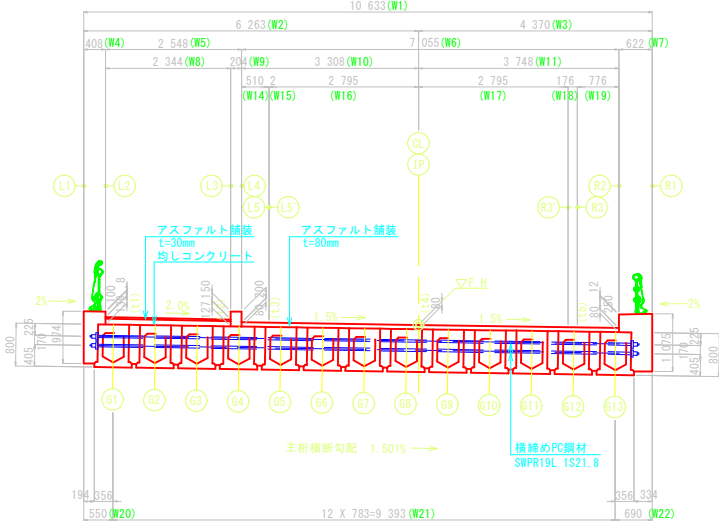
図面番号	9 / 60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	上部工構造一般図(その4)	番号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

上部工構造一般図(その4) S=1:50

断面図

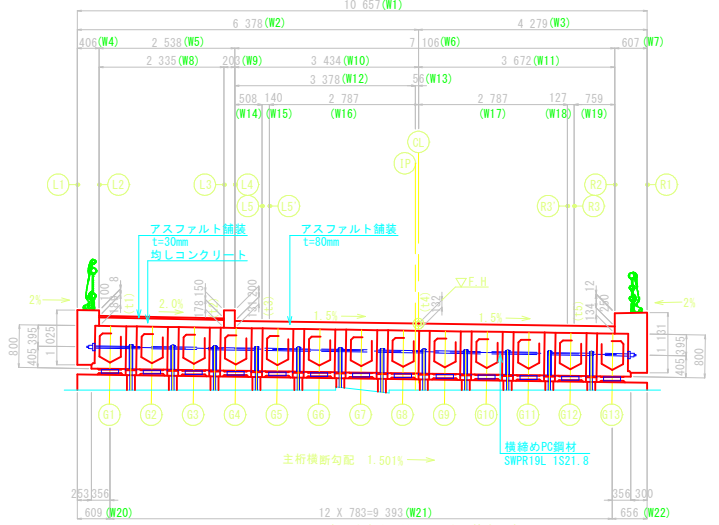
中間横桁部

4-4



端支点部

5-5



※ 表示寸法は、S2ライン上の値を示す。
※ 橋面横断勾配(車道部)は、CLに対して法線方向の値を示す。
※ 橋面横断勾配(歩道部)は、L3に対して法線方向の値を示す。
※ 主桁横断勾配は、主桁直角方向の値を示す。

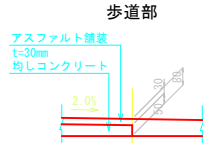
幅員表

	GE1	S1	C1	C2	C3	L2CX	K	KA1-1	C4	C5	R2CX	C6	C7	S2	GE2
W1	14 197	13 966	12 580	11 574	10 934	10 407	10 388	10 368	10 633	10 522	10 348	10 545	10 603	10 657	10 665
W2	7 508	7 409	6 836	6 456	6 270	6 150	6 150	6 150	6 263	6 296	6 199	6 326	6 353	6 378	6 381
W3	6 689	6 556	5 745	5 119	4 664	4 257	4 238	4 218	4 370	4 226	4 149	4 219	4 250	4 279	4 283
W4	402	402	400	401	404	400	400	400	408	408	400	407	407	406	406
W5	2 514	2 511	2 500	2 505	2 524	2 500	2 500	2 500	2 548	2 547	2 500	2 545	2 542	2 538	2 537
W6	10 591	10 366	9 015	8 022	7 373	6 905	6 887	6 867	7 055	6 954	6 848	6 985	7 047	7 106	7 115
W7	691	687	665	647	633	602	601	601	622	613	600	608	608	607	607
W8	2 313	2 310	2 300	2 304	2 322	2 300	2 300	2 300	2 344	2 343	2 300	2 341	2 339	2 335	2 334
W9	201	201	200	200	202	200	200	200	204	204	200	204	203	203	203
W10	4 582	4 497	3 935	3 550	3 342	3 250	3 250	3 250	3 308	3 342	3 299	3 374	3 405	3 434	3 438
W11	5 999	5 869	5 080	4 472	4 031	3 655	3 637	3 617	3 748	3 613	3 549	3 611	3 642	3 672	3 677
W12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 341	3 296	3 368	3 382	3 378	3 376
W13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	6	23	56	63
W14	503	502	500	501	504	500	500	500	510	510	500	509	509	508	508
W15	1 294	1 199	640	254	42	-	-	-	2	37	49	72	106	140	145
W16	2 795	2 795	2 795	2 795	2 795	2 750	2 750	2 750	2 795	2 795	2 750	2 793	2 790	2 787	2 786
W17	2 795	2 795	2 795	2 795	2 795	2 750	2 750	2 750	2 795	2 795	2 750	2 794	2 791	2 787	2 787
W18	2 344	2 219	1 456	869	446	153	135	115	176	52	49	57	92	127	132
W19	859	855	828	807	790	752	752	751	776	766	750	760	760	759	758
W20	1 795	1 696	1 123	743	557	530	530	530	550	582	576	607	617	609	606
W21	12 X 783 =9 393	12 X 783 =9 393	12 X 783 =9 393	12 X 783 =9 393	12 X 783 =9 393	12 X 770 =9 240	12 X 770 =9 240	12 X 770 =9 240	12 X 783 =9 393	12 X 783 =9 393	12 X 783 =9 240	12 X 783 =9 393	12 X 783 =9 393	12 X 783 =9 393	12 X 783 =9 393
W22	3 010	2 877	2 065	1 439	985	637	618	598	690	547	532	546	593	656	666

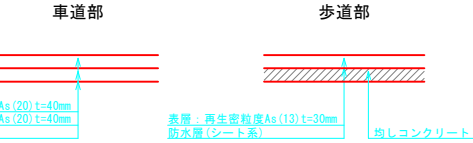
舗装厚表

	GE1	S1	C1	C2	C3	L2CX	K	KA1-1	C4	C5	R2CX	C6	C7	S2	GE2	平均
t1	179	176	157	145	140	139	139	140	139	142	143	152	167	189	193	154
t2	182	178	156	140	130	127	127	127	130	132	140	156	178	182	146	
t3	135	131	109	93	83	80	80	80	80	83	86	93	109	131	135	99
t4	135	131	109	93	83	80	80	80	80	83	88	93	109	132	136	99
t5	135	131	109	93	83	80	80	81	80	83	91	93	110	134	138	99

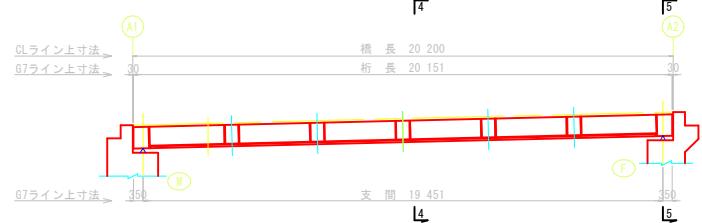
均しコンクリート最小厚



舗装構成



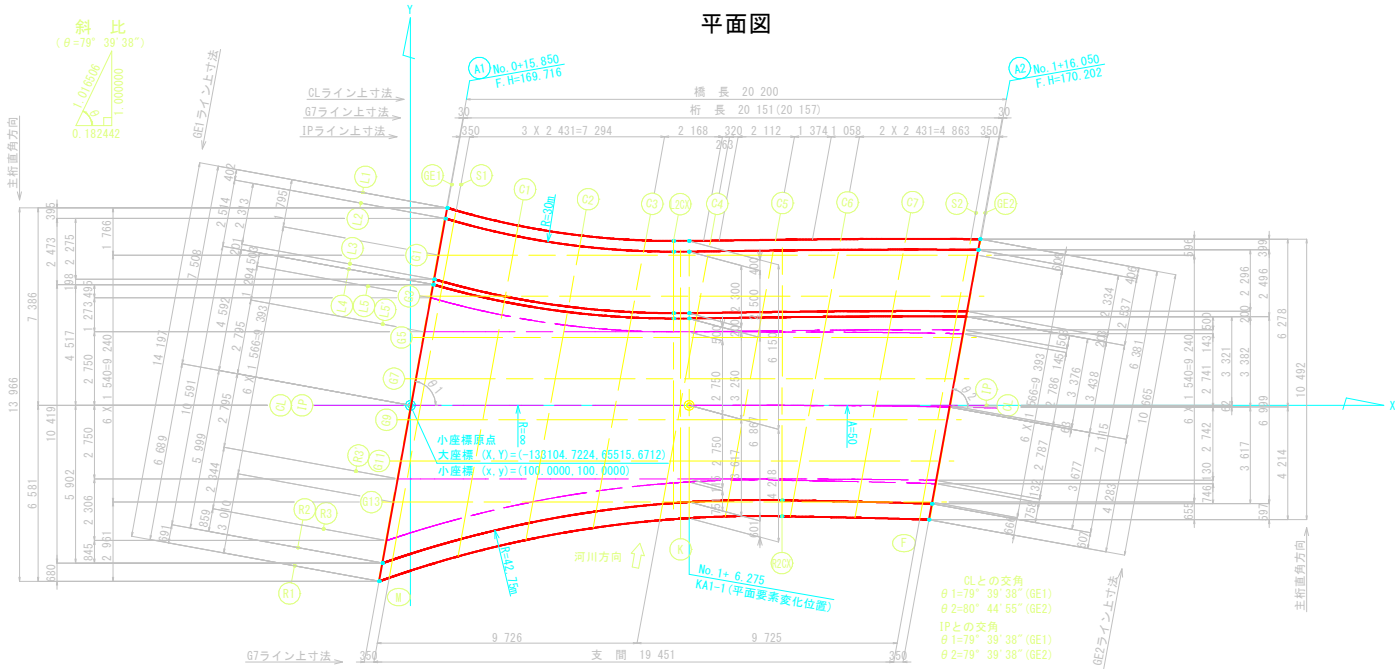
位置図



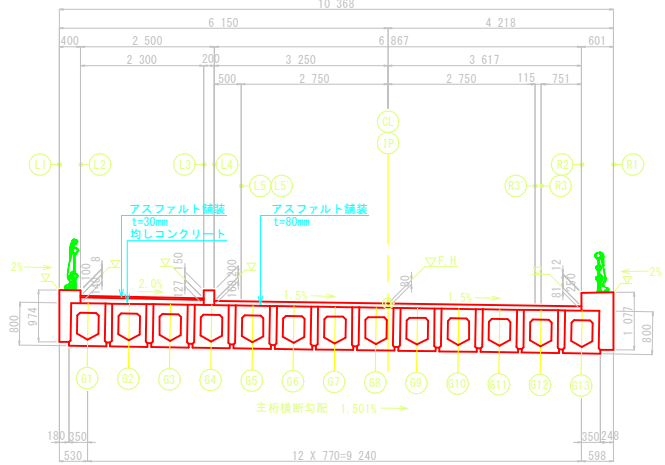
注) 寸法については、線形計算書を用いて算出している為、線形の寸法と各区間を合計した寸法では、1mm程度の誤差(四捨五入による)が生じる場合がある。
注) 座標、高さ、角度及び諸数値においては参考値とする。
施工時は、測量を行い照査することとする。

図面番号	11 / 60	縮尺	S=1:100
工 種	道路改良工事		
種 別	線形図(その1)	番号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

線形図(その1) S=1:100



断面図 S=1:50



※ 表示寸法は、KA1-1ライン上の値を示す。
※ 橋面横断勾配(車道部)は、CLに対して法線方向の値を示す。
※ 橋面横断勾配(歩道部)は、L3に対して法線方向の値を示す。
※ 主桁断面勾配は、主桁直角方向の値を示す。

線形ラインの設定

道路中心ラインをCLラインと設定する。
CLラインのNo. 1+ 6.275より終点側に直線で延長したラインをIPと設定する。
地盤外側ラインをL1, R1ラインと設定する。
地盤内側ラインをL2, R2ラインと設定する。
歩車道境界ラインをL3, L4ラインと設定する。
L5ラインは、L4ラインをCLライン側に500mmオフセットしたラインとする。
L5' ラインは、CLラインをL4ライン側に2 750mmオフセットしたラインとする。
R3ラインは、R2ラインをCLライン側に750mmオフセットしたラインとする。
R3' ラインは、CLラインをR2ライン側に2 750mmオフセットしたラインとする。
主桁ラインをG1~G13ラインと設定する。

A1ラインをNo. 0+15.850 CL (IP)ラインに対して左79° 39' 38"に設定する。
A2ラインをNo. 1+16.050 CLラインに対して左79° 39' 38"に設定する。

平面要素変化位置 KA1-1をNo. 1+ 6.275 CLラインに対して90° に設定する。

桁端ラインは、橋台ラインに対して平行に設定する。(GE1, GE2ライン)
支束ラインは、橋台ラインに対して平行に設定する。(S1, S2ライン)
Onラインは、支間をCLライン上で8等分したラインとする。
L1, L2, L3, L4の平面形状変化位置をL2CXと設定する。
R2の平面形状変化位置をR2CXと設定する。
CLラインとO4ラインの交点でCLラインに対して90° に設定したラインをKラインとする。

注) 寸法については、線形計算書を用いて算出している為、線形の寸法と各区間を合計した寸法では、1mm程度の誤差(四捨五入による)が生じる場合がある。
注) 座標、高さ、角度及び諸数値においては参考値とする。
施工時は、測量を行い照査することとする。

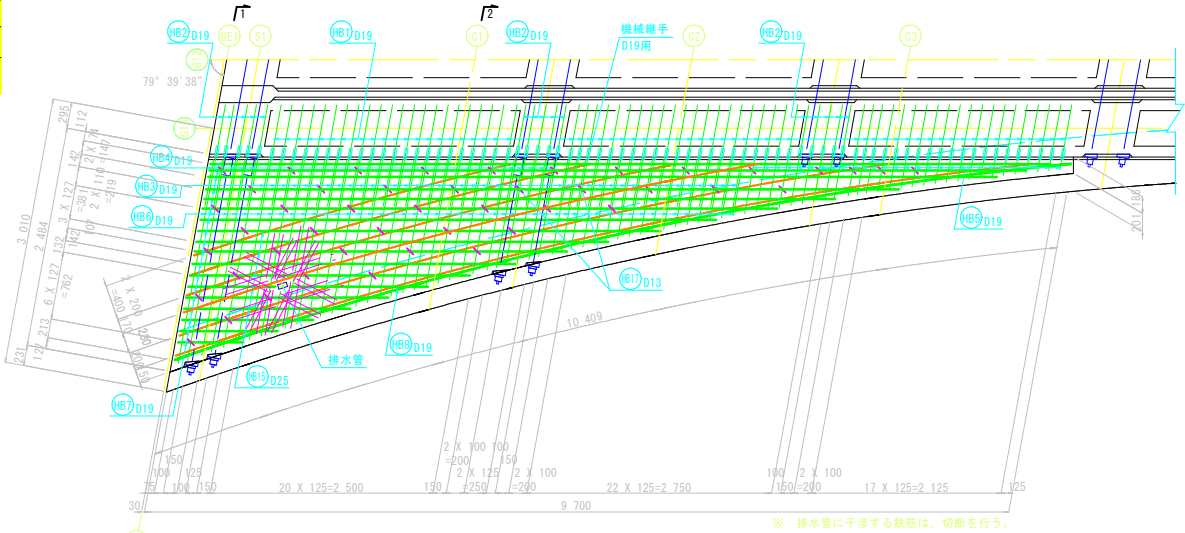
図面番号	17 60	縮尺	図示	
工 種	道路改良工事			
種 別	張出床版詳細図(その2)	番号	1/	
路線 河川名	市道十日市194号線			
工事箇所	三次市南畑数町掛原			
広島県三次市				



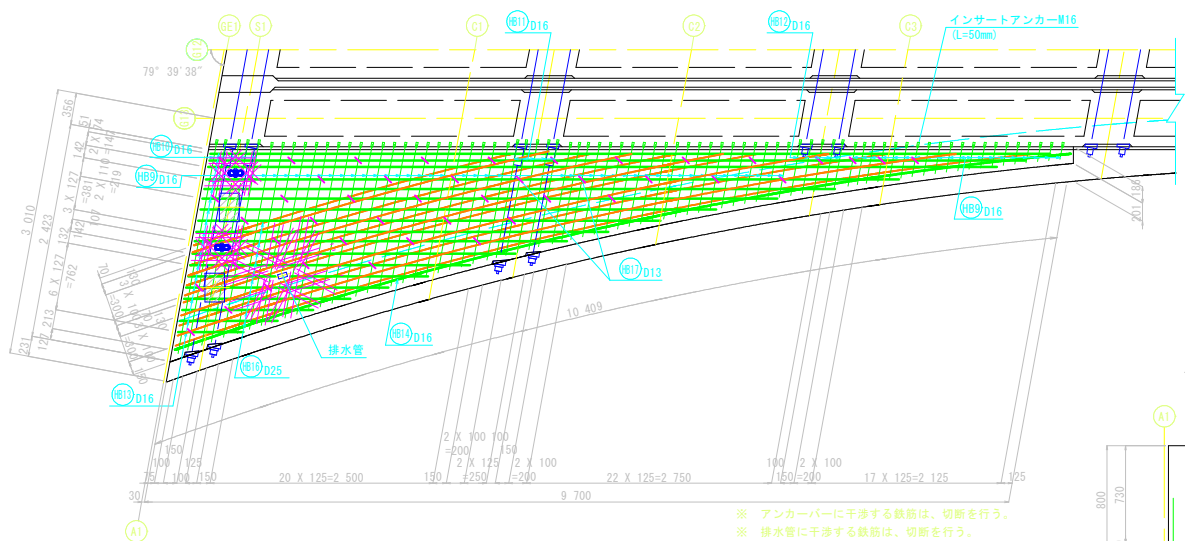
張出床版詳細図(その2)

平面図 S=1:30

R側 張出床版上面



R側 張出床版上面

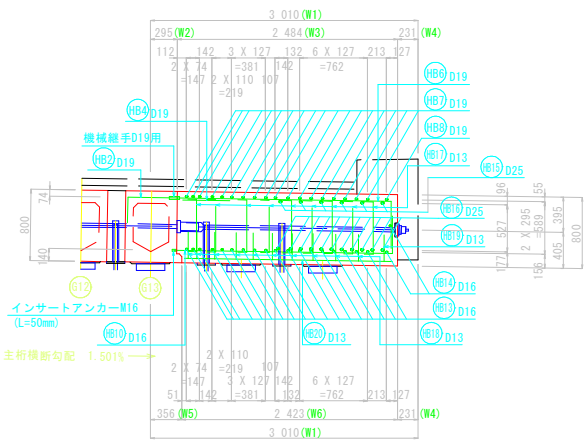


寸法表

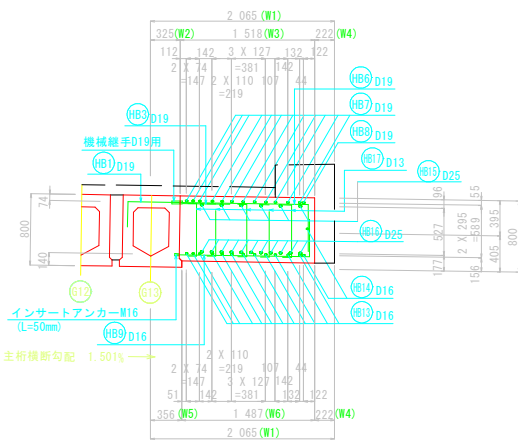
	GE1	S1	C1	C2	C3
W 1	3 010	2 877	2 065	1 439	985
W 2	295	295	325	325	325
W 3	2 484	2 353	1 518	898	449
W 4	231	229	222	216	211
W 5	356	356	356	356	356
W 6	2 423	2 292	1 487	867	418

断面図 S=1:30

1 - 1

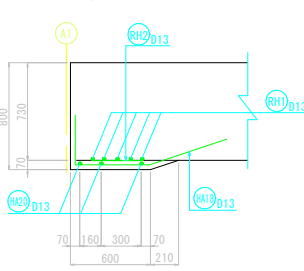


2 - 2

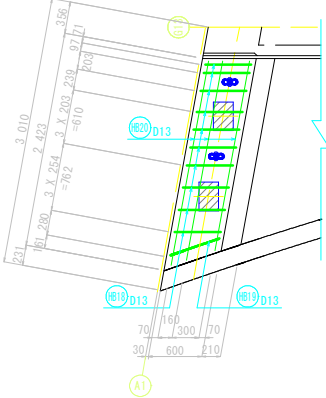


床版打ち下ろし配筋図

側面図 S=1:20



平面図 S=1:30

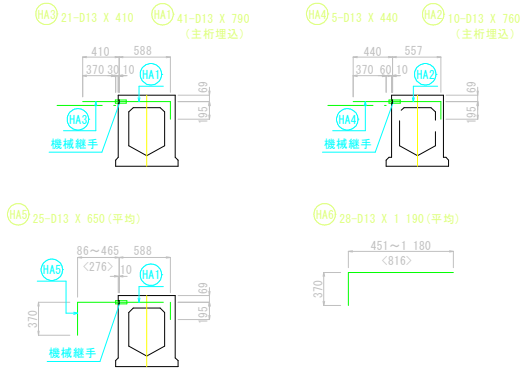


注) コンクリート強度は、σ_{ck}=30N/mm²とする。

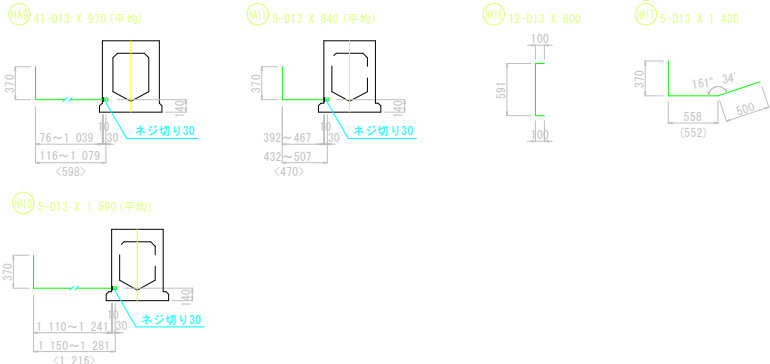
図面番号	18 60	縮尺	図示	
工 種	道路改良工事			
種 別	張出床版詳細図(その3)	番号		
路線 河川名	市道十日市194号線			
工事箇所	三次市南畑敷町掛原			
広島県三次市				

張出床版詳細図(その3)

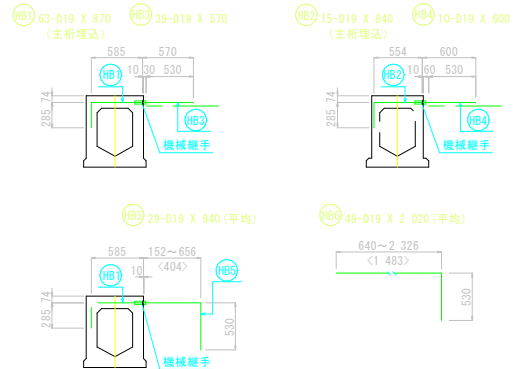
L側 鉄筋加工図



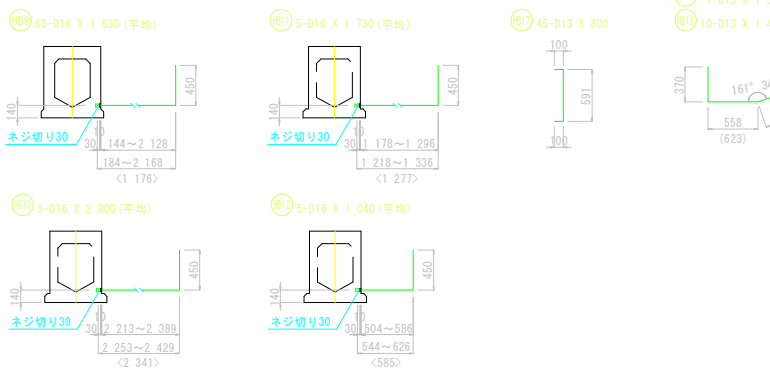
HA _n	N	D	L1	L	摘要
HA7	10	D13	470 ~ 6 240 <3 355>	3 360	平均
HA8	1	D13	5 510	5 510	
HA12	10	D13	470 ~ 6 240 <3 355>	3 360	平均
HA13	2	D13	5 510	5 510	
HA14	3	D25	1 840 ~ 4 590 <3 215>	3 220	平均
HA15	6	D25	1 840 ~ 5 320 <3 580>	3 580	平均
HA19	3	D13	1 030 ~ 1 157 <1 094>	1 090	平均



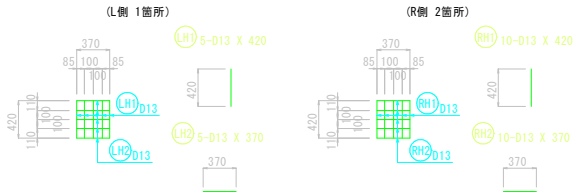
R側 鉄筋加工図



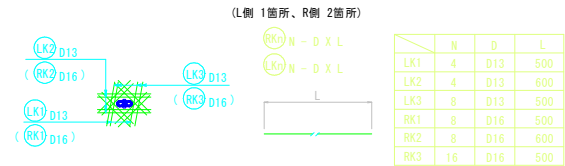
HB _n	N	D	L1	L	摘要
HB7	18	D19	730 ~ 9 420 <5 075>	5 080	平均
HB8	1	D19	10 310	10 310	
HB13	18	D16	730 ~ 9 420 <5 075>	5 080	平均
HB14	2	D16	10 310	10 310	
HB15	6	D25	3 700 ~ 9 880 <6 790>	6 790	平均
HB16	11	D25	3 700 ~ 9 880 <6 790>	6 790	平均
HB20	3	D13	2 160 ~ 2 330 <2 245>	2 250	平均



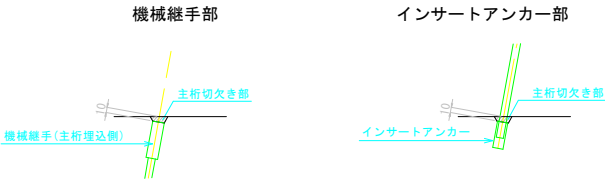
沓座補強鉄筋



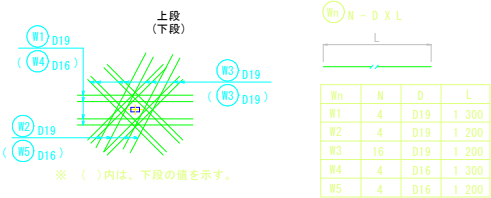
アンカー補強鉄筋



主桁切欠き詳細図 S=1:5



排水補強鉄筋 (R側)



特記仕様

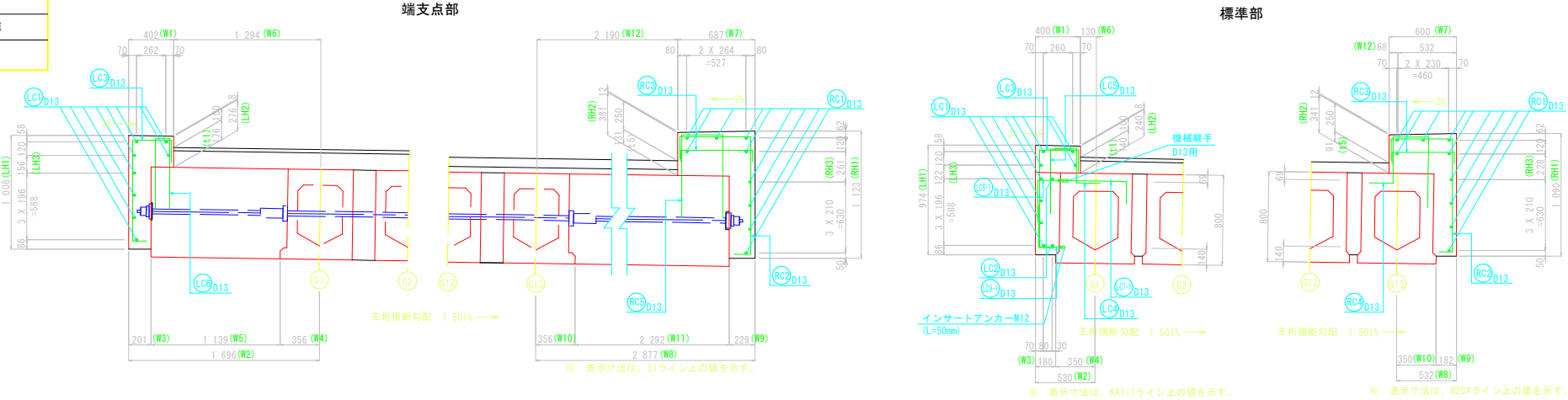
	土木製図基準表記	詳細設計図表記
1. 鉄 筋 断 面	●	○
2. 重 ね 継 手	×	■
3. 鉄筋端部の曲がり	鉄筋端部が90° 奥へ曲がっている場合 鉄筋端部が90° 手前に曲がっている場合	鉄筋端部が90° 奥へ曲がっている場合 鉄筋端部が90° 手前に曲がっている場合
4. ガス圧接継手の表記が円を塗りつぶして表記する為、混同しないよう鉄筋断面は白丸で統一する。		
5. 重ね継手は、鉄筋が密に配置される場合鉄筋引き出し線と混同する恐れがある為、太線表記とする。		
6. 配筋図の側面図、平面図、断面図及び詳細図などから端部の曲がり方向は明確に判別できるので配筋図が煩雑にならないよう表記は行わない。		
7. 機械継手の表記は、右図のように統一する。		

注) コンクリート強度は、σ_{ck}=30N/mm²とする。

図面番号	21 60	縮尺	図示
工 種	道路改良工事		
種 別	地覆詳細図(その2)	番号	
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

地覆詳細図(その2)

断面図 S=1:20



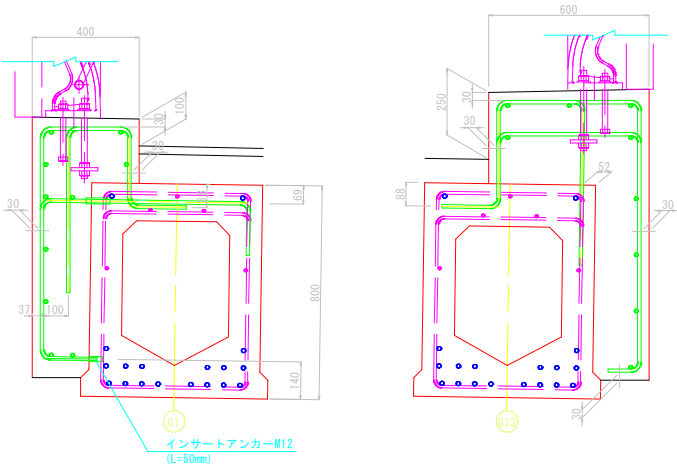
地覆寸法表

	GE1	S1	C1	C2	C3	L2CX	KA1-1	G4	C5	R2CX	C6	C7	S2	GE2
t1	179	176	157	145	140	139	140	139	142	143	152	167	189	193
LH1	1 011	1 008	990	979	974	974	974	978	979	987	1 003	1 025	1 028	
LH2	279	276	257	245	240	239	240	239	242	243	252	267	289	293
LH3	159	156	138	127	122	122	122	126	127	135	151	173	176	
t5	135	131	109	93	83	80	81	80	83	91	93	110	134	138
RH1	1 127	1 123	1 102	1 087	1 079	1 076	1 077	1 075	1 081	1 090	1 092	1 108	1 131	1 134
RH2	385	381	359	343	333	330	331	330	333	341	343	360	384	388
RH3	265	261	240	225	217	214	215	213	219	228	230	246	269	272

地覆寸法表

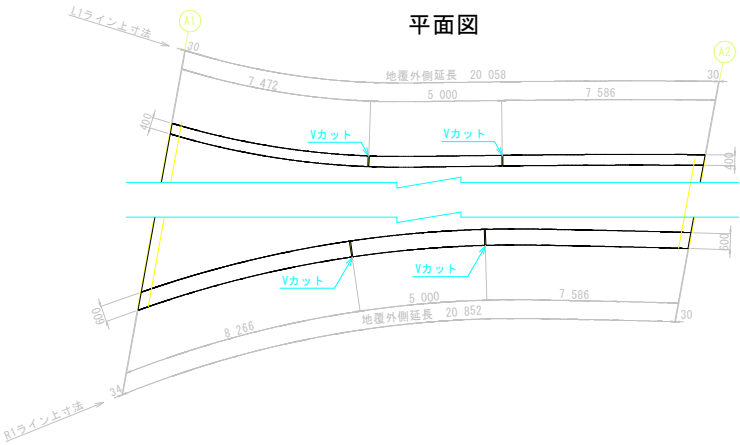
	GE1	S1	C1	C2	C3	L2CX	KA1-1	C4	C5	R2CX	C6	C7	S2	GE2
W1	402	402	400	401	404	400	400	408	408	400	407	407	406	406
W2	1 795	1 696	1 123	743	557	530	530	550	582	576	607	617	609	606
W3	201	201	200	200	201	180	180	194	226	226	251	261	253	250
W4	356	356	356	356	356	350	350	356	356	350	356	356	356	356
W5	1 238	1 139	567	187	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
W6	1 393	1 294	723	342	153	130	130	142	174	176	200	210	203	200
W7	691	687	665	647	633	602	601	622	613	600	608	608	607	607
W8	3 010	2 877	2 065	1 439	985	637	598	690	547	532	546	593	656	666
W9	231	229	222	216	211	287	248	334	191	182	190	237	300	310
W10	356	356	356	356	356	350	350	356	356	350	356	356	356	356
W11	2 423	2 292	1 487	867	418	-	-	-	-	-	-	-	-	-
W12	2 319	2 190	1 400	792	352	35	3	68	66	68	62	15	49	59

かぶり詳細図 S=1:10



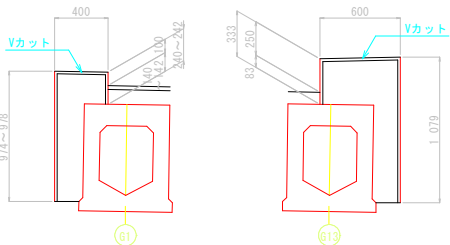
Vカット配置図

平面図

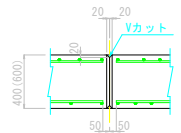


Vカット詳細図

断面図 S=1:20



平面図 S=1:20

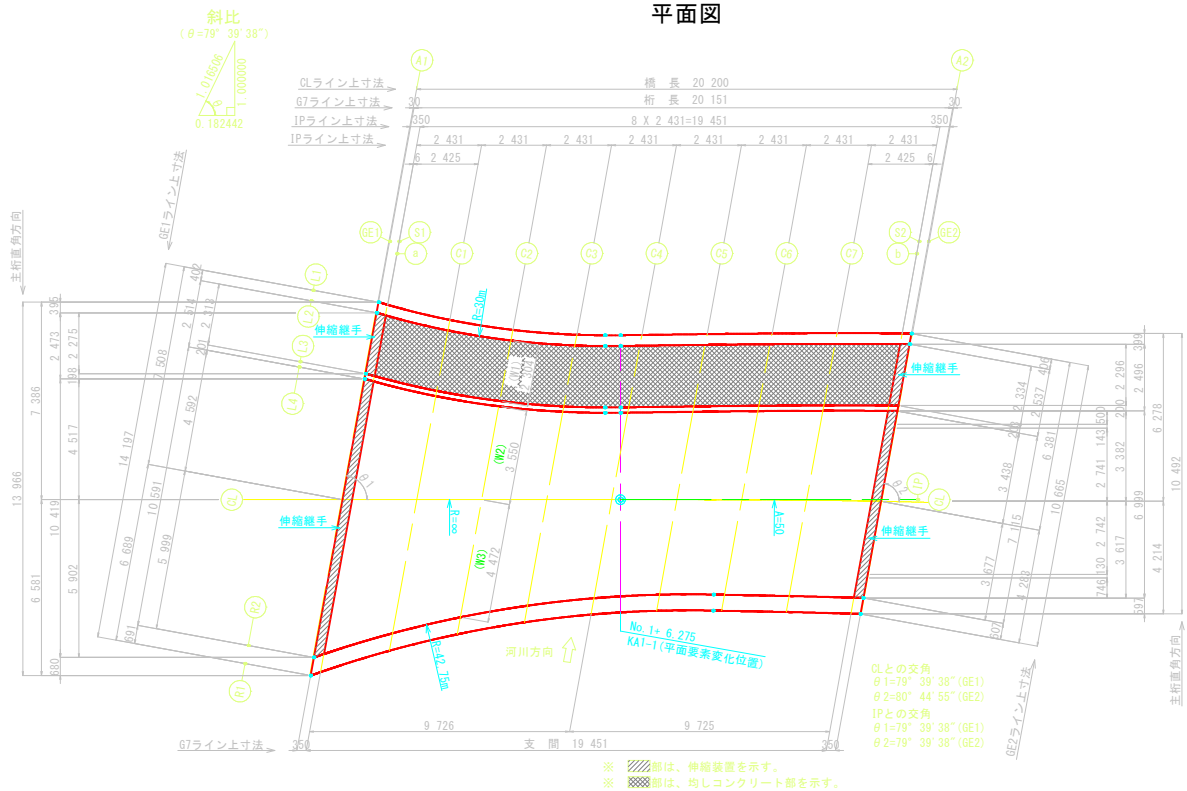


注) コンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

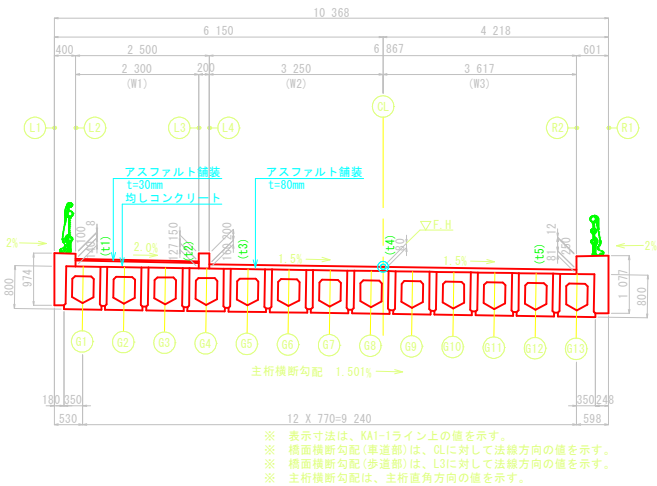
図面番号	23 60	縮尺	S=1:100
工 種	道路改良工事		
種 別	舗装工詳細図	番号	／
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

舗装工詳細図 S=1:100

平面図



断面図 S=1:50



幅員表

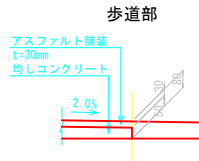
	GE1	S1	a	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	b	S2	GE2
W1	2 313	2 310	2 310	2 300	2 304	2 322	2 344	2 343	2 341	2 339	2 335	2 335	2 334
W2	4 592	4 497	4 495	3 935	3 550	3 342	3 308	3 342	3 374	3 405	3 433	3 434	3 438
W3	5 999	5 869	5 867	5 080	4 472	4 031	3 748	3 613	3 611	3 642	3 673	3 672	3 677

舗装厚表

	GE1	S1	a	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	b	S2	GE2
t1	179	176	176	157	145	140	139	142	152	167	189	189	193
t2	182	178	178	156	140	130	127	130	140	156	178	178	182
t3	135	131	131	109	93	83	80	83	93	109	131	131	135
t4	135	131	131	109	93	83	80	83	93	109	132	132	136
t5	135	131	131	109	93	83	80	83	93	110	134	134	138

※ 上段は、舗装厚を示す。
※ 下段は、均しコンクリートを示す。

均しコンクリート最小厚



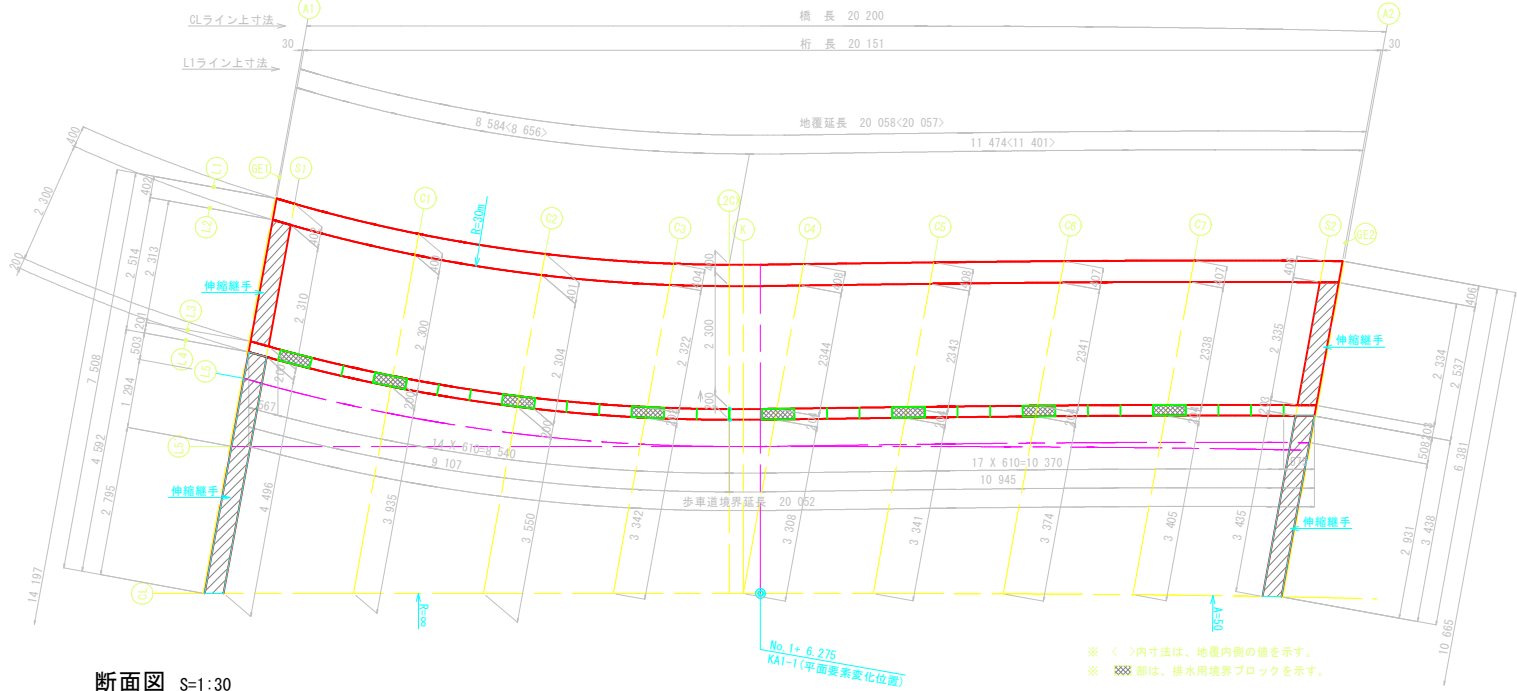
※ 車道部については均しコンクリートの面積構成が出来ない為
アスファルト舗装のみで対応するものとする。

注) 寸法については、横形計算書を用いて算出している為、横形の寸法と各区分を
合計した寸法では、1mm程度の誤差(四捨五入による)が生じる場合がある。
注) 座標、高さ、角度及び諸数値においては参考値とする。
施工時は、測量を行い照会することとする。

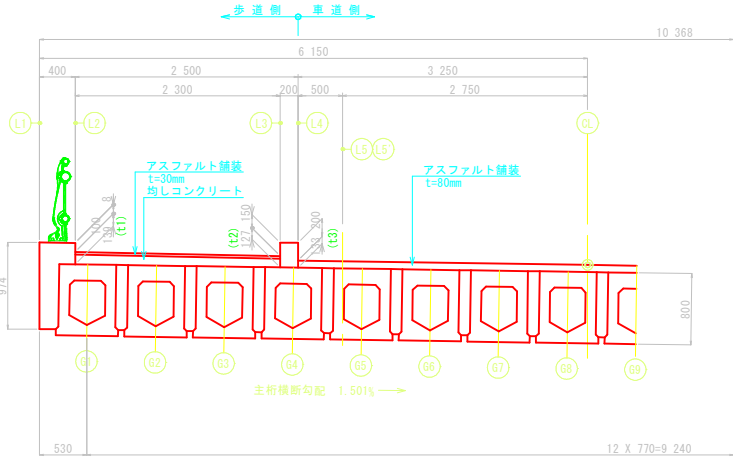
図面番号	24 60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	歩道工詳細図	番号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

歩道工詳細図 S=1:50

平面図



断面図 S=1:30

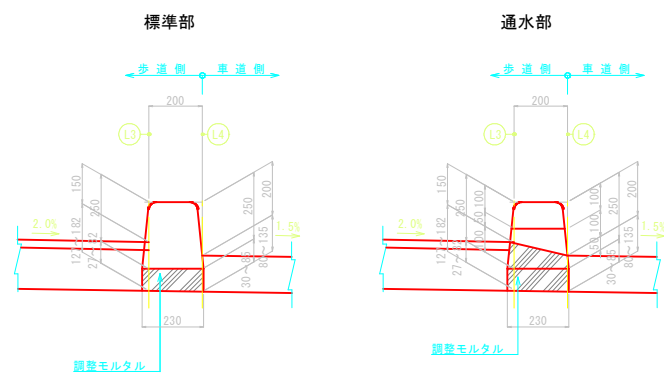


舗装厚表

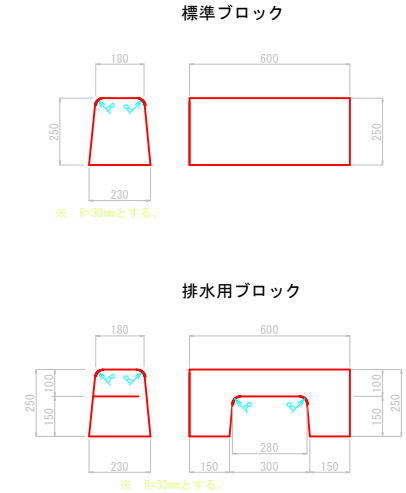
	GE1	S1	C1	C2	C3	L2CX	KA1-1	C4	C5	C6	C7	S2	GE2
t1	179	176	157	145	140	139	139	139	142	152	167	189	193
	-	-	127	115	110	109	109	109	112	122	137	-	-
t2	182	178	156	140	130	127	127	127	130	140	156	178	182
	-	-	126	110	100	97	97	97	100	110	126	-	-
t3	135	131	109	93	83	80	80	80	83	93	109	131	135
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 上段は、舗装厚を示す。
※ 下段は、均しコンクリートを示す。

歩車道境界部納り図 S=1:10



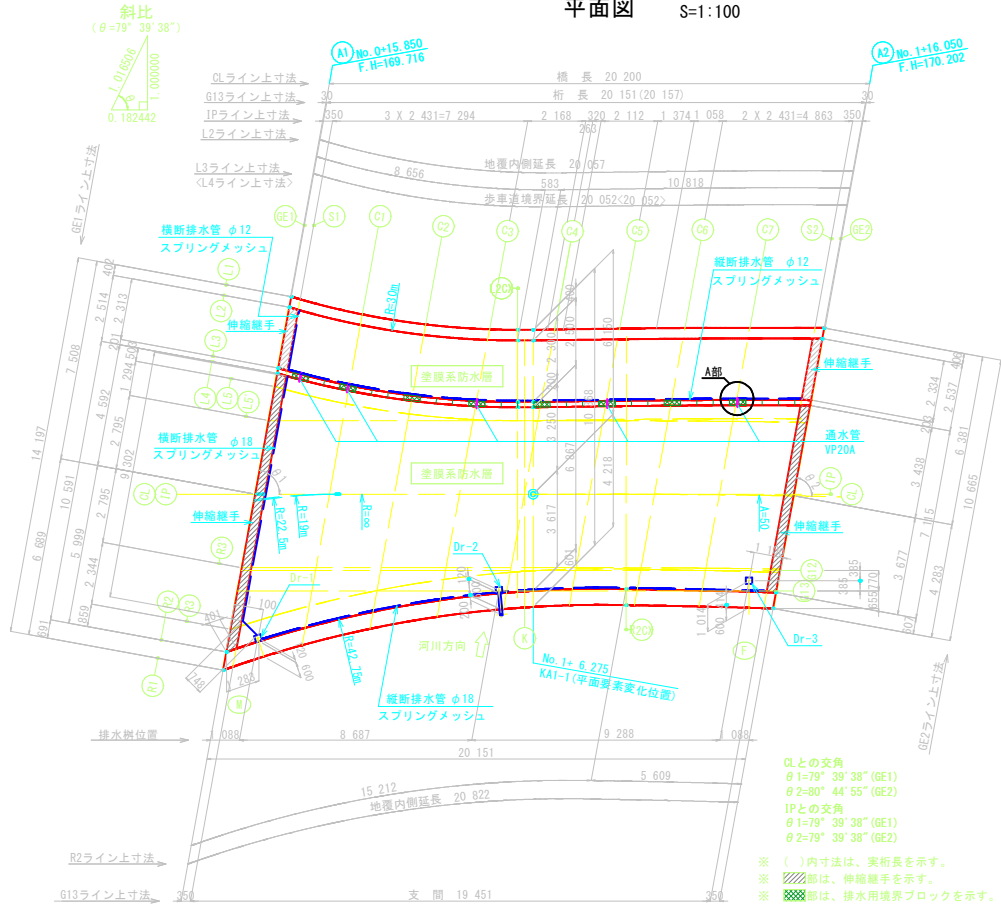
境界ブロック詳細図 S=1:10



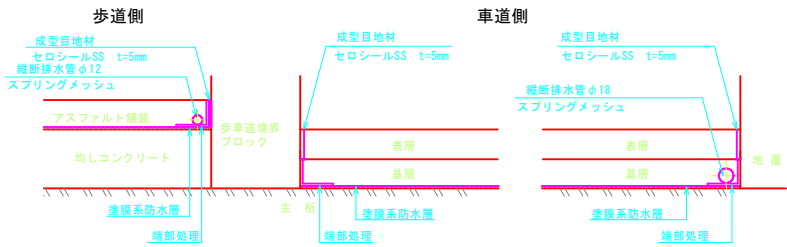
図面番号	25 60	縮尺	図示	
工 種	道路改良工事			
種 別	排水・防水工詳細図(その1)	番号	〃	
路線 河川名	市道十日市194号線			
工事箇所	三次市南畑数町掛原			
広島県三次市				

排水・防水工詳細図(その1)

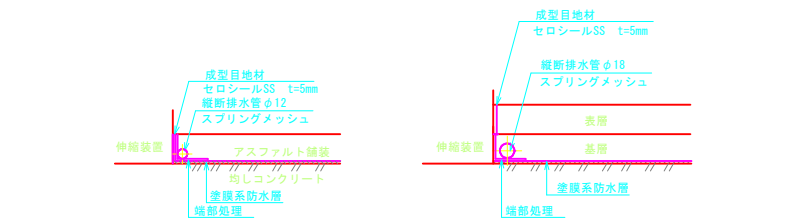
平面図 S=1:100



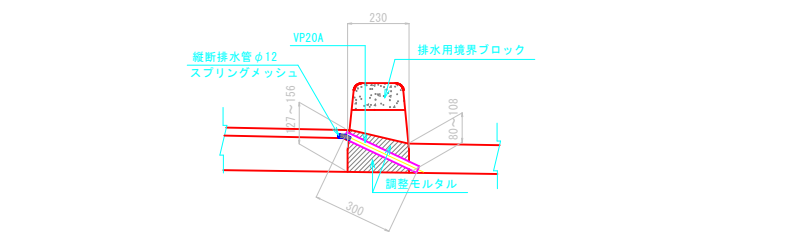
端部処理詳細図
地覆・歩車道境界部



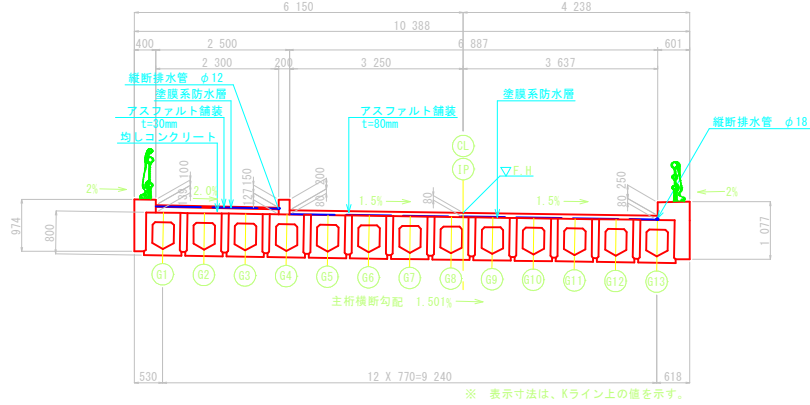
伸縮継手部
歩道側



A部詳細図 S=1:10



断面図 S=1:50



防水工材料総括表

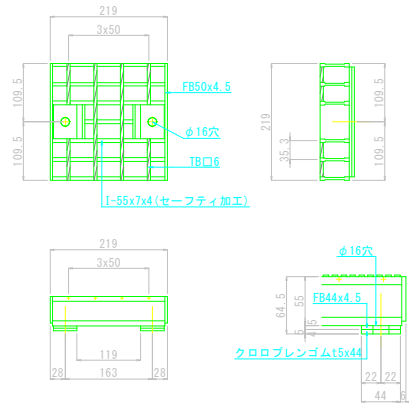
名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			車道部	歩道部	合 計	
防 水 層	塗 膜 系	m ²	146.2	44.5	190.7	
縦 構 断 排 水 管	スプリングメッシュ φ18	m	29.2	-	29.2	ステンレス
	スプリングメッシュ φ12	m	-	21.7	21.7	ステンレス
成 型 目 地 材	セロシールSS t=5mm	m	57.1	43.3	100.4	同等品以上
端 部 処 理	シルバメッシュ	m	57.1	43.3	100.4	同等品以上
通 水 管	VP20A 直 管 V1	m	-	1.5	1.5	L=300 5 個
流 水 延 長		m	-	1.5	1.5	

図面番号	26 60	縮尺	S=1:5
工 種	道路改良工事		
種 別	排水・防水工詳細図(その2)	番号	
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

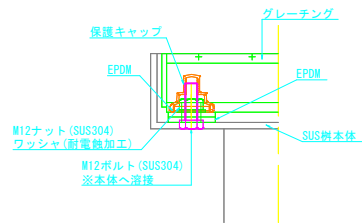
- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずること。
3. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じること。

グレーティング詳細図

SS400 溶融亜鉛メッキ(JIS H8641 HDZT63)
W=4.8kg/基



グレーティング、保護キャップ取付詳細図



保護キャップ詳細図

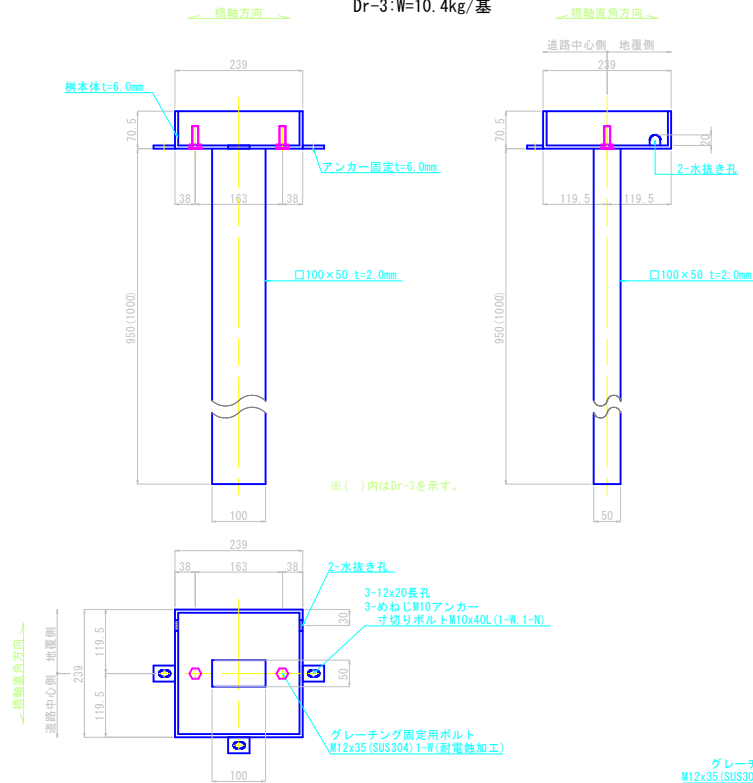


排水・防水工詳細図(その2) S=1:5

ステンレス排水樹詳細図

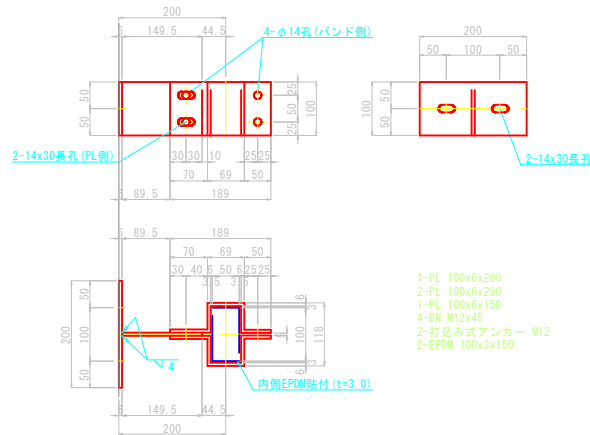
Dr-1, Dr-3

製作数 N=各1組
Dr-1: W=10.2kg/基
Dr-3: W=10.4kg/基



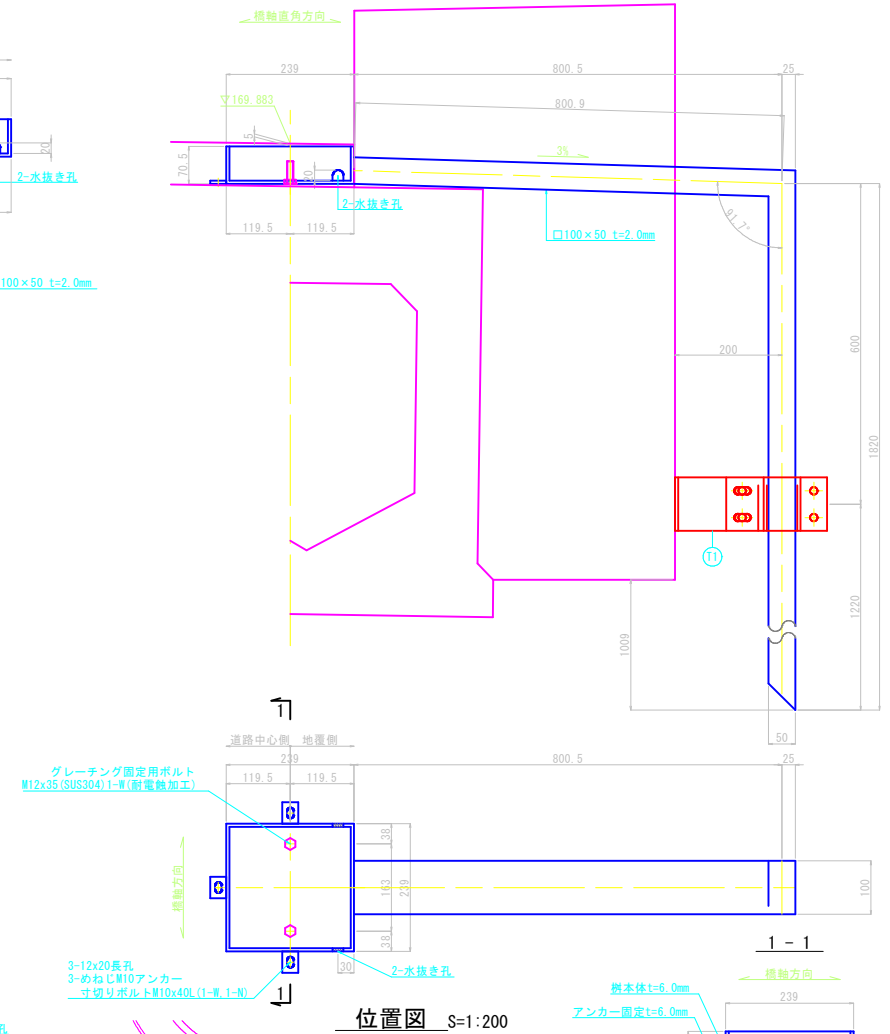
取付金具<T1>

製作数 N=1組(W=4.4kg/基)



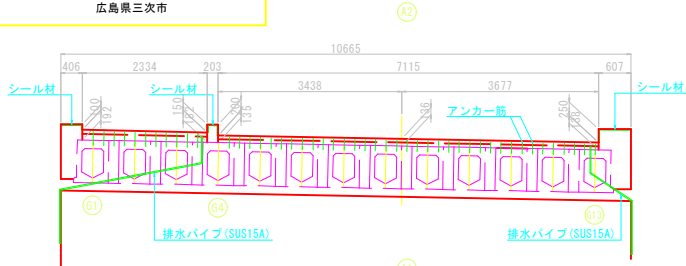
Dr-2

製作数 N=1組(W=17.9kg/基)

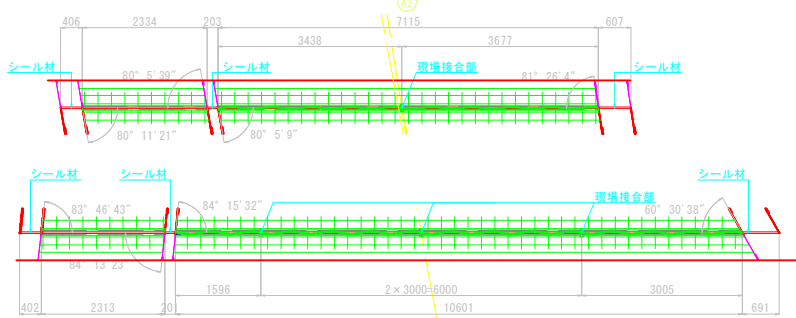


図面番号	29 60	縮尺	図示
工 種	道路改良工事		
種 別	伸縮継手工詳細図	番号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

断面図 S=1:50

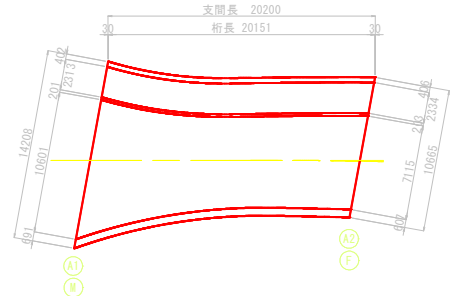


平面図 S=1:50



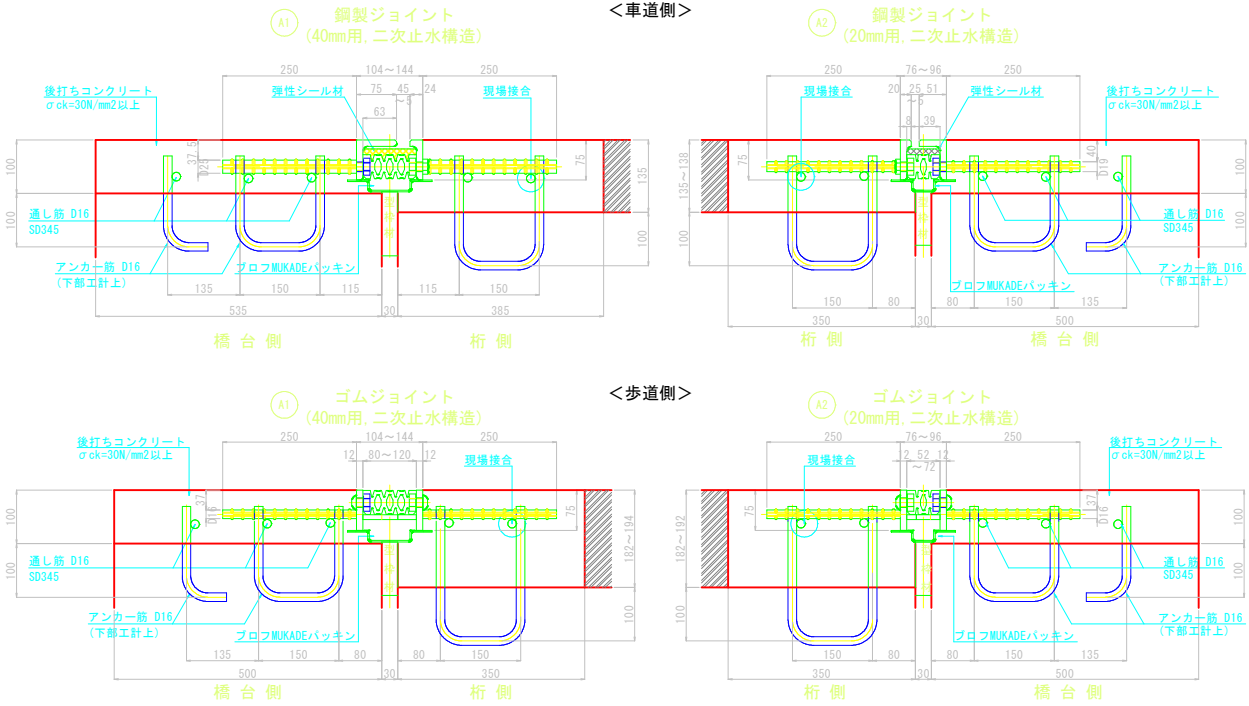
※現場接合部はバックキンに接着剤を塗布し接合すること。
また、指定範囲に溶接を施すこと。

位置図 S=1:200

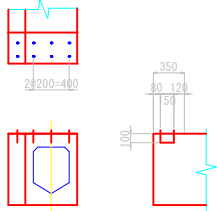


伸縮継手工詳細図

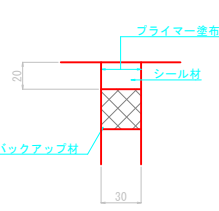
伸縮継手断面図 S=1:5



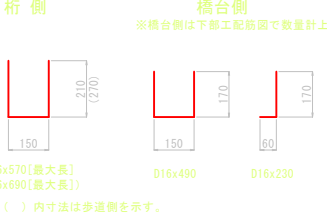
アンカー筋埋設図 S=1:30



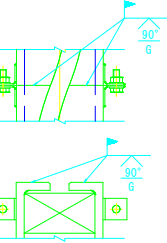
シール材充填図 S=1:2



鉄筋加工図 S=1:10



現場接合部詳細



アンカー筋配置本数				
	歩道側張出床版部	歩道部	車道部	車道側張出床版部
A1	6本(200ピッチ)	G1 : 3 本/桁 G2 : 2 本/桁 間詰め部: 1 箇所 (1本/箇所)	G3~G13 : 3 本/桁 間詰め部: 10 箇所 (1本/箇所)	10本(200ピッチ)
A2	—	G1 : 2 本/桁 G2~G3 : 3 本/桁 間詰め部: 3 箇所 (1本/箇所)	G4 : 1 本/桁 G5~G12 : 3 本/桁 G13 : 2 本/桁 間詰め部: 9 箇所 (1本/箇所)	—

アンカー筋表		歩道部		車道部	
寸 法	A1数量	A2数量	合計数量	合計質量	備 考
D16x570	53 本	35 本	88 本	78.2 kg	桁側
D16x690	12 本	11 本	23 本	24.2 kg	桁側

伸縮継手材料表		歩道部		車道部	
名 称	材 質	A1数量	A2数量	合計数量	備 考
鋼製ジョイント-40mm用	S5400 鋼板ゴム SD345 弾性シール材	10.601 m	—	10.601 m	歩道用、二次止水構造
鋼製ジョイント-20mm用	—	—	7.115 m	7.115 m	歩道用、二次止水構造
ゴムジョイント-40mm用	S5400 合成ゴム SD345	2.313 m	—	2.313 m	歩道用、二次止水構造
ゴムジョイント-20mm用	—	—	2.334 m	2.334 m	歩道用、二次止水構造
排水パイプ	ステンレス	2 本	2 本	4 本	15A5000
シール材	シリコン系	0.99 本	1.15 本	2.14 本	地覆部
後打コンクリート	—	1.299 m ³	0.965 m ³	2.264 m ³	—
通し筋	SD345	5 本	—	5 本	D16x10601 (W=82.7kg)
—	—	—	5 本	5 本	D16x7115 (W=18.0kg)
—	—	—	5 本	5 本	D16x2313 (W=55.5kg)
—	—	—	5 本	5 本	D16x2334 (W=18.2kg)
現場接合部用接着剤	—	1 式	—	1 式	20用
—	—	—	1 式	1 式	40用

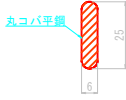
※ 伸縮継手長さは、現地測量後決定のこと

図面番号	31 60	縮尺	S=1:10
工 種	道路改良工事		
種 別	防護柵・落下物防止柵詳細図 (その2)	番号	
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

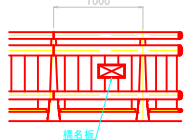
防護柵・落下物防止柵詳細図(その2) S=1:10

歩道側

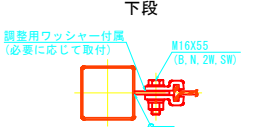
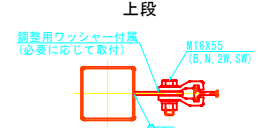
立貫断面 S=1:1



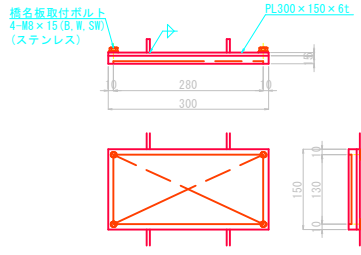
橋名板姿図 S=1:30



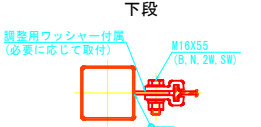
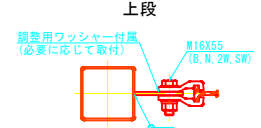
落下物防止柵取付詳細 S=1:5



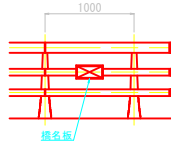
橋名板取付金具 S=1:5



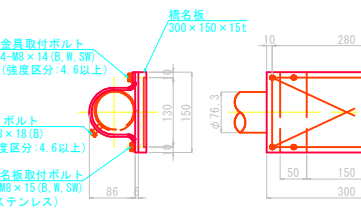
落下物防止柵取付詳細 S=1:5



橋名板姿図 S=1:30



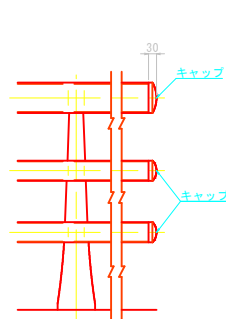
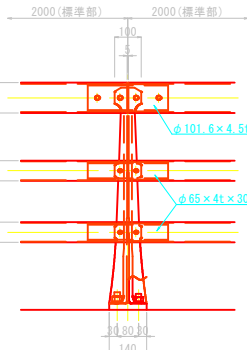
橋名板取付金具 S=1:5



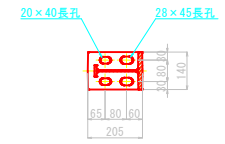
車道側

標準部

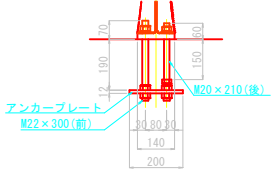
端部



ベース図



定着部



歩道側材料表		(歩)SK-3C100-K02	(標準部ポストピッチ2m/10m当り)		
名 称	寸 法	材 質	単 重	数 量	重 量
ポ ス ト	988×205×140	FC0450	15.33	5.0 本	76.7
レ ー ル	φ114.3×4.5t	STK400	12.20	9.975 m	121.7
レ ー ル	φ89.1×2.8t	STK400	5.96	9.975 m	59.5
レ ー ル	φ76.3×2.8t	STK400	5.08	9.975 m	50.7
補助レール	φ34×2.3t	STK400	1.80	9.200 m	16.6
継 手	φ101.6×4.5t×300	STK400	3.23	5.0 本	16.2
継 手	φ76.3×4.2t×300	STK400	2.24	5.0 本	11.2
継 手	φ65×4t×150	STK400	0.91	5.0 本	4.6
立 貫	F86×25×427	SS400	0.50	60.0 本	30.0
支 持 板	F86×25×134	SS400	0.16	10.0 本	1.6
止メボルト	M12×55 (B. W. SW)	強度区分: 8.8以上	0.08	40.0 本	3.2
アンカーボルト	M22×300 (B. 3N. W. SW)	強度区分: 8.8以上	1.14	10.0 本	11.4
アンカーボルト	M20×210 (六角金ネジB. N. W. SW)	強度区分: 4.6以上	0.69	10.0 本	6.9
アンカー プレート	100×200×12t	SS400	1.80	5.0 枚	9.0
合 計					419.3 kg
防護柵長 L= 20.062m					
曲げ処理 L= 8.613m(R=10m以上150m以下)					
橋子端部処理 2ヶ所					
ポスト総数量 12本					
橋名板および取付金具 2組					
フェンス取付ブラケット上段用:12セット 下段用:12セット					
表面処理:溶融亜鉛めっき(JIS H 8641)仕上げ。					
注)橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高欄協会が認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。					

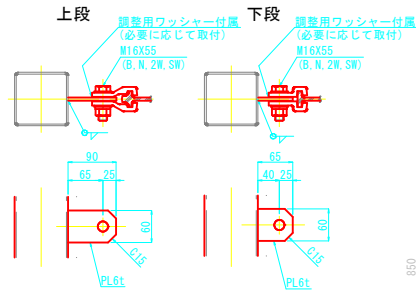
車道側材料表		(車)SK-3C85-D2	(標準部ポストピッチ2m/10m当り)		
名 称	寸 法	材 質	単 重	数 量	重 量
ポ ス ト	830×205×140	FC0450	14.45	5.0 本	72.3
レ ー ル	φ114.3×4.5t	STK400	12.20	9.975 m	121.7
レ ー ル	φ76.3×2.8t	STK400	5.08	19.950 m	101.3
継 手	φ101.6×4.5t×300	STK400	3.23	5.0 本	16.2
継 手	φ65×4t×300	STK400	1.81	10.0 本	18.1
止メボルト	M12×55 (B. W. SW)	強度区分: 6.8以上	0.08	40.0 本	3.2
アンカーボルト	M22×300 (B. 3N. W. SW)	強度区分: 8.8以上	1.14	10.0 本	11.4
アンカーボルト	M20×210 (六角金ネジB. N. W. SW)	強度区分: 4.6以上	0.69	10.0 本	6.9
アンカー プレート	100×200×12t	SS400	1.80	5.0 枚	9.0
合 計					360.1 kg
防護柵長 L= 20.849m					
曲げ処理 L= 15.091m(R=10m以上150m以下)					
ポスト総数量 12本					
橋名板および取付金具 2組					
フェンス取付ブラケット上段用:12セット 下段用:12セット					
表面処理:溶融亜鉛めっき(JIS H 8641)仕上げ。					
注)橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高欄協会が認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。					

図面番号	33 60	縮尺	S=1:10
工 種	道路改良工事		
種 別	防護柵・落下物防止柵詳細図 (その4)	番 号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

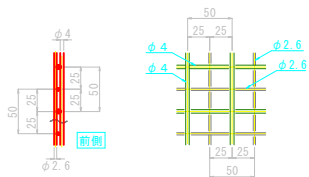
防護柵・落下物防止柵詳細図(その4) S=1:10 (車道側)

落下物防止柵

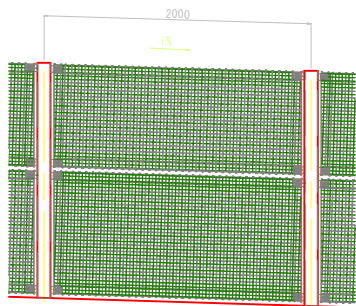
落下物防止柵取付詳細 S=1:5



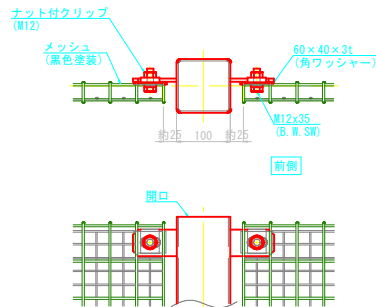
メッシュ詳細 S=1:3



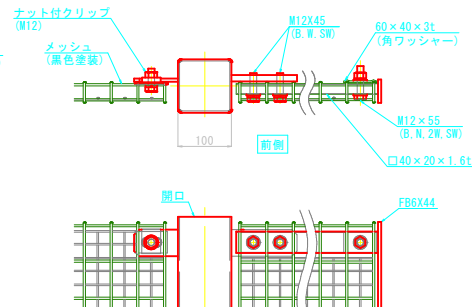
勾配部姿図 S=1:20



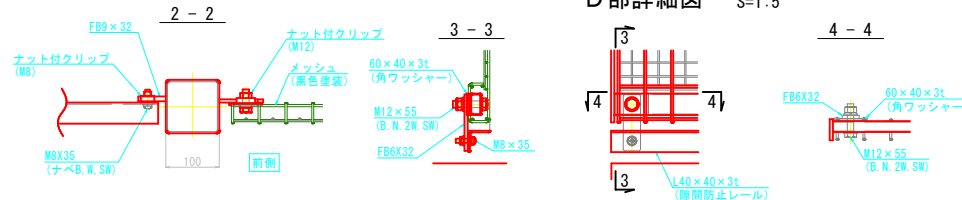
A部詳細図 S=1:5



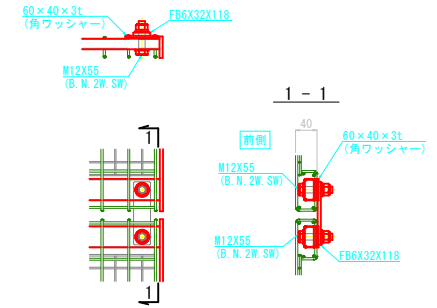
B部詳細図 S=1:5



D部詳細図 S=1:5

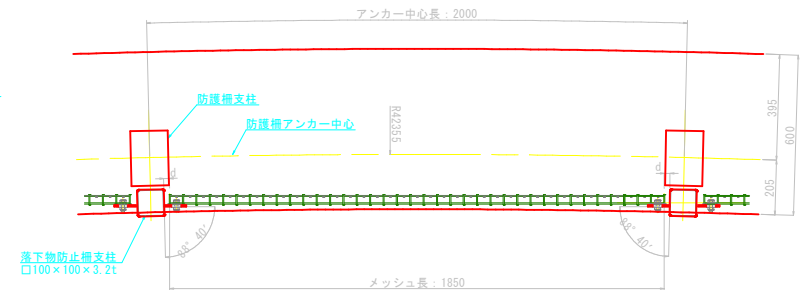


C部詳細図 S=1:5



材料表(車道側)		(標準部ポストピッチ2.0m/10m当り)		
名 称	寸 法	材 質	単 価	数 量
メッシュ	□100×100×1760	STKR	17.53	5.0 本
メッシュ	785×1854×40	SWMGGH	9.66	5.0 枚
メッシュ	935×1854×40	SWMGGH	11.50	5.0 枚
ナット付クリップ	46×35×9	SS400	0.02	40.0 コ
角ワッシャー	60×40×3 t	ステンレス	0.06	40.0 枚
止メボルト	M12×35 (B. N. 2W. SW)	強度区分: 4.6以上	0.06	40.0 本
止メボルト	M16×55 (B. N. 2W. SW)	強度区分: 4.6以上	0.19	10.0 本
			合 計	201.0 kg
落下物防止柵長		L=	20.986 m	
3%勾配ポスト区間		L=	20.986 m	
支柱総数量			12 本	
端部処理			1 ケ所	
端部張出特殊処理			1 ケ所	
表面処理: 溶融亜鉛めっき (JIS H 8641) 仕上げ。(メッシュは黒色塗装。)				

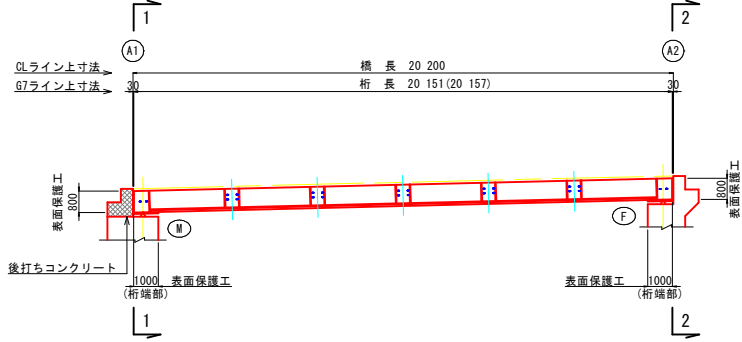
曲線部支持板 取付角度



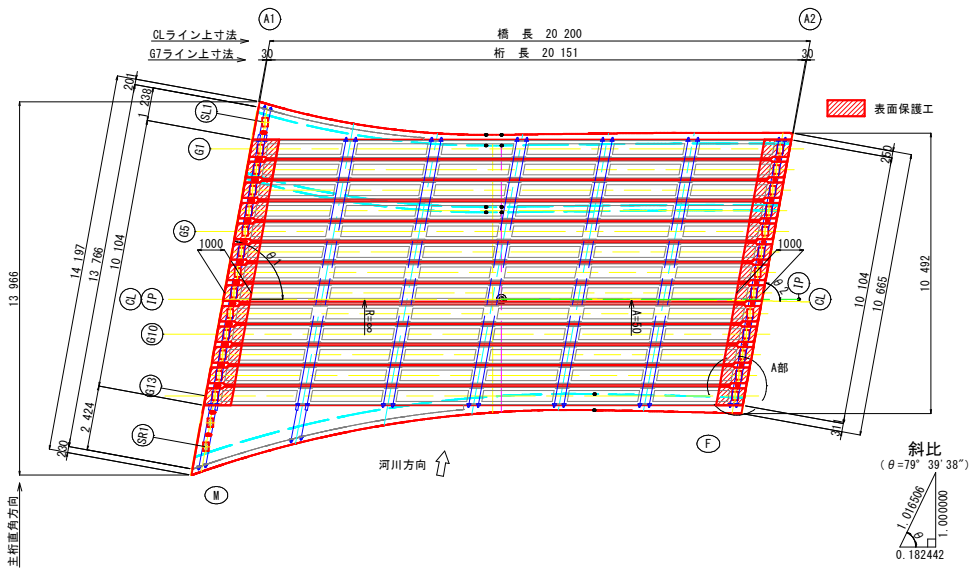
図面番号	35 60	縮尺	S=1:100	
工 種	道路改良工事			
種 別	桁端部表面保護工詳細図	番号	/	
路線 河川名	市道十日市194号線			
工事箇所	三次市南郷数町掛原			
広島県三次市				

桁端部表面保護工詳細図 S=1:100

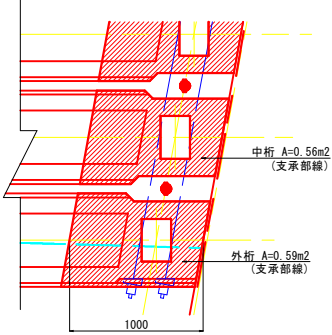
側面図 S=1:100



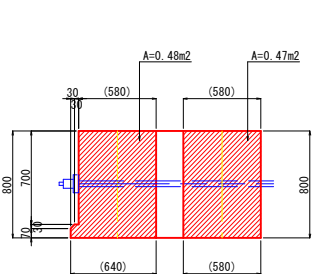
平面図 S=1:100



A部 S=1:20



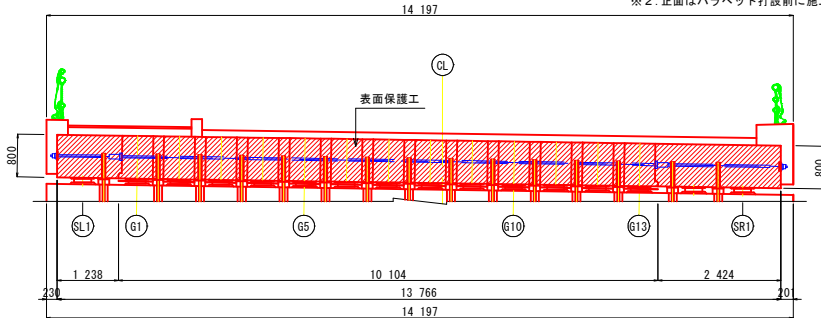
B部 S=1:20



※()内は主桁直角方向を示す。

断面図 S=1:50

端端部
1 - 1

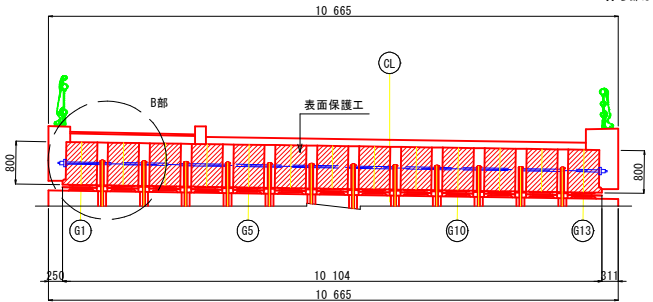


A1側塗布範囲

塗布範囲	
正面	主桁+間詰め+引出し床版
底面	主桁(支承部除く)

※1. 底面の現場打ち部は施工不可のため除外。
※2. 正面はパラベット打設前に施工のこと。

2 - 2



A2側塗布範囲

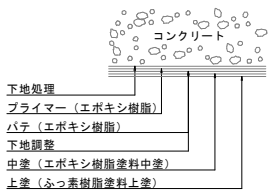
塗布範囲	
正面	主桁
底面	主桁(支承部除く)

※1. 底面の現場打ち部は施工不可のため除外。
※2. 正面はパラベット施工済みであり、現場打ち部は施工不可のため除外。

表面保護工仕様

コンクリート面への塗装仕様 (CC-A)

工 程	塗材名	目標膜厚 (μm)	標準使用量 (g/m ²)	塗装方法	塗装間隔
前 処 理	プライマー コンクリート塗装用 エポキシ樹脂プライマー	-	100	スプレー (はけ・ローラー)	1日~10日
	パテ コンクリート塗装用 エポキシ樹脂パテ	-	300	へら	1日~10日
中 塗	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂塗料中塗	60	320 (260)	スプレー (はけ・ローラー)	1日~10日
上 塗	コンクリート塗装用 ふっ素樹脂塗料上塗	30	150 (120)	スプレー (はけ・ローラー)	1日~10日

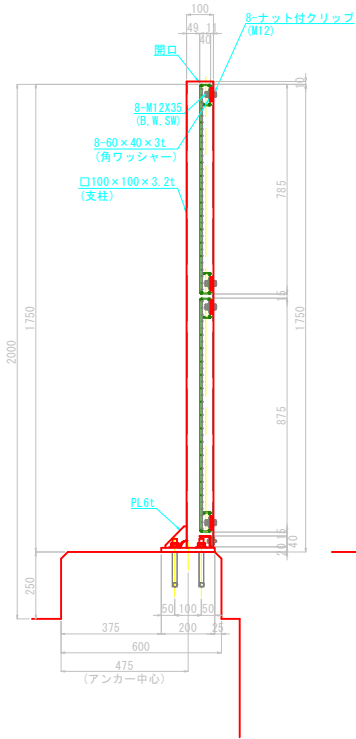


注) 寸法については、梯形計算書を用いて算出している為、梯形の寸法と各区間を合計した寸法では、1mm程度の誤差(四捨五入による)が生じる場合がある。
座標、高さ、角度及び諸数値においては参考値とする。
施工時は、測量を行い照査することとする。

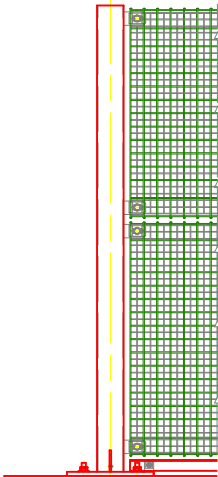
図面番号	34 60	縮尺	S=1:10	
工 種	道路改良工事			
種 別	防護柵・落下物防止柵詳細図 (その5)	番 号	〃	
路線 河川名	市道十日市194号線			
工事箇所	三次市南郷数町掛原			
広島県三次市				

防護柵・落下物防止柵詳細図(その5) S=1:10
(A2ウイング部)

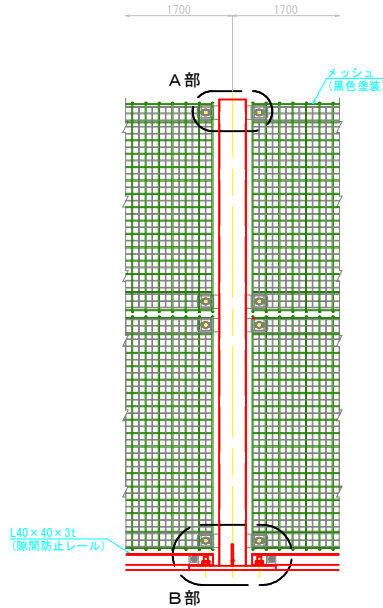
落下物防止柵



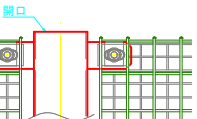
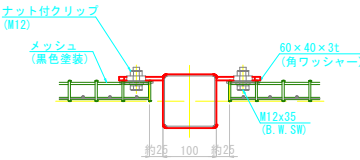
端部



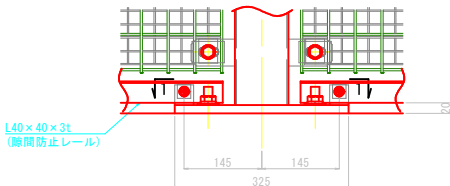
標準部



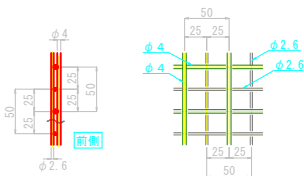
A部詳細図 S=1:5



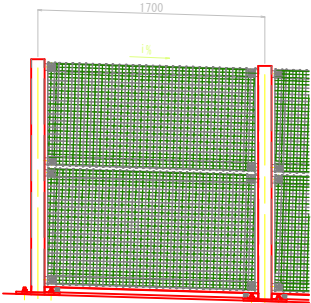
B部詳細図 S=1:5



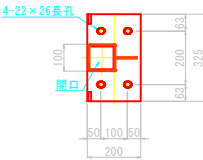
メッシュ詳細 S=1:3



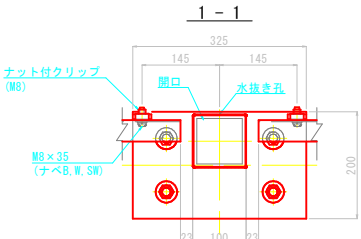
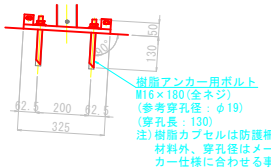
勾配部姿図 S=1:20



ベース図



勾配部アンカーボルト設置図

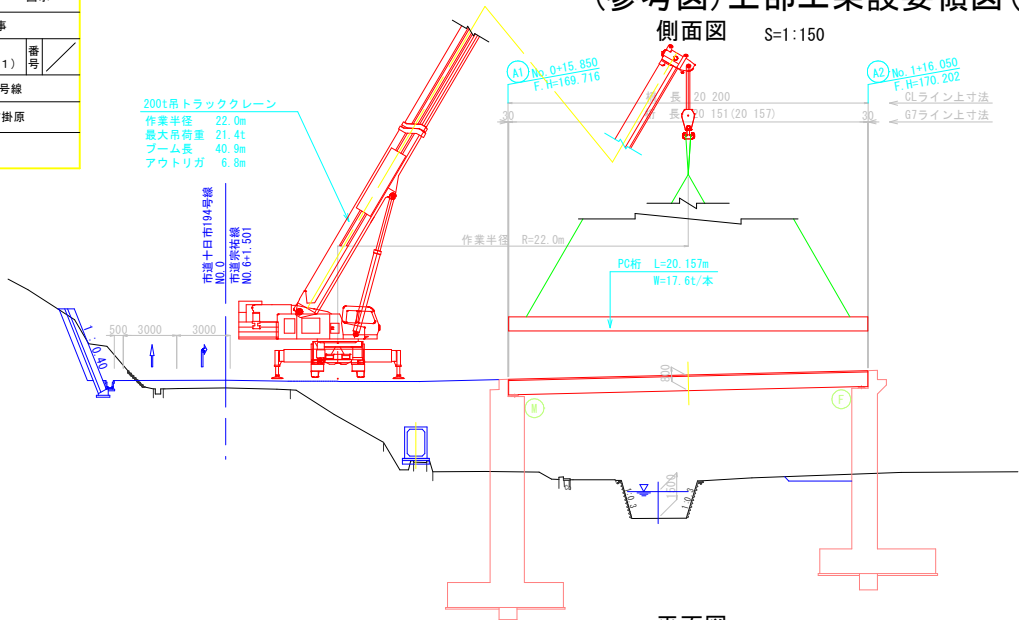


材料表 (A2ウイング部)					
(標準部ポストピッチ1.7m/8.5m当りの場合)					
名 称	寸 法	材 質	単 重	数 量	重 量
支 柱	□1760×200×325	STKR	26.45	5.0 本	132.3
メッシュ	785×1554×40	SWMGH	8.10	5.0 枚	40.5
メッシュ	875×1554×40	SWMGH	9.02	5.0 枚	45.1
隙間防止レール	L 40×40×3 t ×1554	SS400	2.85	5.0 本	14.3
ナット付クリップ	46×35×9	SS400	0.02	40.0 コ	0.8
ナット付クリップ	25×26×9	ステンレス	0.02	10.0 コ	0.2
角ワッシャー	60×40×3 t	ステンレス	0.05	40.0 コ	2.0
止メボルト	M12×35 (B.W.S.W.)	SS400	0.06	40.0 本	2.4
止メボルト	M8×35 (ナベB.W.S.W.)	ステンレス	0.03	10.0 本	0.3
樹脂アンカー用ボルト	M16×180 (金ネジ)	強度区分: 4.6以上	0.34	20.0 本	6.8
合 計					244.7 kg
落下物防止柵長 L= 3.400 m					
3%勾配区間 L= 3.400 m					
支柱総数量 3 本 (標準部支柱: 1本、端部支柱: 2本)					
表面処理: 溶融亜鉛めっき (JIS H 8641) 仕上げ。(メッシュは黒色塗装。)					

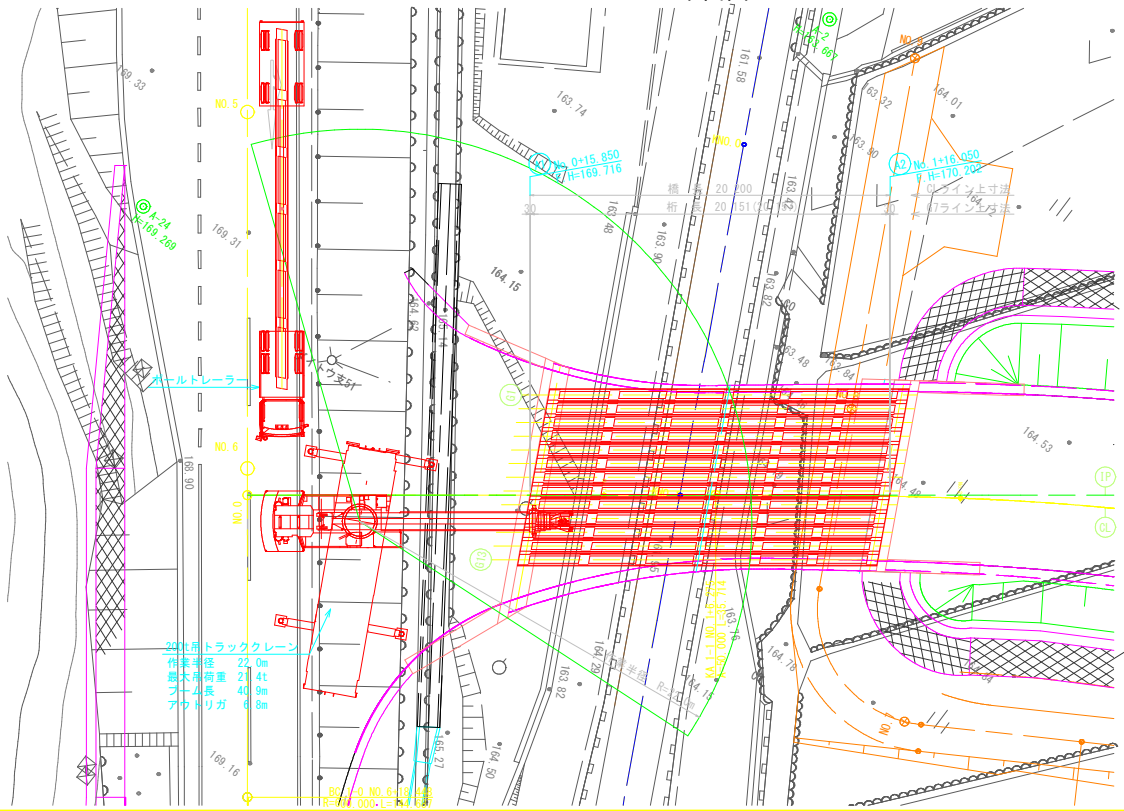
図面番号	36 60	縮尺	図示	
工 種	道路改良工事			
種 別	(参考図)	番号	/	
種 別	上部工架設要領図(その1)			
路線 河川名	市道十日市194号線			
工事箇所	三次市南畑敷町掛原			
広島県三次市				

(参考図)上部工架設要領図(その1)

側面図 S=1:150



平面図 S=1:150



架設要領

- 架設に使用するクレーンは、クレーン配置の検討より200t吊りトラッククレーンとする。
- クレーンは、A1橋台側面に据え付ける。
- クレーンのアウトリガの下は、沈下のないよう鉄板等で養生を行います。
- 主桁の搬入は、A1側より行う。
- 運搬トラックによりクレーンの作業半径内に搬入されたPC桁をクレーンで吊り上げ旋回して所定の位置に据え付ける。
- 前項5.の作業を繰り返して、PC桁13本の架設を完了する。

注) 国土交通省土木工事積算基準に準拠するが、現場条件に適したクレーンの選定を行う。

トラッククレーンによる橋台背面からのPC桁架設歩掛(プレテンション桁)

桁の種類	桁1本当りの 桁質量	編成人数(人/日)			トラッククレーン 規格 X 台数 油圧伸縮ジブ型	1日当り 桁架設本数 (本/日)
		橋梁 世話役	橋梁 特殊工	普通 作業員		
プレテン ション PC 単純 床版橋	BS-18(14.3t)	1	6	3	200t吊 X 1台	13
	BS-19(16.2t)					
	BS-20(17.8t)					
	BS-21(19.4t)					
	BS-22(21.9t)					

※ 国土交通省土木工事積算基準より抜粋

トラッククレーン機種の選定

PC桁自重 W = 17.6 t / 本 フック重量 W2 = 1.4 t
総吊荷重 Z = 17.6 t + 1.4 t = 19.0 t
架設面のおりトラッククレーンを配置した場合、作業半径は R = 22.0 m となる。
トラッククレーン (200 t 吊) を使用すると、定格総荷重表より許容吊り荷重は
R = 22.0 m の場合 21.4 t である。従って、次の通り安全である。

吊り荷重 W = 19.0 t ≤ 許容吊り荷重 Wa = 21.4 t OK

200t吊 トラッククレーン定格総荷重表 (単位:t)

作業 半径	ブーム 長さ	18.1m	22.7m	31.8m	40.9m	45.5m	50.1m
		11.0m	12.0m	14.0m	16.0m	18.0m	20.0m
57.3	51.3	41.1	-	-	-	-	-
56.3	50.3	40.6	-	-	-	-	-
58.4	52.8	42.6	-	-	-	-	-
53.0	49.0	33.9	-	-	-	-	-
44.0	41.0	27.1	-	-	-	-	-
35.0	36.5	29.6	-	-	-	-	-
34.2	32.0	30.7	-	-	-	-	-
30.0	28.8	24.3	-	-	-	-	-
26.8	26.1	25.5	-	-	-	-	-
24.0	24.0	20.3	-	-	-	-	-
18.1	18.1	17.0	-	-	-	-	-
16.2	15.4	14.4	-	-	-	-	-
13.7	12.2	13.2	-	-	-	-	-

※ C性能(アウトリガ張出幅 B=6.8m)

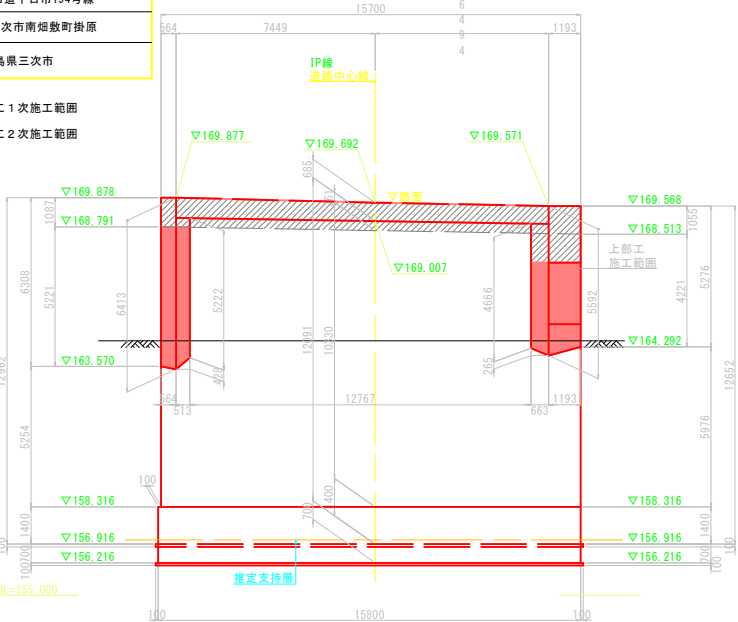
注) 座標、高さ、角度及び諸数値においては参考値とする。
施工時は、測量を行い照査することとする。

図面番号	38 60	縮尺	S=1:100	
工 種	道路改良工事			
種 別	A1橋台構造一般図(その1)	番号	/	
路線 河川名	市道十日市194号線			
工事箇所	三次市南畑敷町掛原			
広島県三次市				

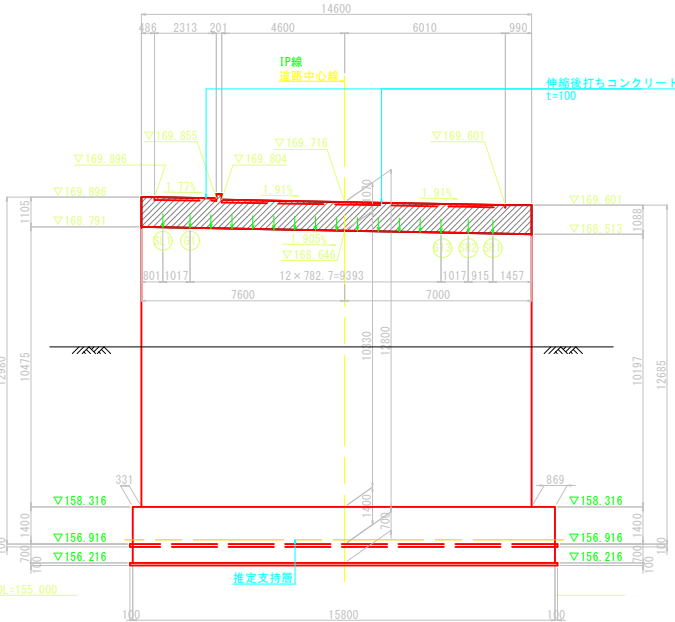
■ : 上部工 1 次施工範囲
▨ : 上部工 2 次施工範囲

A1橋台構造一般図(その 1) S=1:100
【上部工施工】

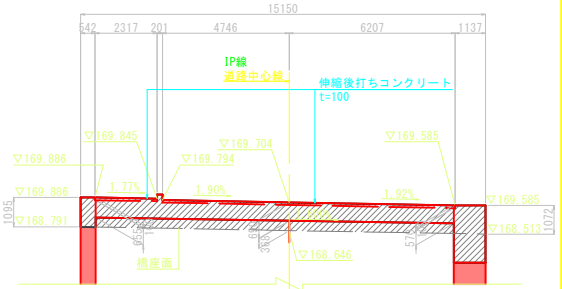
背面図
(1-1)



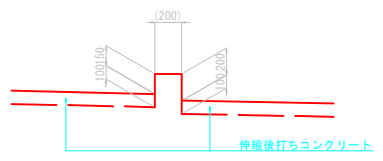
正面図
(2-2)



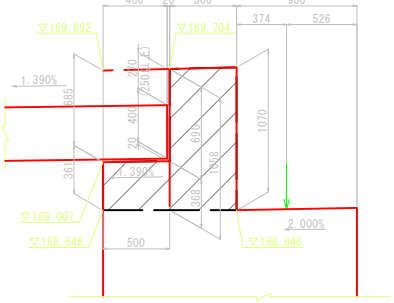
背面図
(3-3)



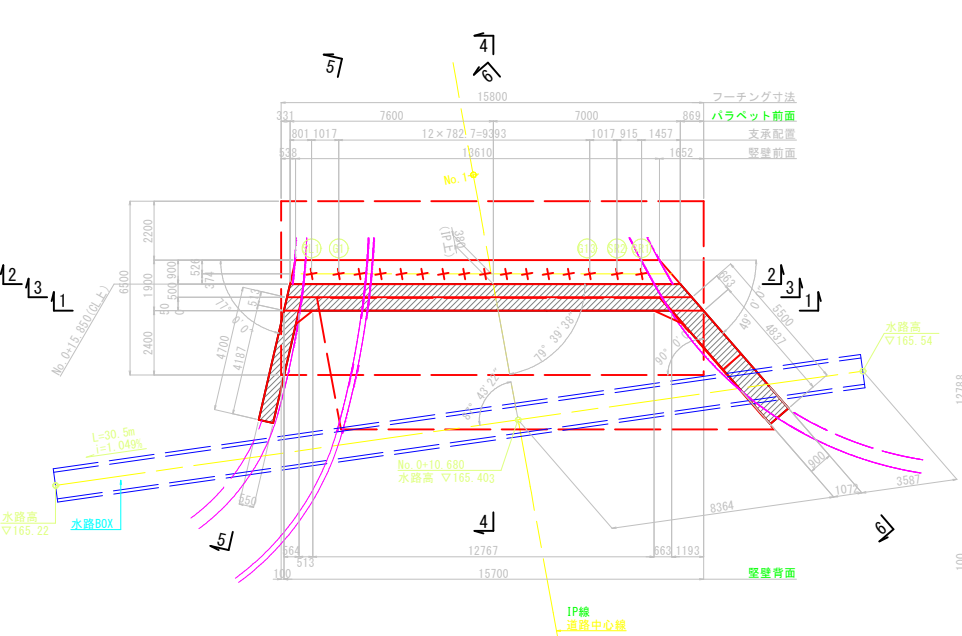
歩行道境界部詳細図 S=1:20



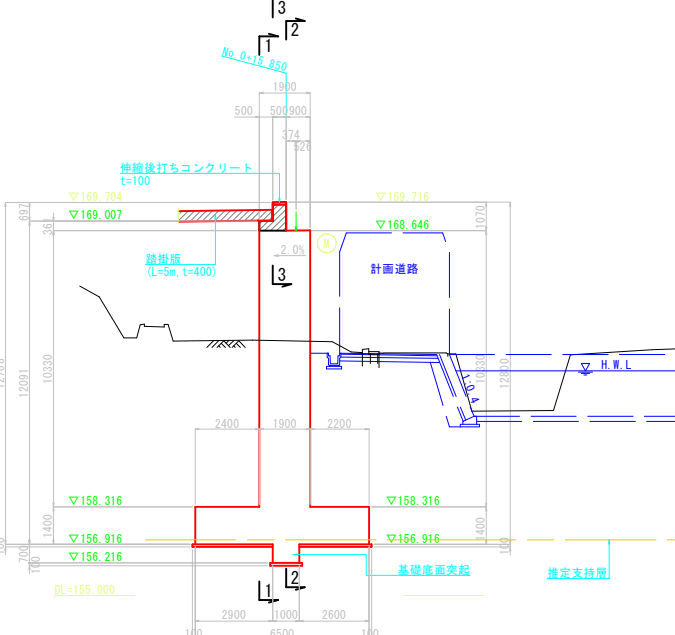
受台部詳細図 S=1:20



平面図



断面図
(4-4)



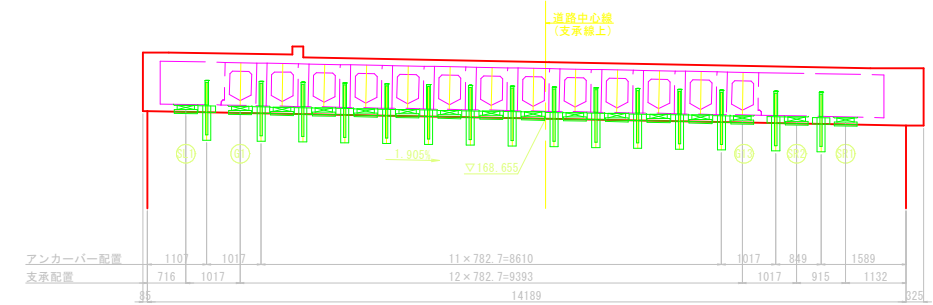
設計条件	
項 目	内 容
構造形式	逆 T 型橋台 (直接基礎)
支承条件	可動
使用材料	コンクリート 躯体 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (24-12-20) 均しコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ (18-8-40)
鉄 筋	SD345
表込め土	$\gamma=20\text{kN/m}^3$, $\phi=35^\circ$, $c=0\text{kN/m}^2$
地盤種別	I 種地盤
地盤条件	軟岩 (CL級)
液状化、圧密層の有無	液状化 (無)、圧密層 (無)
耐震設計上の橋の重要性	A 種の橋
地域区分	B2 (広島県) ($c_z=0.85$, $c_I z=1.0$, $c_{II} z=0.85$)
設計水平震度	橋軸方向 $kh=0.17$, $kh1=1.40$, $kh2=1.70$ 橋軸直角方向 $kh=0.17$, $kh1=1.40$, $kh2=1.70$
施工方法	オーブン掘削
適用示方書	道路橋示方書・同解説 (H29年11月)

図面番号	40 60	縮尺	図示	
工 種	道路改良工事			
種 別	A1橋台構造一般図(その3)	番号	/	
路線 河川名	市道十日市194号線			
工事箇所	三次市南畑敷町掛原			
広島県三次市				

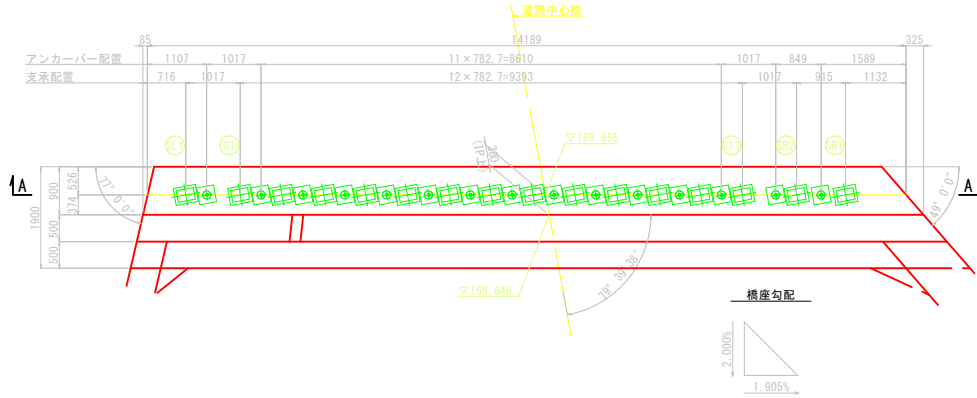
A1橋台構造一般図(その3)

橋座部詳細図 S=1:50

正面図



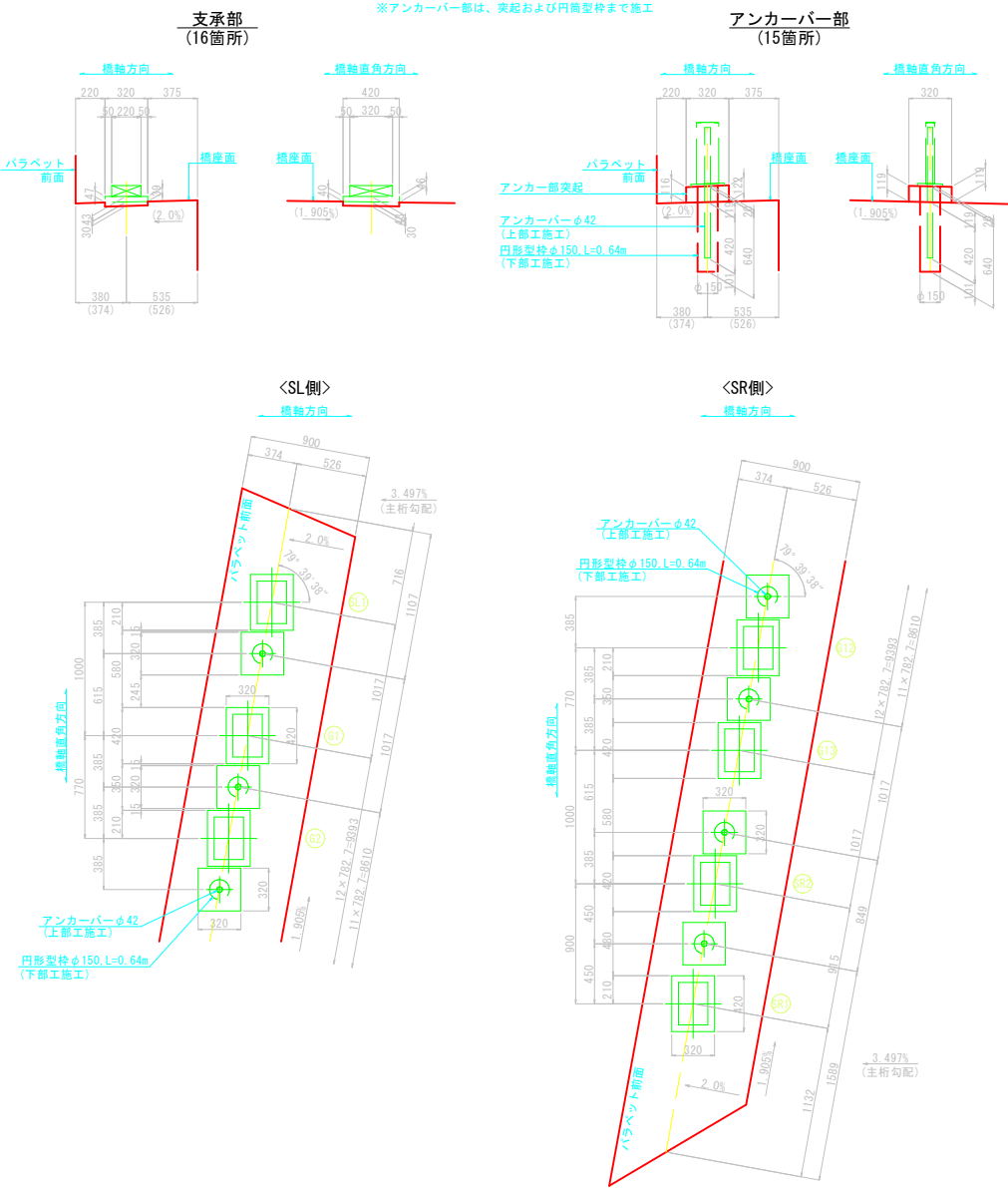
平面図



構造高表

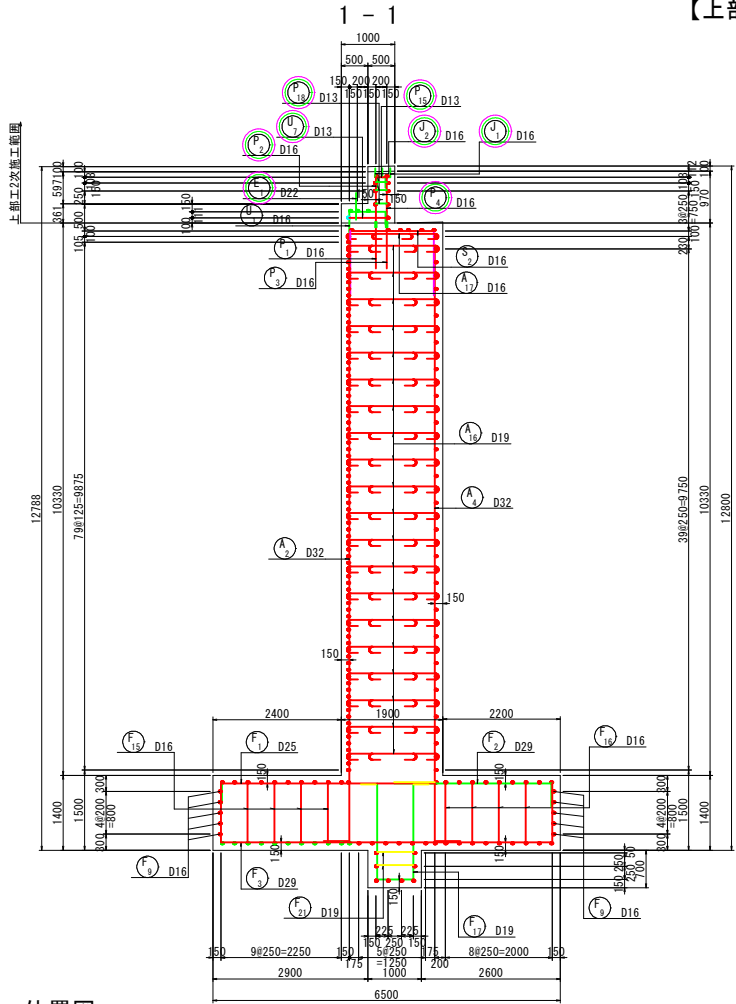
	支線 (S1) 上										
	SL1	G1	G3	G5	G7	G9	G11	G13	SR2	SR1	
路面計画高	169.898	169.880	169.804	169.774	169.745	169.715	169.685	169.655	169.636	169.618	
舗装厚	0.176	0.177	0.131	0.131	0.131	0.131	0.131	0.131	0.131	0.131	
桁天端高	169.722	169.703	169.673	169.643	169.614	169.584	169.554	169.524	169.505	169.487	
桁高	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800	
レアー高	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	
支承高	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	
モルタル厚	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	0.043	
台座高	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
構造高	1.115	1.116	1.070	1.070	1.070	1.070	1.070	1.070	1.070	1.070	
下部工天端高	168.783	168.764	18.734	168.704	168.675	168.645	168.615	168.585	168.566	168.548	
橋座横断勾配	1.905%										

支承部及びアンカー部詳細図 S=1:20

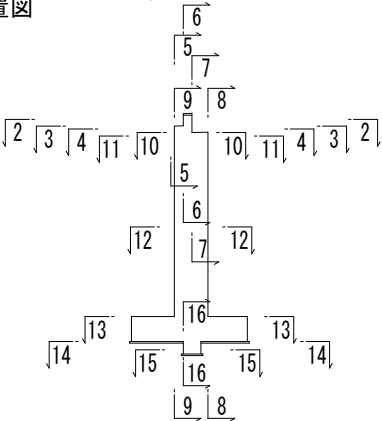
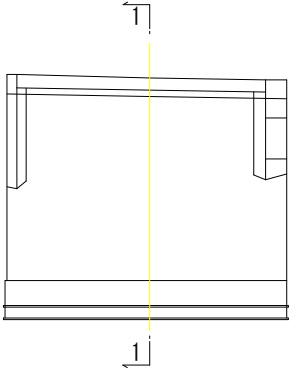


図面番号	41 60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台配筋図(その1)	番号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

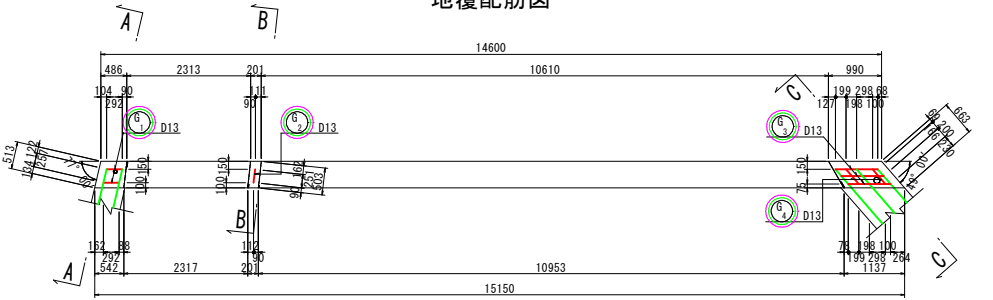
A1橋台配筋図(その1) S=1:50
【上部工施工】



位置図



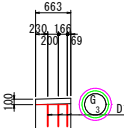
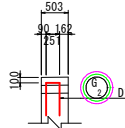
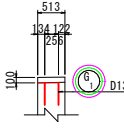
地覆配筋図



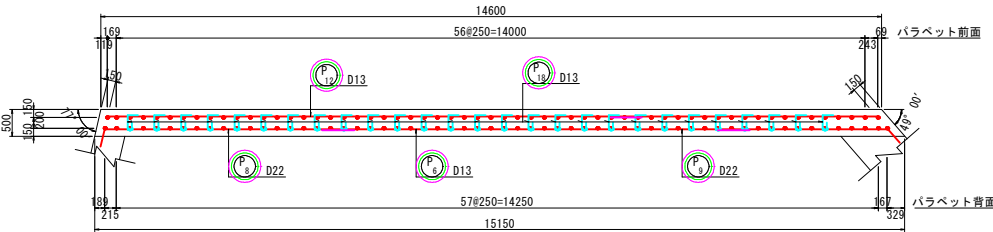
A - A

B - B

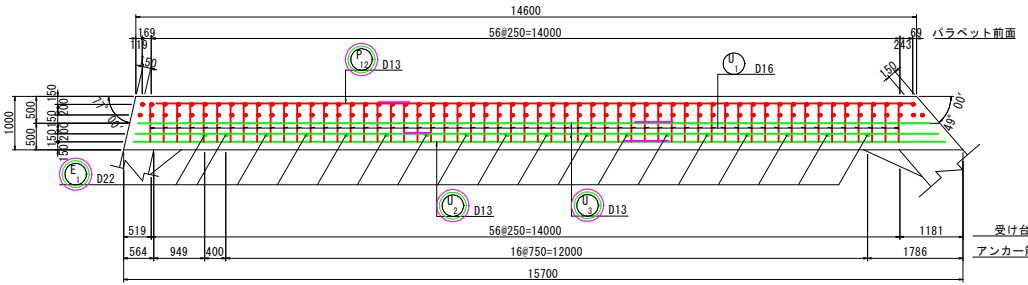
C - C



2 - 2



3 - 3

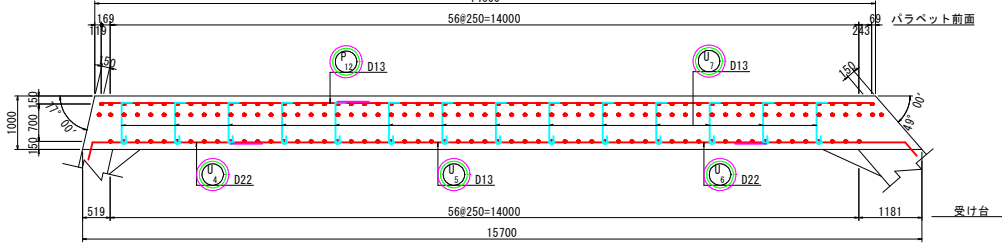


注) 〇は、上部工2次施工範囲鉄筋を示す。

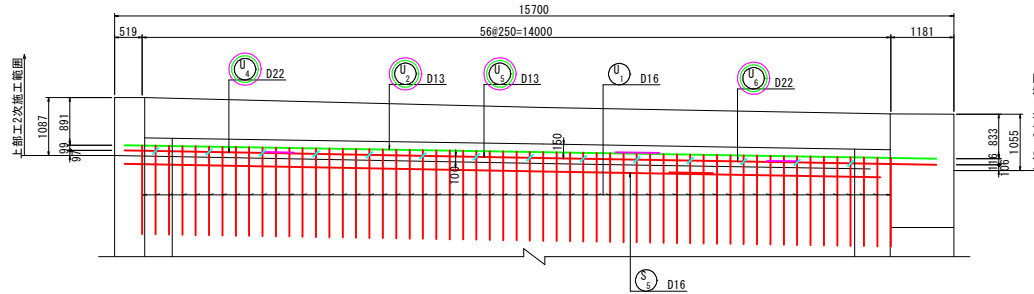
図面番号	42/60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台配筋図(その2)	番号	/
路線名	市道十日市194号線		
河川名	三次市南畑敷町掛原		
工事箇所	広島県三次市		

A1橋台配筋図(その2) S=1:50 【上部工施工】

4 - 4

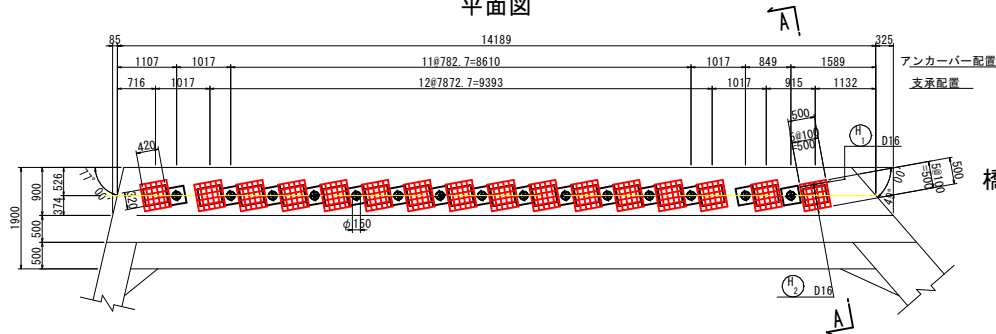


5 - 5



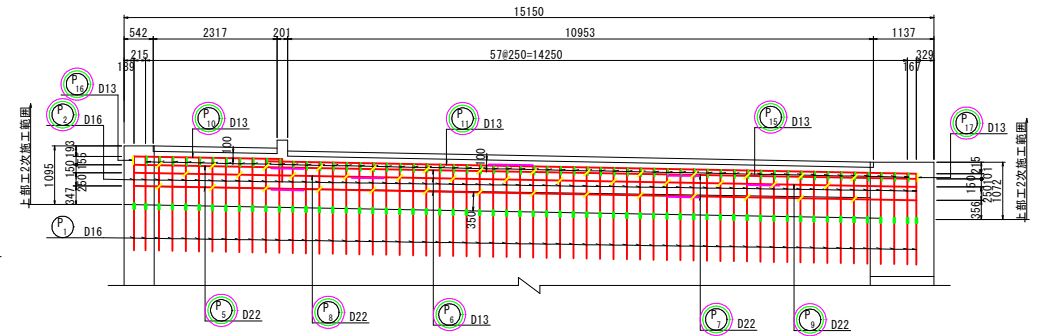
支承部及びアンカー部配筋図

平面図

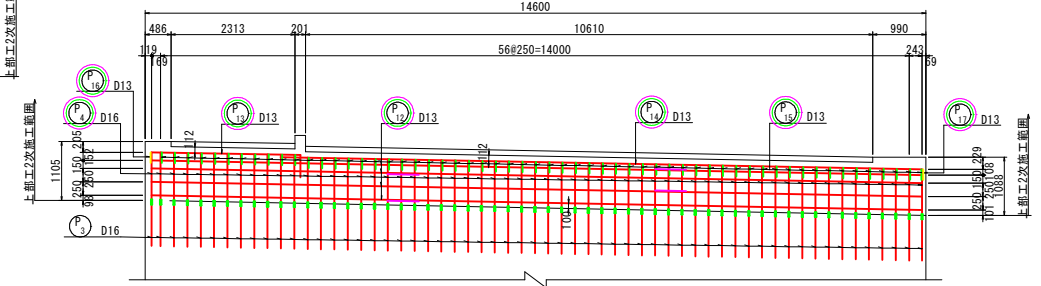


注) ○ は、上部工2次施工範囲鉄筋を示す。

6 - 6



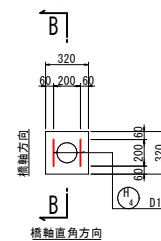
7 - 7



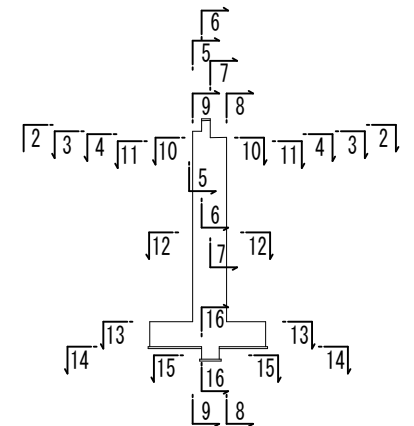
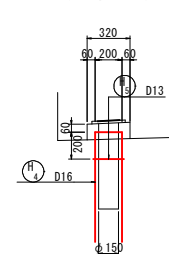
位置図

アンカー部配筋図 S=1:20

平面図
(15箇所)

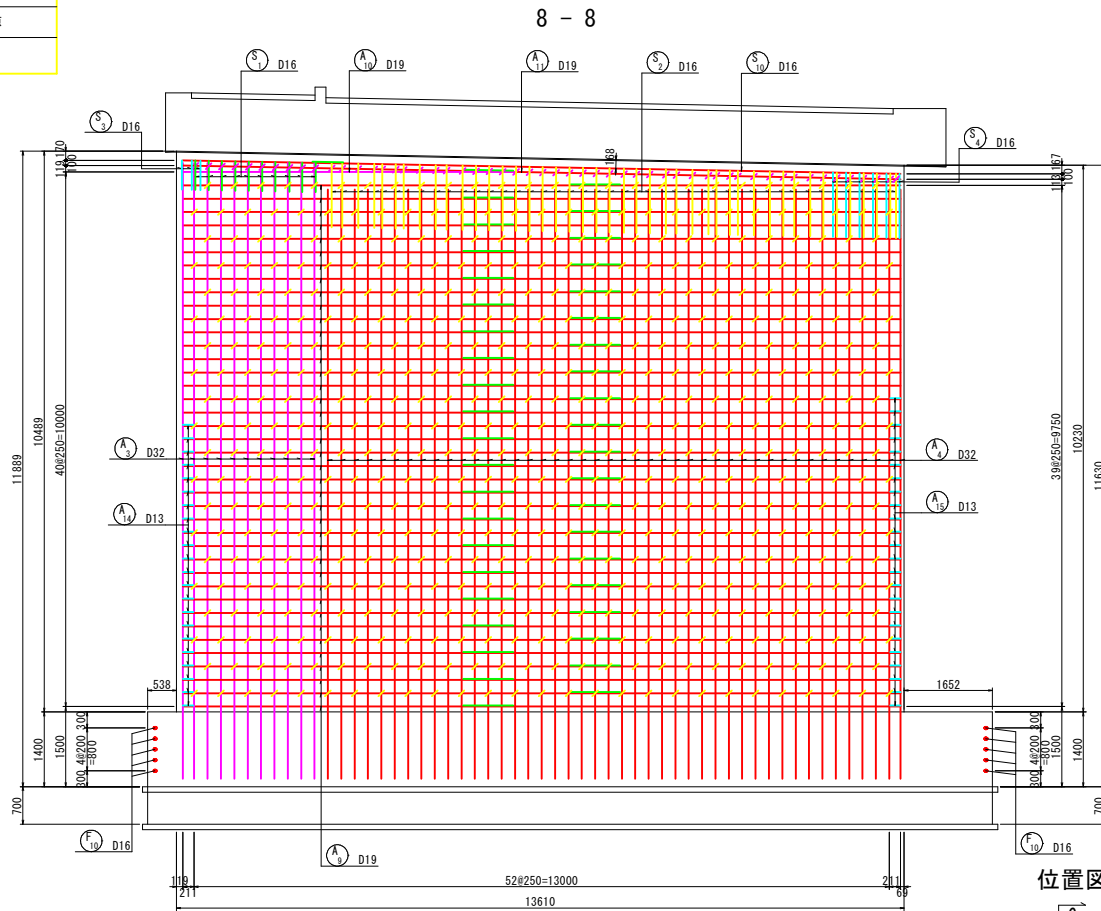


橋軸方向
B - B
(15箇所)

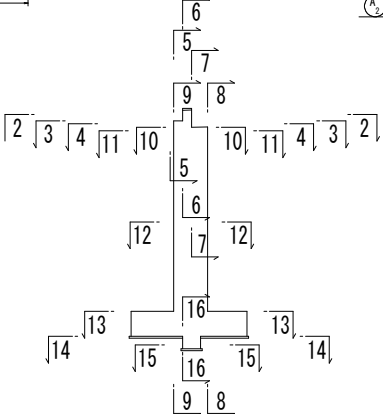


図面番号	43 60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台配筋図(その3)	番 号	／
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

A1橋台配筋図(その3) S=1:50
【上部工施工】

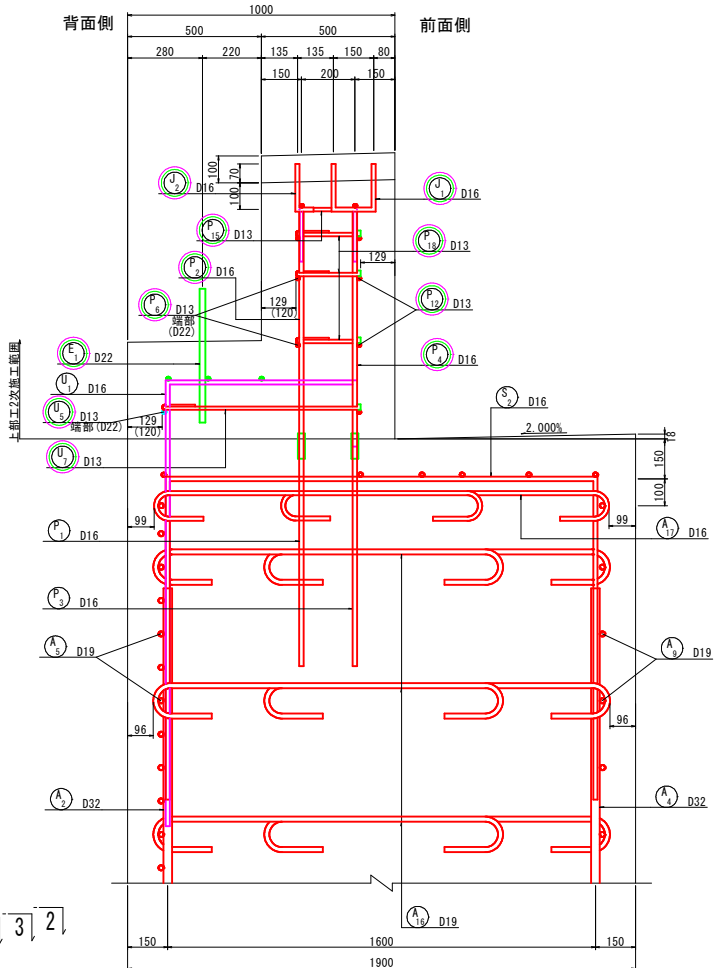


位置図



注) 〇は、上部工2次施工範囲鉄筋を示す。

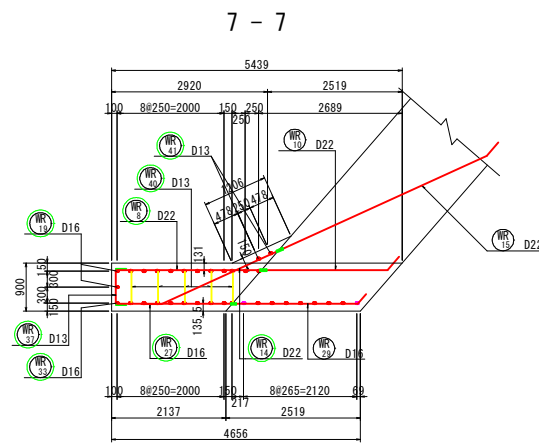
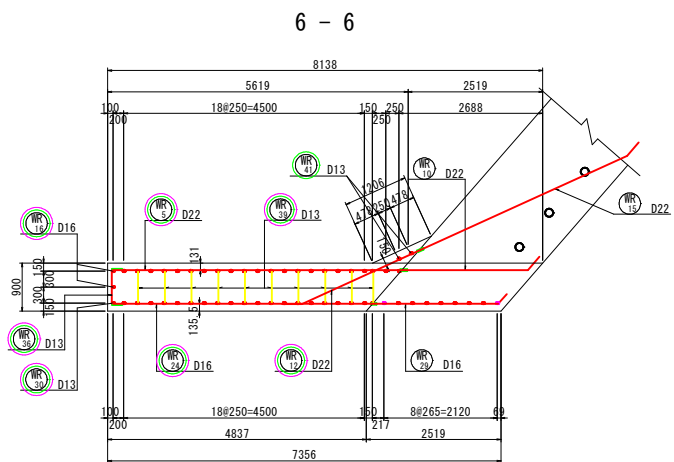
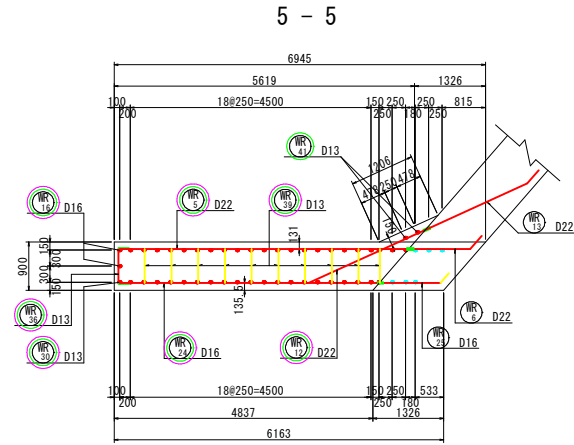
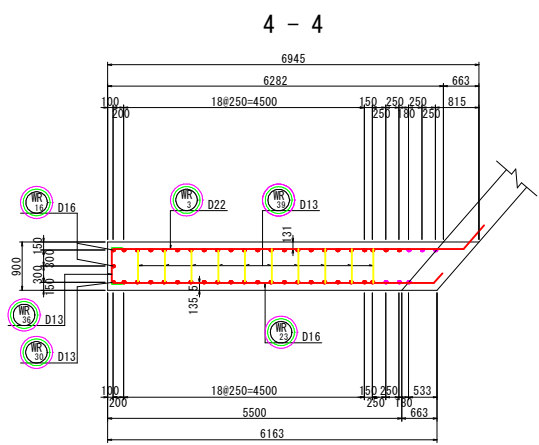
パラペット及びたて壁詳細図 S=1:10



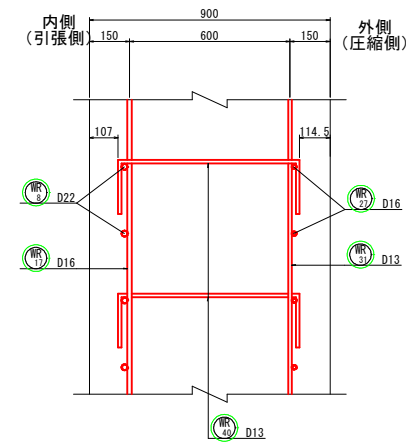
注) パラペットのスターラップは、背面側に半円形フックを配置する事。

図面番号	46 60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台配筋図(その6)	番 号	
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

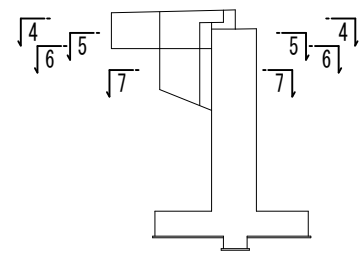
A1橋台配筋図(その6) S=1:50
【上部工施工】



右ウイング詳細図 S=1:10



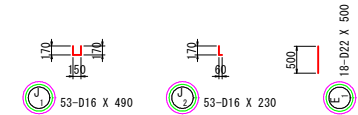
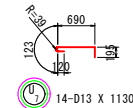
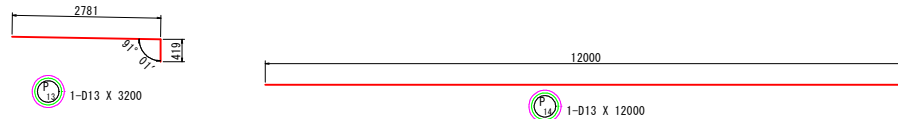
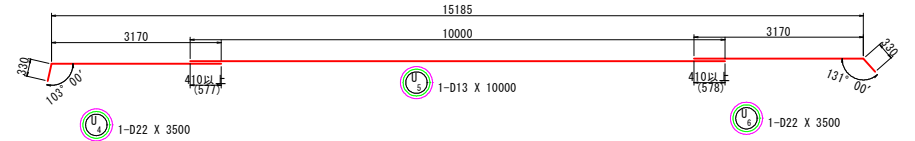
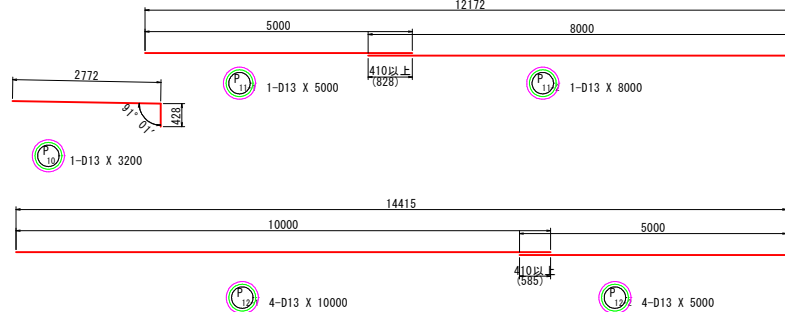
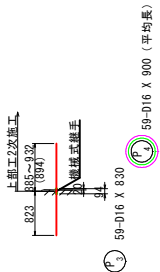
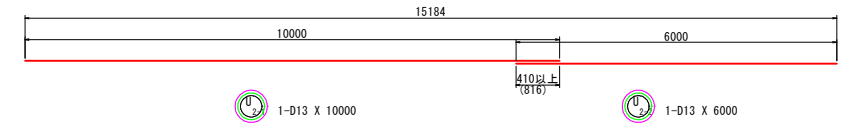
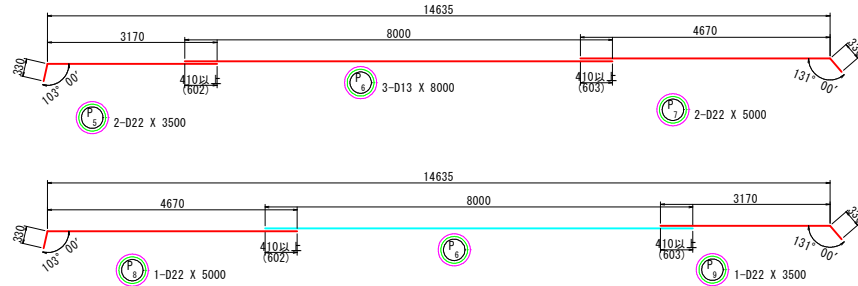
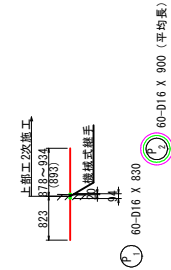
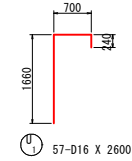
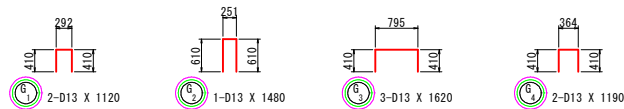
位置図



注) ○ は、上部工1次施工範囲鉄筋を示す。
注) ⊗ は、上部工2次施工範囲鉄筋を示す。

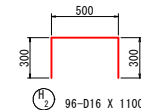
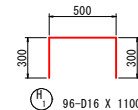
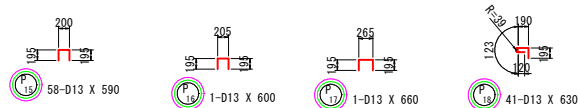
図面番号	47/60	縮尺	図示
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台配筋図(その7)		
路線名	市道十日市194号線		
河川名	三次市南畑敷町掛原		
工事箇所	広島県三次市		

A1橋台配筋図(その7) S=1:50 【上部工施工】

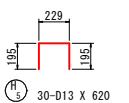
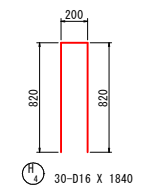
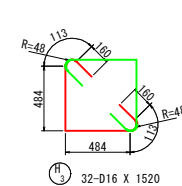


注) P_{11} 、 P_{12} については、
伸縮装置詳細図を参照のこと。

注) P_{13} については、
路掛版配筋図を参照のこと。



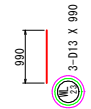
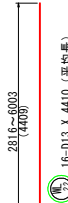
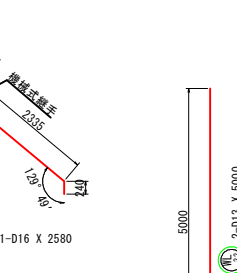
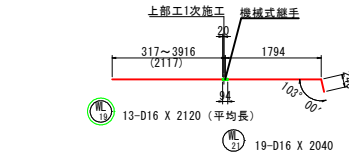
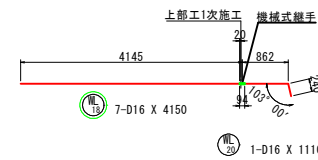
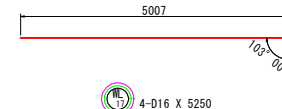
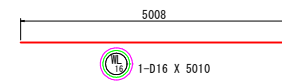
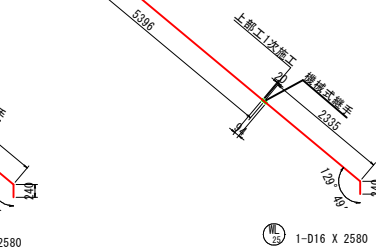
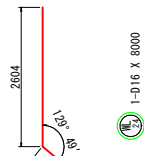
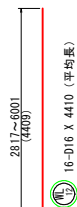
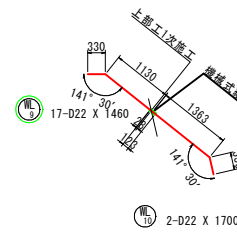
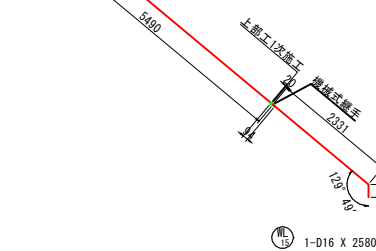
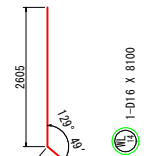
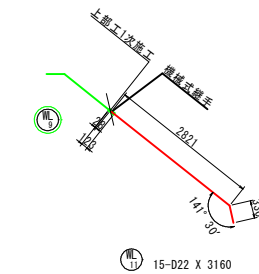
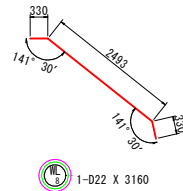
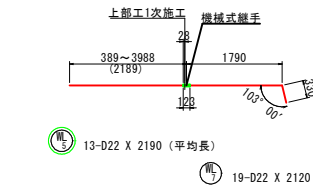
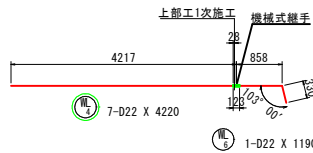
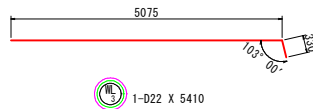
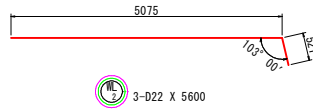
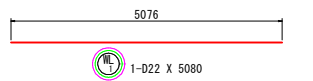
S=1:20



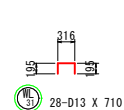
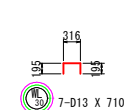
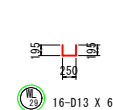
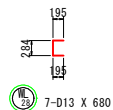
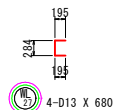
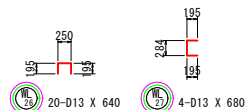
注) P_{11} は、上部工2次施工範囲鉄筋を示す。

図面番号	48 60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台配筋図(その8)	番号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

A1橋台配筋図(その8) S=1:50 【上部工施工】



注) ○ は、上部工1次施工範囲鉄筋を示す。
注) ⊗ は、上部工2次施工範囲鉄筋を示す。



図面番号	50 60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台配筋図(その10)	番号	／
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

A1橋台配筋図(その10) S=1:50
【上部工施工】

鉄筋表

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	一本当り質量(kg)	質量(kg)	摘要
上部工2次施工							
P 2	D16	900	60	1.56	1.40	84	└ (平均長)
P 4	D16	900	59	1.56	1.40	83	└ (平均長)
P 5	D22	3500	2	3.04	10.64	21	└ (平均長)
P 6	D13	8000	3	0.995	7.96	24	└ (平均長)
P 7	D22	5000	2	3.04	15.20	30	└ (平均長)
P 8	D22	5000	1	3.04	15.20	15	└ (平均長)
P 9	D22	3500	1	3.04	10.64	11	└ (平均長)
P 10	D13	3200	1	0.995	3.18	3	└ (平均長)
P 11-1	D13	5000	1	0.995	4.98	5	└ (平均長)
P 11-2	D13	8000	1	0.995	7.96	8	└ (平均長)
P 12-1	D13	10000	4	0.995	9.95	40	└ (平均長)
P 12-2	D13	5000	4	0.995	4.98	20	└ (平均長)
P 13	D13	3200	1	0.995	3.18	3	└ (平均長)
P 14	D13	12000	1	0.995	11.94	12	└ (平均長)
P 15	D13	590	58	0.995	0.59	34	└ (平均長)
P 16	D13	600	1	0.995	0.60	1	└ (平均長)
P 17	D13	660	1	0.995	0.66	1	└ (平均長)
P 18	D13	630	41	0.995	0.63	26	└ (平均長)
E 1	D22	500	18	3.04	1.52	27	└ (平均長)
G 1	D13	1120	2	0.995	1.11	2	└ (平均長)
G 2	D13	1480	1	0.995	1.47	1	└ (平均長)
G 3	D13	1620	3	0.995	1.61	5	└ (平均長)
G 4	D13	1190	2	0.995	1.18	2	└ (平均長)
J 1	D16	490	53	1.56	0.76	40	└ (平均長)
J 2	D16	230	53	1.56	0.36	19	└ (平均長)
U 2-1	D13	10000	1	0.995	9.95	10	└ (平均長)
U 2-2	D13	6000	1	0.995	5.97	6	└ (平均長)
U 3-1	D13	10000	2	0.995	9.95	20	└ (平均長)
U 3-2	D13	5500	2	0.995	5.47	11	└ (平均長)
U 4	D22	3500	1	3.04	10.64	11	└ (平均長)
U 5	D13	10000	1	0.995	9.95	10	└ (平均長)
U 6	D22	3500	1	3.04	10.64	11	└ (平均長)
U 7	D13	1130	14	0.995	1.12	16	└ (平均長)
WL 1	D22	5080	1	3.04	15.44	15	└ (平均長)
WL 2	D22	5600	3	3.04	17.02	51	└ (平均長)
WL 3	D22	5410	1	3.04	16.45	16	└ (平均長)
WL 8	D22	3160	1	3.04	9.61	10	└ (平均長)
WL 16	D16	5010	1	1.56	7.82	8	└ (平均長)
WL 17	D16	5250	4	1.56	8.19	33	└ (平均長)
WL 23	D13	990	3	0.995	0.99	3	└ (平均長)
WL 26	D13	640	20	0.995	0.64	13	└ (平均長)
WL 27	D13	680	4	0.995	0.68	3	└ (平均長)
WL 30	D13	710	7	0.995	0.71	5	└ (平均長)
WR 1	D22	6420	2	3.04	19.52	39	└ (平均長)
WR 2	D22	6180	1	3.04	18.79	19	└ (平均長)
WR 3	D22	7150	1	3.04	21.74	22	└ (平均長)
WR 4	D22	6890	2	3.04	20.95	42	└ (平均長)
WR 5	D22	5440	4	3.04	16.54	66	└ (平均長)
WR 7	D22	3500	2	3.04	10.64	21	└ (平均長)
WR 11	D22	5160	1	3.04	15.69	16	└ (平均長)
WR 12	D22	2770	4	3.04	8.42	34	└ (平均長)
WR 16	D16	1830	12	1.56	2.85	34	└ (平均長)
WR 21	D16	6010	1	1.56	9.38	9	└ (平均長)
WR 22	D16	5480	1	1.56	8.55	9	└ (平均長)
WR 23	D16	6250	3	1.56	9.75	29	└ (平均長)
WR 24	D16	4890	4	1.56	7.63	31	└ (平均長)
WR 26	D16	3100	1	1.56	4.84	5	└ (平均長)

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	一本当り質量(kg)	質量(kg)	摘要
WR 30	D13	1840	11	0.995	1.83	20	└ (平均長)
WR 32	D13	900	3	0.995	0.90	3	└ (平均長)
WR 35	D13	990	35	0.995	0.99	35	└ (平均長)
WR 36	D13	1030	7	0.995	1.02	7	└ (平均長)
WR 39	D13	1060	20	0.995	1.05	21	└ (平均長)
合 計 D22				477	kg		
D16				384	kg		
D13				370	kg		
総質量				1231	kg		
上部工1次施工							
WL 4	D22	4220	7	3.04	12.83	90	└ (平均長)
WL 5	D22	2190	13	3.04	6.66	87	└ (平均長)
WL 9	D22	1460	17	3.04	4.44	75	└ (平均長)
WL 12	D16	4410	16	1.56	6.88	110	└ (平均長)
WL 14	D16	8100	1	1.56	12.64	13	└ (平均長)
WL 18	D16	4150	7	1.56	6.47	45	└ (平均長)
WL 19	D16	2120	13	1.56	3.31	43	└ (平均長)
WL 22	D13	4410	16	0.995	4.39	70	└ (平均長)
WL 24	D16	8000	1	1.56	12.48	12	└ (平均長)
WL 28	D13	680	7	0.995	0.68	5	└ (平均長)
WL 29	D13	640	16	0.995	0.64	10	└ (平均長)
WL 31	D13	710	28	0.995	0.71	20	└ (平均長)
WL 32	D13	5000	2	0.995	4.98	10	└ (平均長)
WR 8	D22	2740	9	3.04	8.33	75	└ (平均長)
WR 9	D22	1680	4	3.04	5.11	20	└ (平均長)
WR 14	D22	2770	10	3.04	8.42	84	└ (平均長)
WR 17	D16	4820	11	1.56	7.52	83	└ (平均長)
WR 19	D16	7150	2	1.56	11.15	22	└ (平均長)
WR 27	D16	2190	9	1.56	3.42	31	└ (平均長)
WR 28	D16	1130	4	1.56	1.76	7	└ (平均長)
WR 31	D13	4730	9	0.995	4.71	42	└ (平均長)
WR 33	D16	6560	1	1.56	10.23	10	└ (平均長)
WR 37	D13	1030	9	0.995	1.02	9	└ (平均長)
WR 38	D13	990	9	0.995	0.99	9	└ (平均長)
WR 40	D13	1060	13	0.995	1.05	14	└ (平均長)
WR 41	D13	4400	2	0.995	4.38	9	└ (平均長)
合 計 D22				431	kg		
D16				376	kg		
D13				198	kg		
総質量				1005	kg		

鉄筋加工寸法と表示

直角フックの鉄筋加工寸法と図面上の表示との関係は、以下に示す通りである。

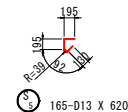
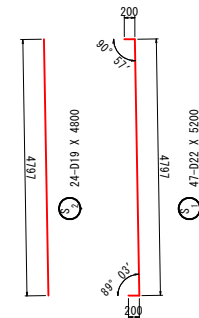
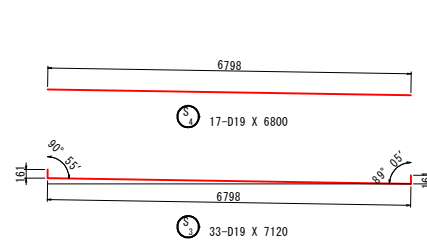
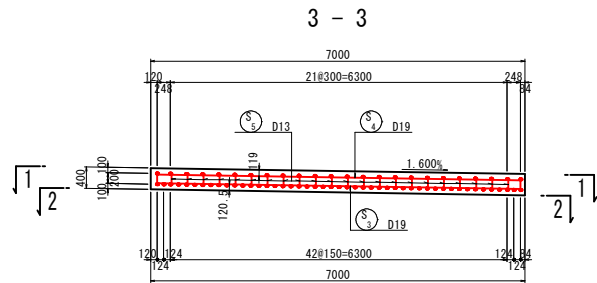
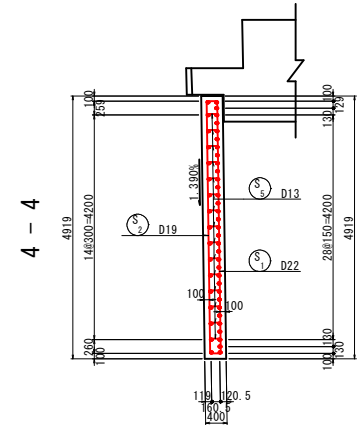
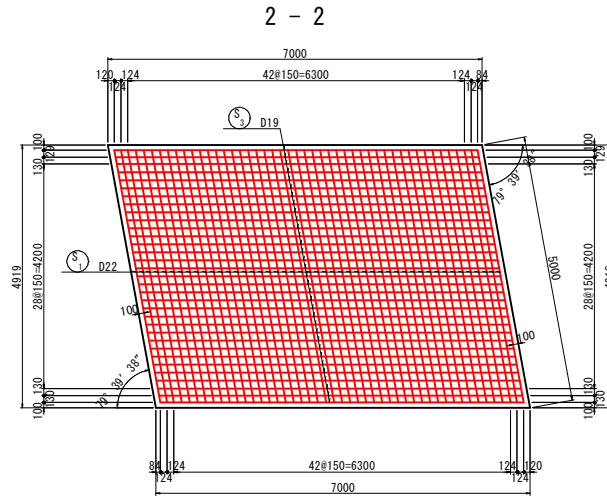
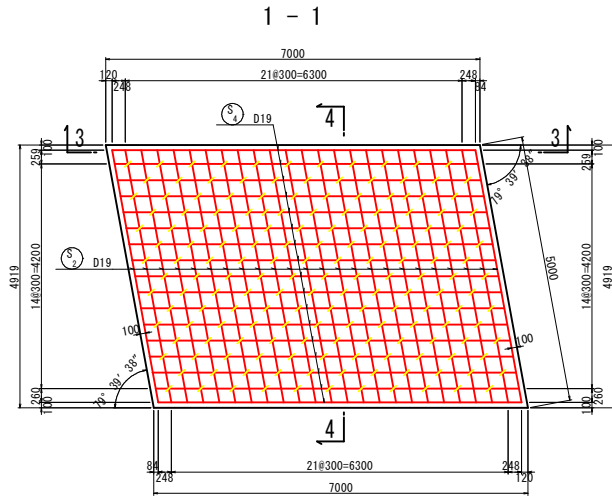
	(加工)	(図面表示)
形式 (1)		
形式 (2)		

径別の加工寸法

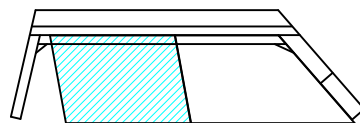
径	直角フック			
	a	b	R	L'
D13	61	156	39	195
D16	75	192	48	240
D19	90	228	57	285
D22	104	264	66	330
D25	118	300	75	375
D29	137	348	87	435
D32	151	384	96	480
径	半円形フック			
	a	b	R	
D13	123	120	39	
D16	151	128	48	
D19	179	152	57	
D22	207	176	66	
D25	236	200	75	
D29	273	232	87	
D32	302	256	96	

図面番号	51 60	縮尺	1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台踏掛版配筋図(その1)	番号	1 3
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

A1橋台踏掛版配筋図(その1) S=1:50 【上部工施工】左側踏掛版



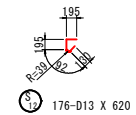
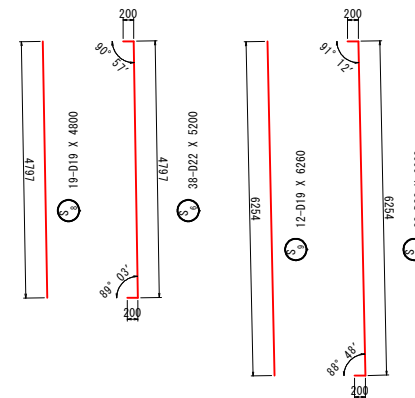
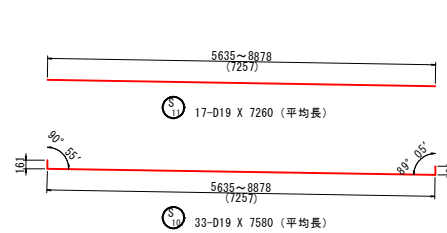
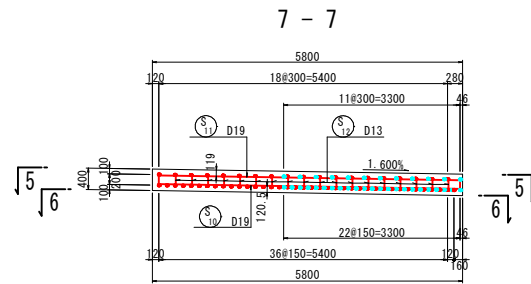
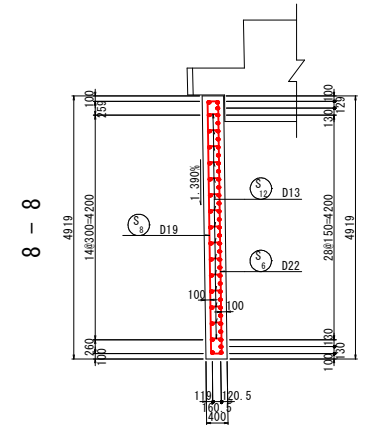
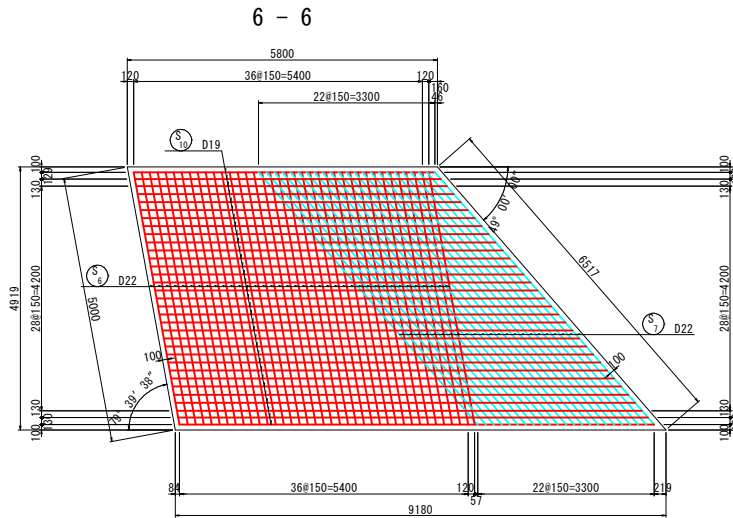
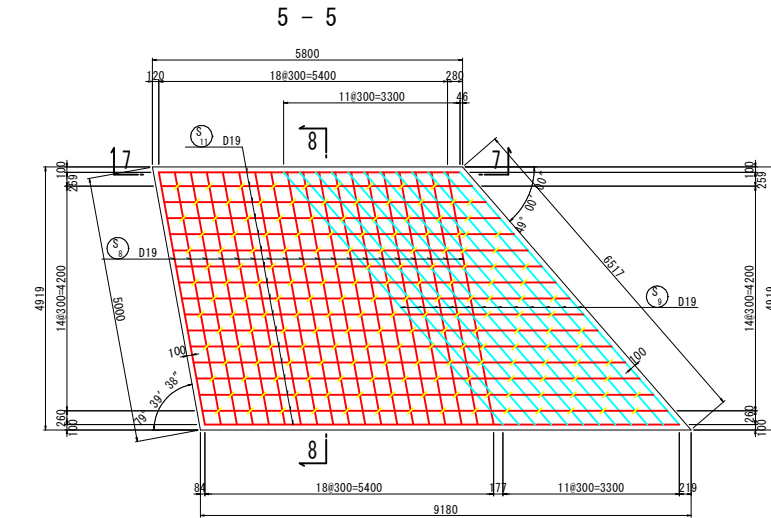
位置図



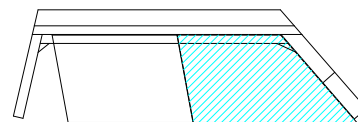
左側踏掛版 右側踏掛版

図面番号	52 60	縮尺	1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台踏掛版配筋図(その2)	番号	2 3
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南郷数町掛原		
広島県三次市			

A1橋台踏掛版配筋図(その2) S=1:50 【上部施工】右側踏掛版



位置図



左側踏掛版

右側踏掛版

図面番号	53 60	縮尺	1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台踏掛版配筋図(その3)	番号	3 3
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

A1橋台踏掛版配筋図(その3) S=1:50 【上部工施工】

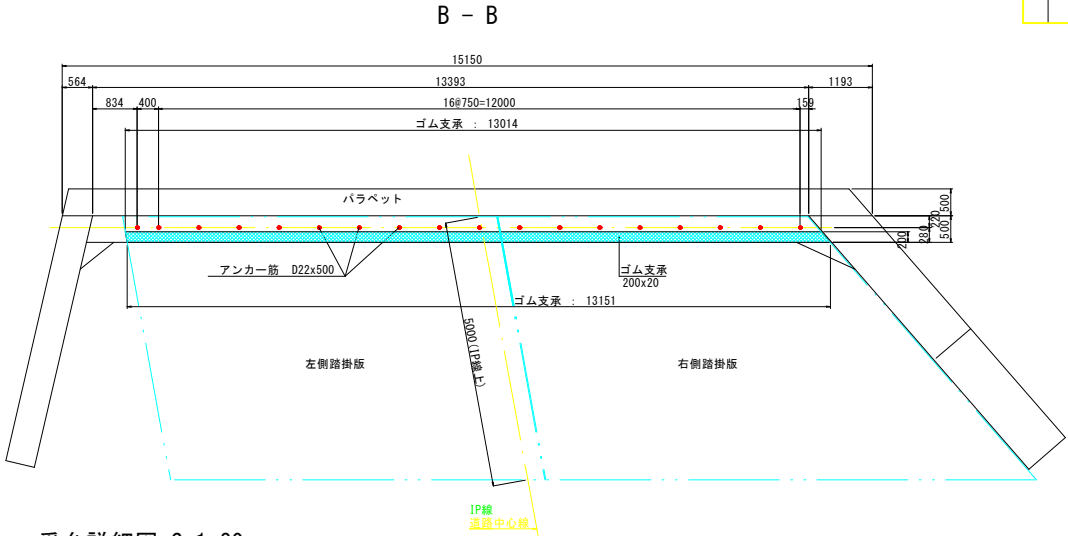
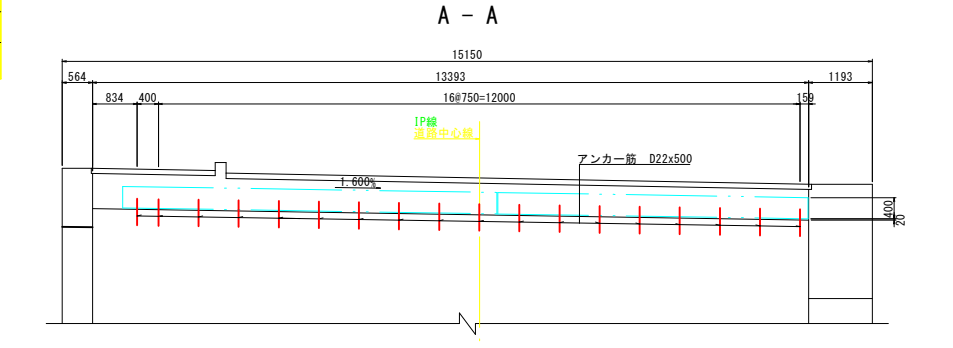
鉄筋加工寸法と表示

直角フックの鉄筋加工寸法と図面上の表示との関係は、以下に示す通りである。

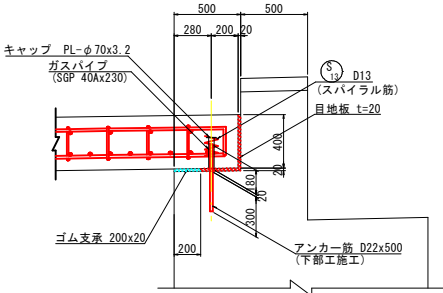
	(加工)	(図面表示)
形式 (1)		
形式 (2)		

径別の加工寸法

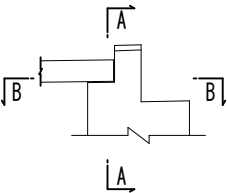
	直角フック			
径	a	b	R	L'
D13	61	156	39	195
D16	75	192	48	240
D19	90	228	57	285
D22	104	264	66	330
D25	118	300	75	375
D29	137	348	87	435
D32	151	384	96	480
	半円形フック			
径	a	b	R	
D13	123	120	39	
D16	151	128	48	
D19	179	152	57	
D22	207	176	66	
D25	236	200	75	
D29	273	232	87	
D32	302	256	96	



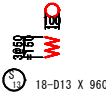
受台詳細図 S=1:20



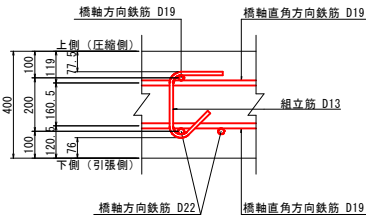
位置図



スパイラル筋 S=1:20 (18ヶ所)



かぶり詳細図 S=1:10



注意) コンクリート強度 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
 鉄筋の材質は全てSD345である。

鉄筋表

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	一本当り質量(kg)	質量(kg)	摘要
S 1	D22	5200	47	3.04	15.81	743	1
S 2	D19	4800	24	2.25	10.80	259	1
S 3	D19	7120	33	2.25	16.02	529	1
S 4	D19	6800	17	2.25	15.30	260	1
S 5	D13	620	165	0.995	0.62	102	1
S 6	D22	5200	38	3.04	15.81	601	1
S 7	D22	6660	23	3.04	20.25	466	1
S 8	D19	4800	19	2.25	10.80	205	1
S 9	D19	6260	12	2.25	14.09	169	1
S 10	D19	7580	33	2.25	17.06	563	1(平均長)
S 11	D19	7260	17	2.25	16.34	278	1(平均長)
S 12	D13	620	176	0.995	0.62	109	1
合 計 D22				1810	kg		
D19				2263	kg		
D13				211	kg		
総質量				4284	kg		
S 13	D13	960	18	0.995	0.96	17	1
ガス管	40A	230	18	3.89	0.89	16	SGP 溶融亜鉛メッキ
キャップ	φ70x3.2		18		0.10	2	SS400 溶融亜鉛メッキ
小計					35	kg	
溶融亜鉛メッキの付着量							HDZ 55

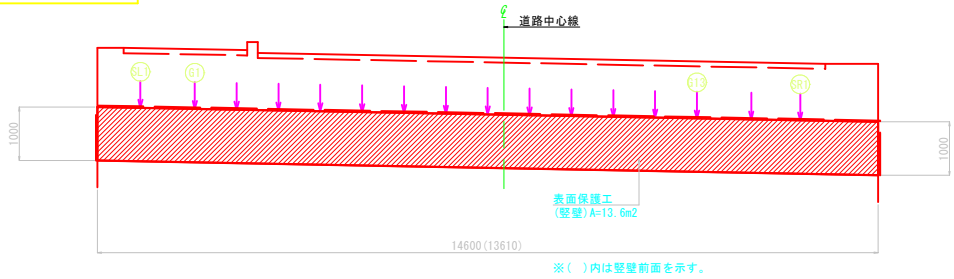
図面番号	54 60	縮尺	S=1:100
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台表面保護工詳細図	番号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑数町掛原		
広島県三次市			

A1橋台表面保護工詳細図

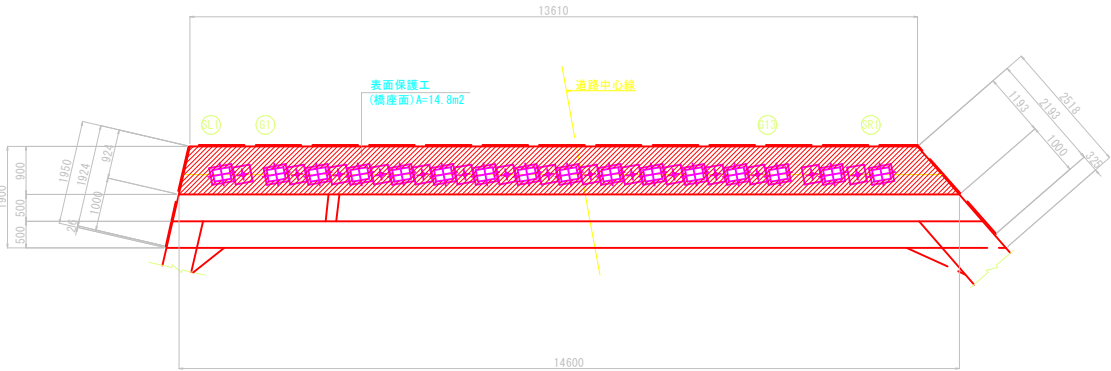
表面保護工 S=1:50

※施工範囲は橋座・寄座モルタルとする。
※パラベットは、桁設置後の施工となるため、表面保護工の施工不可。

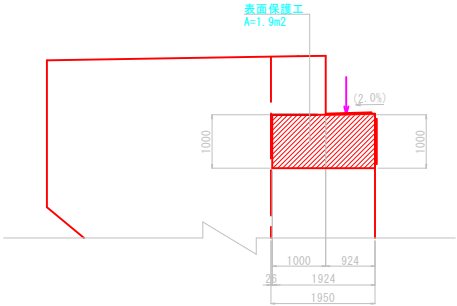
正面図



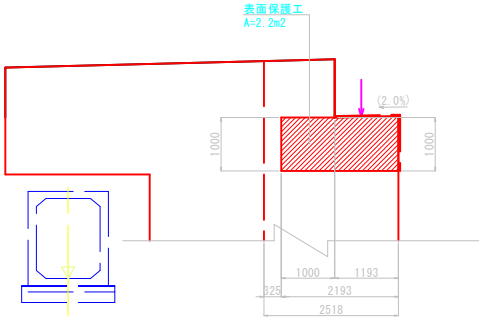
平面図



左側面図

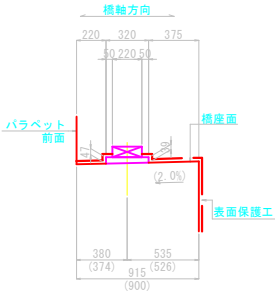


右側面図

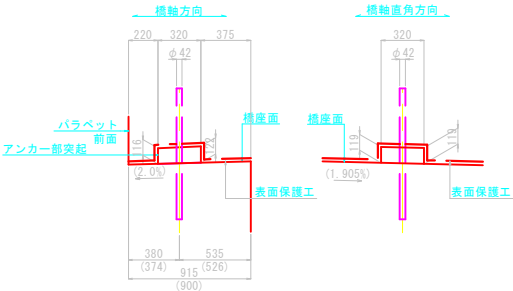


沓座部及びアンカー部詳細図 S=1:20

支承部
(16箇所)

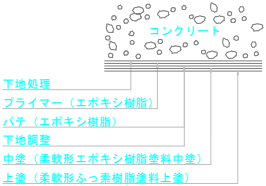


アンカーバー部
(15箇所)



表面保護工仕様

コンクリート面への塗装仕様 (CC-B)						
工 程		塗材名	目標膜厚 (μ m)	標準使用量 (g/m^2)	塗装方法	塗装間隔
前 処 理	プライマー	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂プライマー	-	100	スプレー (はけ・ローラー)	1日～10日
	パテ	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂パテ	-	300	へら	
中 塗		コンクリート塗装用 柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	60	320 (260)	スプレー (はけ・ローラー)	1日～10日
上 塗		コンクリート塗装用 柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	30	150 (120)	スプレー (はけ・ローラー)	

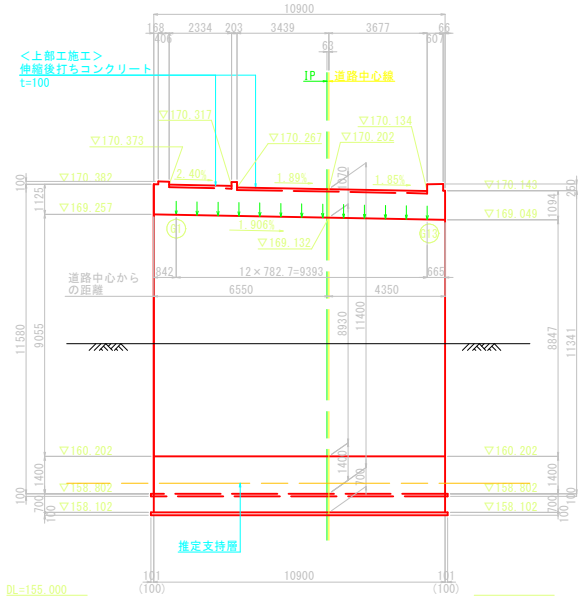


図面番号	55 60	縮尺	S=1:100
工 種	道路改良工事		
種 別	A2橋台構造一般図(その1)	番号	／
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南端数町掛原		
広島県三次市			

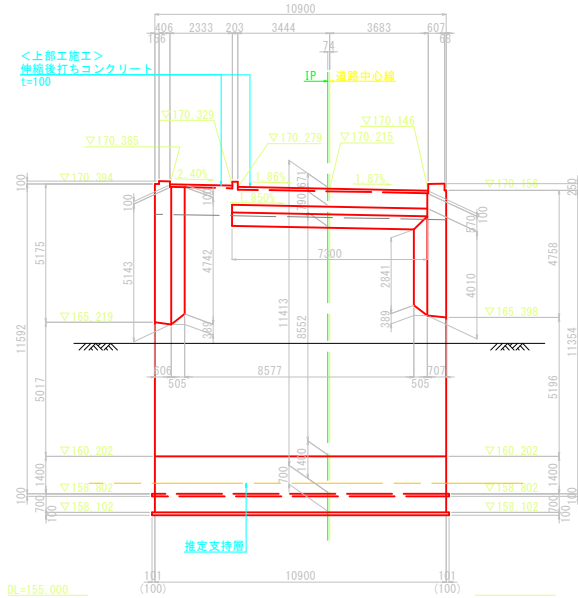
■ : 上部工施工範囲

A2橋台構造一般図(その1) S=1:100

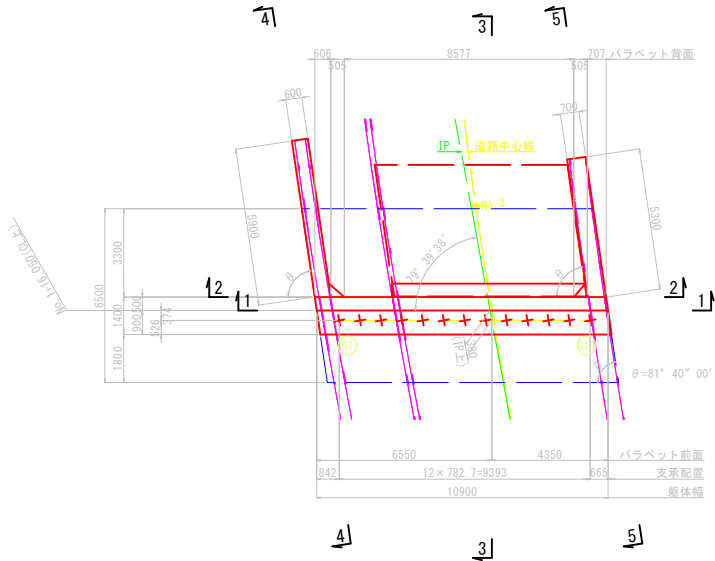
正面図
(1-1)



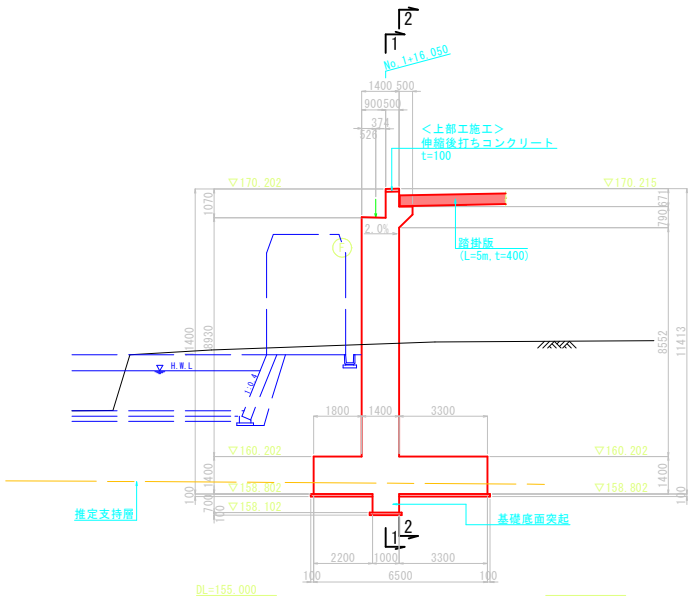
背面図
(2-2)



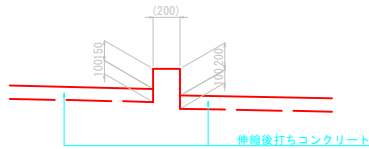
平面図



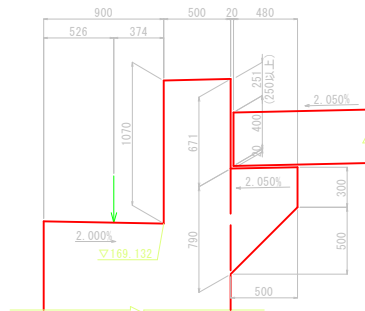
断面図
(3-3)



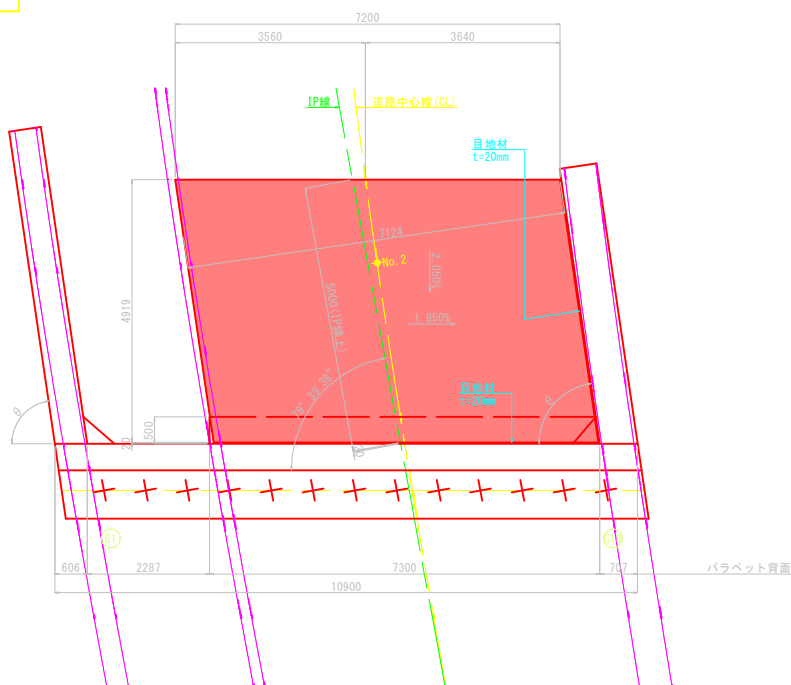
歩車道境界部詳細図 S=1:20



受台部詳細図 S=1:20

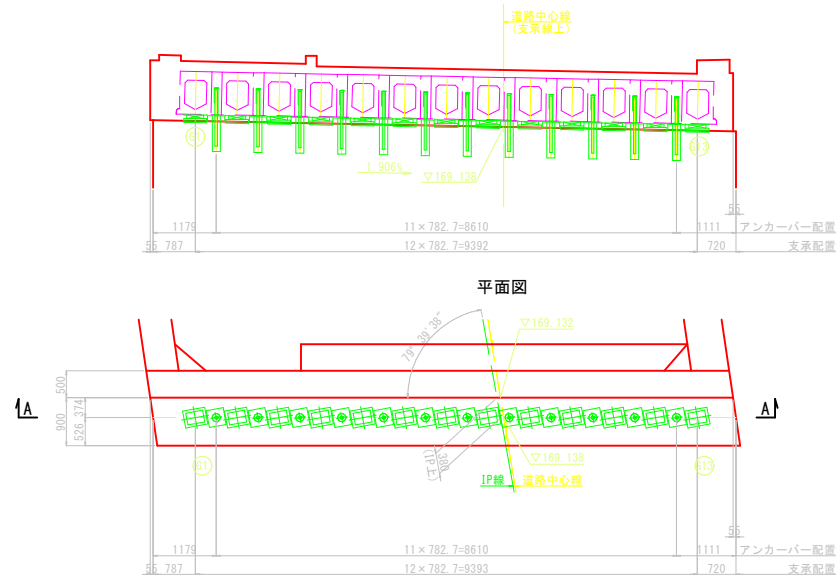


■: 上部工施工範圍

$$\theta = 81^{\circ} \quad 40'' \quad 00'$$


		左側(歩道側)	CL	右側(車道側)
バラベツト背面	計画高	170.329	170.215	170.146
	踏掛版上面高	170.030	169.964	169.896
	踏掛版土被り厚	0.299m	0.251m	0.250m
踏掛版背面	計画高	170.462	170.335	170.261
	踏掛版上面高	170.144	170.079	170.011
	踏掛版土被り厚	0.318m	0.256m	0.250m

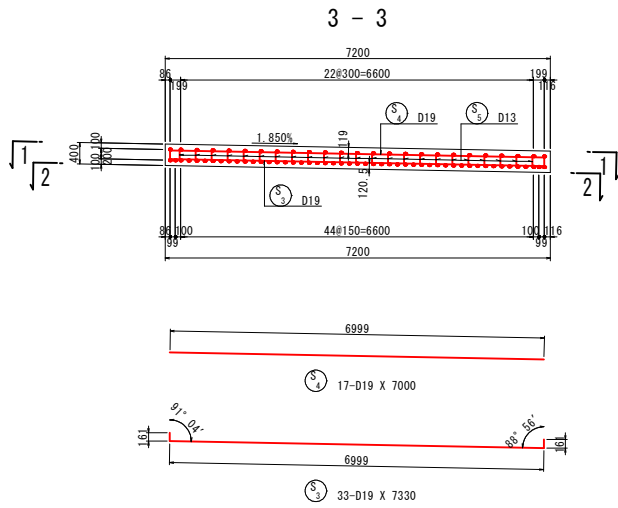
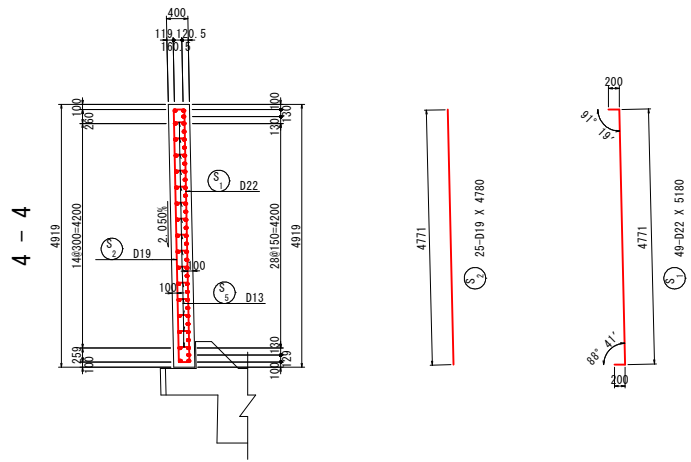
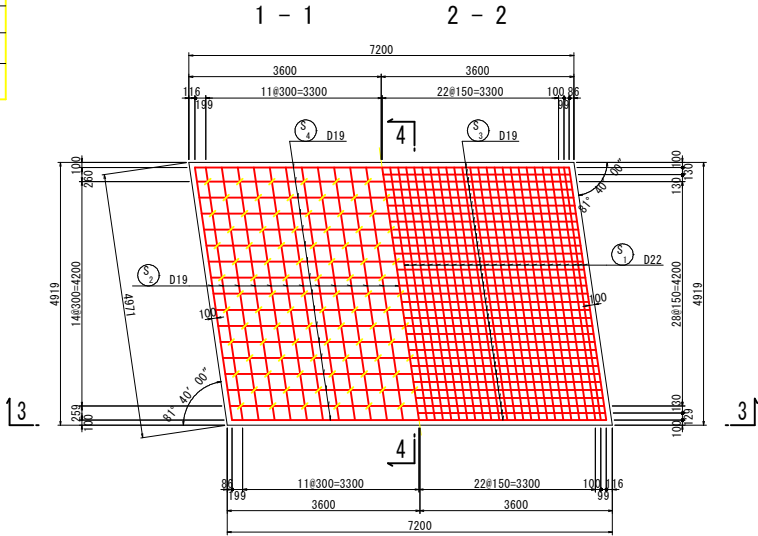
正面图
(A - A)



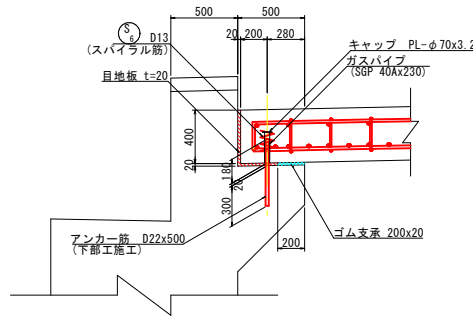
※支承部は、モルタル箱抜きまで施工
※アンカーバー部は、突起および円筒型枠まで施工

図面番号	58 60	縮尺	S=1:50
工 種	道路改良工事		
種 別	A2橋台踏掛版配筋図(その1)	番号	
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

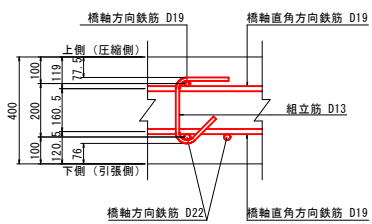
A2橋台踏掛版配筋図(その1) S=1:50
【上部工施工】



受台詳細図 S=1:20



かぶり詳細図 S=1:10



スパイラル筋 S=1:20
(10ヶ所)

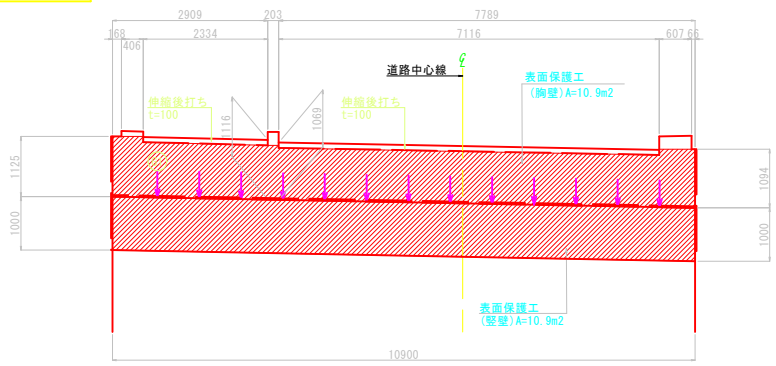


図面番号	60 60	縮尺	S=1:100
工 種	道路改良工事		
種 別	A2橋台表面保護工詳細図	番号	/
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑敷町掛原		
広島県三次市			

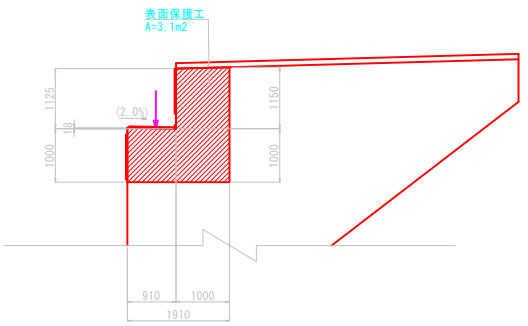
A2橋台表面保護工詳細図

表面保護工 S=1:50
※施工範囲は橋座・沓座モルタルとする。

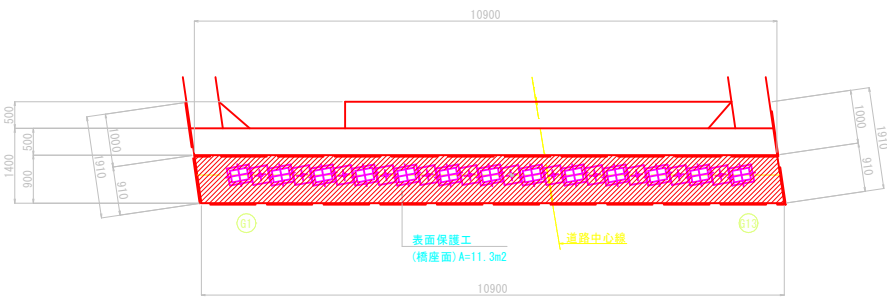
正面図



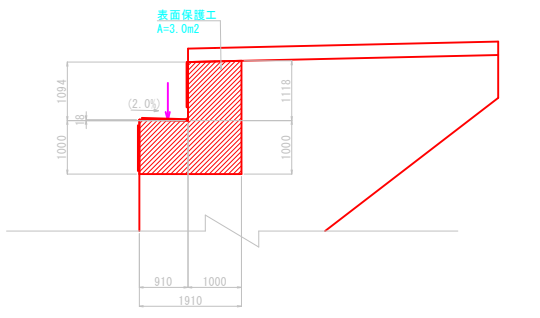
左側面図



平面図

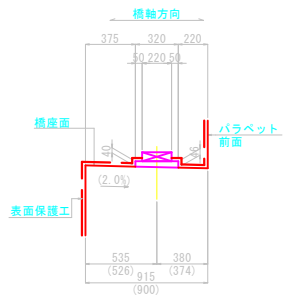


右側面図

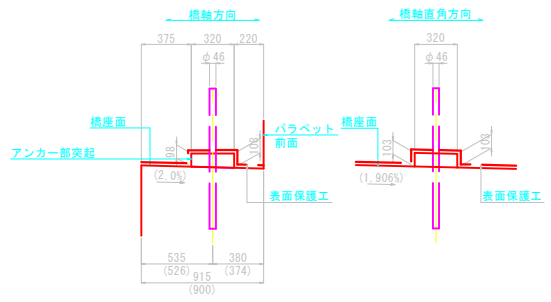


沓座部及びアンカー部詳細図 S=1:20

支承部 (13箇所)



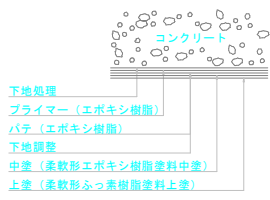
アンカーバー部 (12箇所)



表面保護工仕様

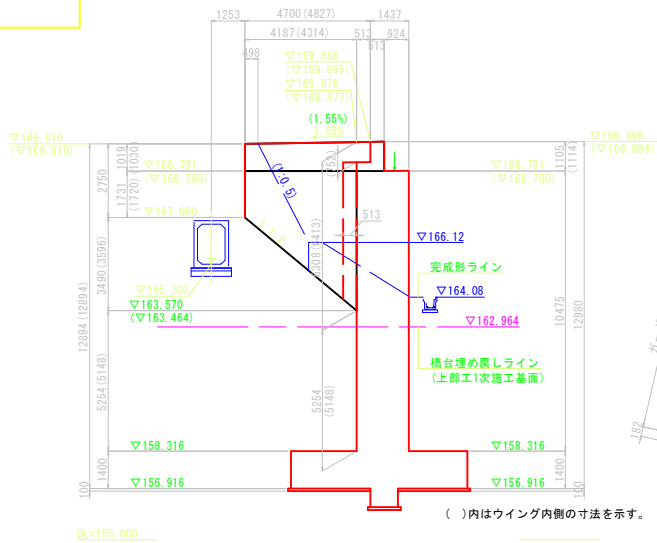
コンクリート面への塗装仕様 (CC-B)

工 程	塗材名	目標膜厚 (μm)	標準使用量 (g/m ²)	塗装方法	塗装間隔
前 処 理	プライマー コンクリート塗装用 エポキシ樹脂プライマー	-	100	スプレー (はけ・ローラー)	1日～10日
	パテ コンクリート塗装用 エポキシ樹脂パテ	-	300	へら	
中 塗	コンクリート塗装用 柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	60	320 (260)	スプレー (はけ・ローラー)	1日～10日
上 塗	コンクリート塗装用 柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	30	150 (120)	スプレー (はけ・ローラー)	

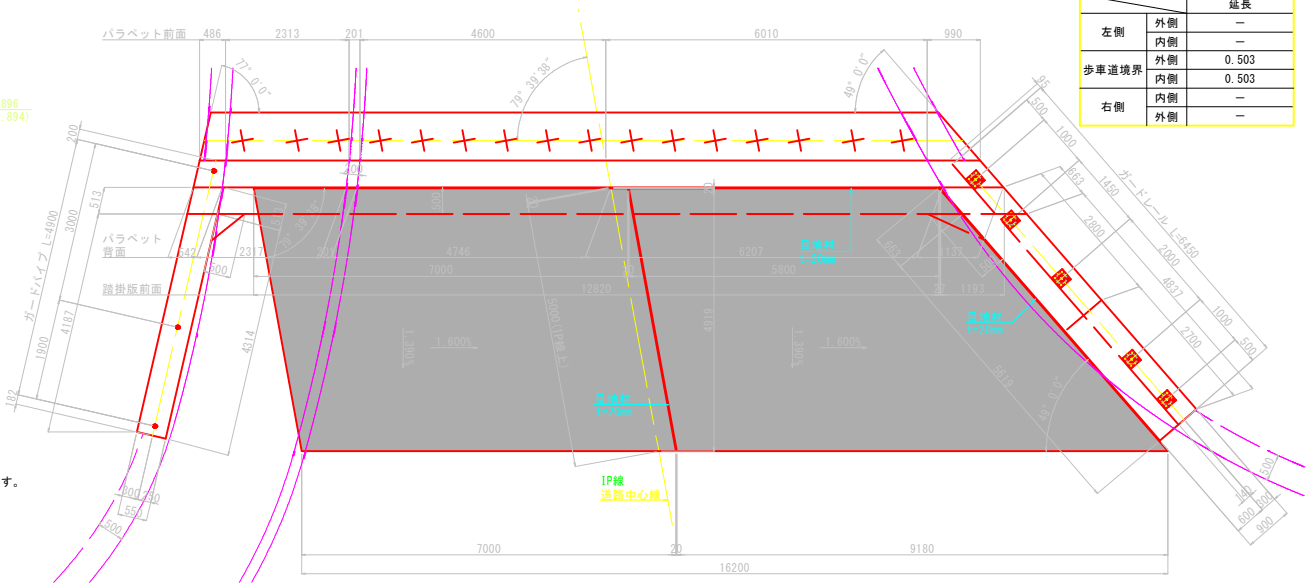


図面番号	8 / 35	縮尺	図示
工 種	道路改良工事		
種 別	A1橋台構造一般図(その2)	番号	1 /
路線 河川名	市道十日市194号線		
工事箇所	三次市南畑数町掛原		
広島県三次市			

左側ウイング S=1:100
(5 - 5)



地覆・防護柵・踏掛版詳細図 S=1:50



踏掛版土被り表

	左側(歩道側)	CL	右側(車道側)
踏掛版背面	計画高	169.767	169.603
	踏掛版上面高	169.458	169.351
	踏掛版土被り厚	0.309m	0.252m
バラベツト背面	計画高	169.876	169.704
	踏掛版上面高	169.541	169.434
	踏掛版土被り厚	0.335m	0.270m

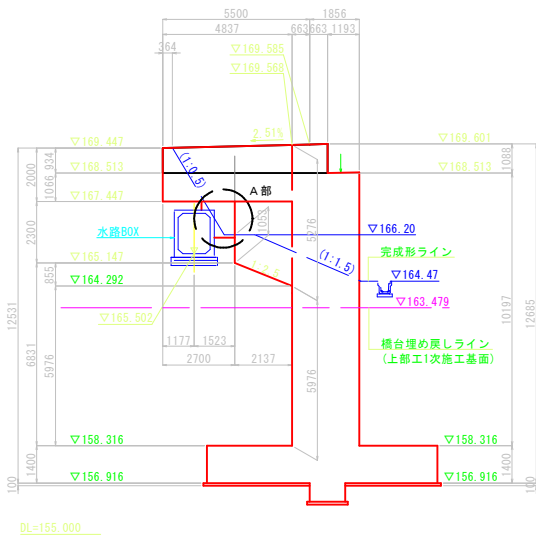
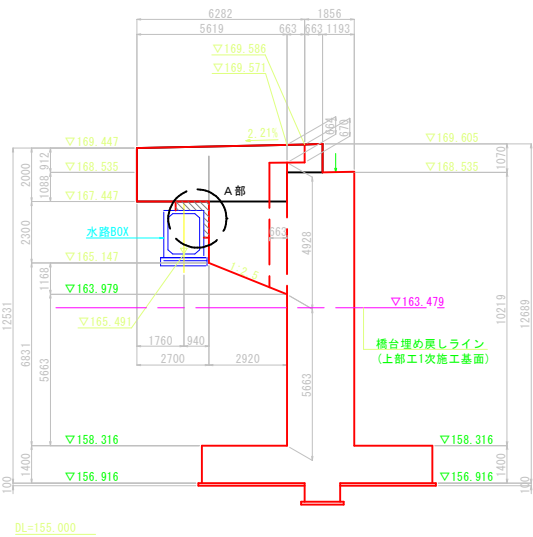
地覆・歩車道境界延長表 (m)

	延長
左側	外側
	内側
歩車道境界	外側
	内側
右側	内側
	外側

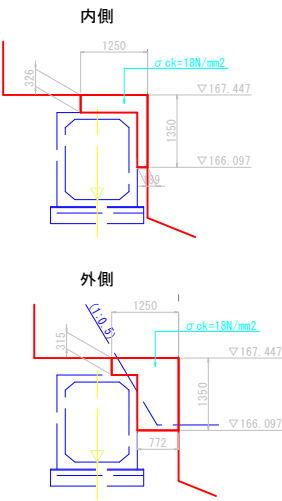
右側ウイング S=1:100
(6 - 6)

内側

外側



水路BOX部埋戻しコンクリート S=1:50
< A 部 >



ウイング天端・防護柵部詳細図 S=1:20
(上部工施工)

左ウイング側
(歩道側)

右ウイング側
(車道側)

